

平成 29 年度 前期

授業評価アンケート調査 結果報告

＜授業評価アンケート調査結果＞

- 1 全科目
- 2 講義・演習系科目群
- 3 実技系科目群

＜授業改善計画＞

- 1 講義・演習系科目群
- 2 実技系科目群

授業アンケート調査結果 【全集計】

● **実施時期** :
平成29年度 前期

● **調査対象** :
実施科目数 242 科目
回答学生 合計延べ人数 2,280 人

● **評価基準** :五段階評価
5= はい
4= どちらかといえば「はい」
3= どちらともいえない
2= どちらかといえば「いいえ」
1= いいえ

● **調査結果** :

質問項目1.	質問項目2.	全体平均
4.12	4.47	4.25

1. 授業に対する取組みについて

- ① この授業(レッスン)にどの程度出席しましたか。
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業(レッスン)1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか。
- ⑥ 授業に集中して取り組むことができましたか。(レッスンは、意欲をもって臨みましたか。)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか。

2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか。
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。

質問項目 1.-① この授業の出席状況はどうでしたか

	5 全出席	4 1~2回 欠席	3 3~4回 欠席	2 5~6回 欠席	1 7回以上 欠席	無回答	有効 回答数	平均
人	1,007	663	395	161	31	23	2,257	4.09
%	44.2%	29.1%	17.3%	7.1%	1.4%	1.0%	99.0%	

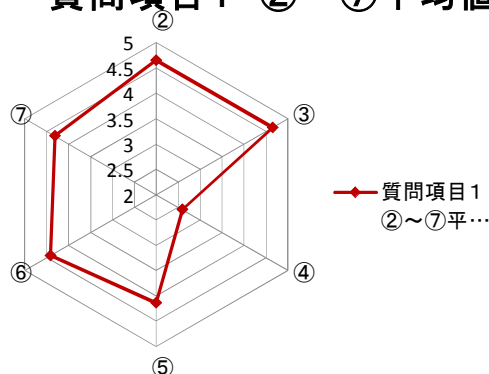
平均値(質問項目 2.-⑧~⑪)

	⑧	⑨	⑩	⑪	質問項目 2.
全体	4.41	4.39	4.45	4.62	4.47

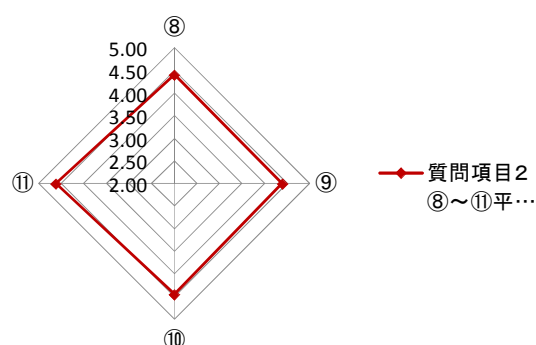
平均値(質問項目 1.-②~⑦)

	②	③	④	⑤	⑥	⑦	質問項目 1.
全体	4.65	4.65	2.60	4.14	4.41	4.31	4.13

質問項目 1 ②~⑦平均値



質問項目 2 ⑧~⑪平均値



授業アンケート調査結果 【 講義・演習系科目 】

● 実施時期 :
平成29年度 前期

● 調査対象 :
実施科目数 118 科目
回答学生 合計延べ人数 1,861 人

● 評価基準 : 五段階評価
5= はい
4= どちらかといえば「はい」
3= どちらともいえない
2= どちらかといえば「いいえ」
1= いいえ

● 調査結果 :

質問項目 1.	質問項目 2.	講義・演習系平均
4.074.07	4.45	4.27

1. 授業に対する取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

質問項目 1.-① この授業の出席状況はどうでしたか

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	平均
人	802	553	330	135	23	18	1,843	4.07
%	43.1%	29.7%	17.7%	7.3%	1.2%	1.0%	99.0%	

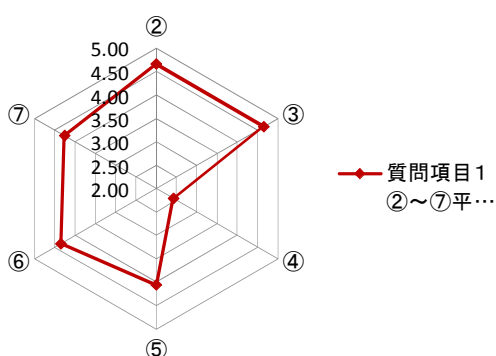
平均値(質問項目 1.-②～⑦)

	②	③	④	⑤	⑥	⑦	質問項目 1.
全体	4.66	4.65	2.42	4.06	4.35	4.26	4.07

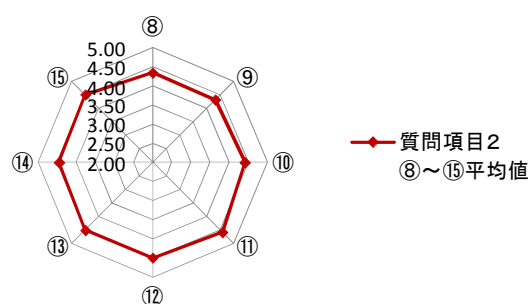
平均値(質問項目 2.-⑧～⑮)

	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	質問項目 2.
全体	4.35	4.32	4.41	4.58	4.50	4.50	4.45	4.50	4.45

質問項目 1 ②～⑦平均値



質問項目 2 ⑧～⑮平均値



授業アンケート調査結果 【実技系科目】

● **実施時期** :
平成29年度 前期

● **調査対象** :
実施科目数 124 科目
回答学生 合計延べ人数 419 人

● **評価基準** :五段階評価
5= はい
4= どちらかといえば「はい」
3= どちらともいえない
2= どちらかといえば「いいえ」
1= いいえ

● **調査結果** :

質問項目1.	質問項目2.	実技系平均
4.35	4.74	4.56

1. レッスンに対する取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッスンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

質問項目 1.ー① この授業の出席状況はどうでしたか

	5	4	3	2	1	無回答	有効 回答数	平均
人	205	110	65	26	8	5	414	4.15
%	48.9%	26.3%	15.5%	6.2%	1.9%	1.2%	98.8%	

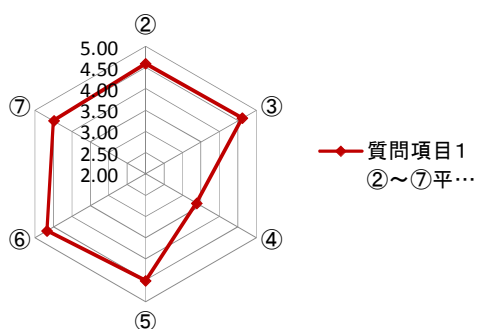
平均値(質問項目 1.ー②～⑦)

	②	③	④	⑤	⑥	⑦	質問項目 1.
全体	4.59	4.62	3.38	4.51	4.68	4.50	4.35

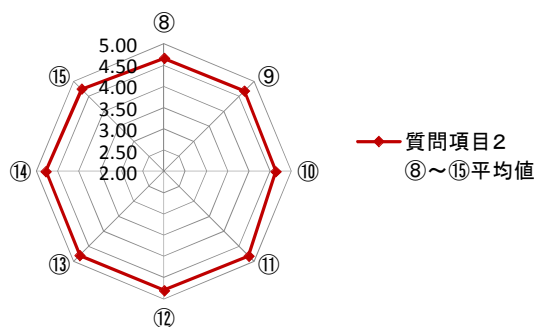
平均値(質問項目 2.ー⑧～⑮)

	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	質問項目 2.
全体	4.66	4.68	4.63	4.82	4.80	4.80	4.78	4.74	4.74

質問項目 1 ②～⑦平均値



質問項目 2 ⑧～⑮平均値



授業形態別
講義・演習系

授業形態別 講義・演習系			あなた自身の取組みについて										授業の内容や進め方について										合計 (平均)
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	小計 (平均)	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	小計 (平均)				
			授業の出席状況	遅刻や途中退席	シラバスに事前・事後学修記載あるを知っていたか	1 授業当たり事前・事後学修の平均時間	事前・事後学修による授業理解度	授業は意欲をもって臨めたか	授業の到達目標は達成できたか		事前・事後学修の説明は十分だったか	事前・事後学修の課題は授業に有効だったか	授業はシラバスに沿って実施されたか	先生の熱意や意欲は感じられたか	授業を分かりやすくする工夫をされていたか(資料・AV機器など)	質問に適切に答えてもらえたか	授業に集中できる雰囲気だったか	理解度や知識は深まったか					
2,067 1,861																							
集計	回答 (人)	5	802	1,694	1,669	230	848	1,018	927	—	1,105	1,097	1,131	1,306	1,262	1,252	1,216	1,235	—	—			
		4	553	0	0	152	494	532	548	—	396	373	395	365	351	353	364	385	—	—			
		3	330	0	0	317	372	257	345	—	291	319	297	156	189	204	209	191	—	—			
		2	135	0	0	519	44	38	27	—	36	27	17	22	37	29	49	29	—	—			
		1	23	155	160	566	91	14	12	—	32	42	15	11	21	21	22	19	—	—			
	無回答		18	12	32	77	12	2	2	—	1	3	6	1	1	2	1	2	—	—			
	有効回答数(人)		1,843	1,849	1,829	1,784	1,849	1,859	1,859	—	1,860	1,858	1,855	1,860	1,860	1,859	1,860	1,859	—	—			
	〃 (%)		99.0%	99.4%	98.3%	95.9%	99.4%	99.9%	99.9%	99.0%	99.9%	99.8%	99.7%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	100.0%	99.0%			
平均		4.07	4.66	4.65	2.42	4.06	4.35	4.26	4.07	4.35	4.32	4.41	4.58	4.50	4.50	4.45	4.50	4.45	4.27				

回収率 90.34%

授業形態別
実技・個人指導系

授業形態別 実技・個人指導系			あなた自身の取組みについて										レッスンの内容や進め方について										合計 (平均)
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	小計 (平均)	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	小計 (平均)				
			レッスン出席状況	遅刻や途中退席	シラバスに事前・事後学修記載あるを知っていたか	1 授業当たり事前・事後学修の平均時間	事前・事後学修による授業理解度	レッスンは意欲をもって臨めたか	レッスンの到達目標は達成できたか		事前・事後学修の説明は十分だったか	事前・事後学修の課題はレッスンに有効だったか	レッスンはシラバスに沿って実施されたか	先生の熱意や意欲は感じられたか	質問に適切に答えてもらえたか	レッスンに集中できる雰囲気だったか	音楽的な興味や関心、視野が広がったか	レッスンを受けて技能は高まったか					
447 419																							
集計	回答 (人)	5	205	374	373	131	289	315	260	—	314	323	310	362	360	359	350	336	—	—			
		4	110	0	0	62	76	77	111	—	72	61	62	42	37	39	50	64	—	—			
		3	65	0	0	105	41	26	45	—	31	33	44	14	20	18	17	16	—	—			
		2	26	0	1	54	3	1	2	—	1	1	0	0	1	2	0	0	—	—			
		1	8	43	38	57	10	0	1	—	1	1	1	1	1	1	2	3	—	—			
	無回答		5	2	7	10	0	0	0	—	0	0	2	0	0	0	0	0	—	—			
	有効回答数(人)		414	417	412	409	419	419	419	—	419	419	417	419	419	419	419	419	—	—			
	＃ (%)		98.8%	99.5%	98.3%	97.6%	100.0%	100.0%	100.0%	99.0%	100.0%	100.0%	99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
平均		4.15	4.59	4.62	3.38	4.51	4.68	4.50	4.35	4.66	4.68	4.63	4.82	4.80	4.80	4.78	4.74	4.74	4.56				

回収率 93.74%

講義系科目

ページ	授業科目	担当教員
8	音楽教育演習Ⅰ	岩山 恵美子
9	音楽教育演習Ⅴ	岩山 恵美子
10	音楽教育演習Ⅶ	岩山 恵美子
11	音楽教育学Ⅰ	岩山 恵美子
12	重唱Ⅰ	常森 寿子
13	オペラ研究Ⅰ	常森 寿子・桑原 理恵
14	オペラ研究Ⅲ	常森 寿子・桑原 理恵
15	室内楽ⅠA	松崎 伶子
16	アンサンブル研究Ⅰ	松崎 伶子
17	教育課題研究Ⅰ	松崎 伶子
18	教育方法論	亀井 裕子
19	保育者論	亀井 裕子
20	教職概論	亀井 裕子
21	教育課程総論	亀井 裕子
22	保育実習指導Ⅰ	亀井裕子・石岡ひろみ・安部和歌葉
23	重奏Ⅰ(管弦打)	馬込 勇・柏尾 剛徳
24	重奏Ⅲ(管弦打)	馬込 勇・柏尾 剛徳
25	ソルフェージュⅠB	桑原 理恵
26	ソルフェージュⅢB	桑原 理恵
27	ソルフェージュⅤ	桑原 理恵
28	歌曲研究Ⅰ	桑原 理恵
29	歌曲研究Ⅲ	桑原 理恵
30	音楽理論ⅠA	川口 みさき
31	室内楽ⅠB	川口 みさき
32	室内楽Ⅲ	川口 みさき
33	伴奏法研究Ⅰ	川口 みさき
34	リトミックⅠ	隈部 文
35	幼児音楽教育Ⅰ	隈部 文
36	ハーモニーⅡ	隈部 文
37	音楽理論B	隈部 文
38	こどもの体育Ⅰ	石岡 ひろみ
39	基礎美術	石岡 ひろみ
40	保育内容研究Ⅴ(感性と表現)	石岡 ひろみ
41	保育内容研究Ⅶ(感性と表現)	石岡 ひろみ
42	音楽理論A	友永 和恵
43	伴奏法ⅠA	眞鍋 協子
44	伴奏法ⅠC	眞鍋 協子
45	伴奏法ⅢA	眞鍋 協子
46	伴奏法ⅢB	眞鍋 協子
47	創作応用演習Ⅰ(パフォーマンス)	脇山 純
48	サウンドデザインⅢ	脇山 純
49	アートマネジメントⅢ	脇山 純
50	音楽療法演習Ⅰ	村橋 和子
51	ソルフェージュⅢA	村橋 和子
52	弾き歌Ⅰ(音楽学科)	村橋 和子
53	音楽療法基礎理論Ⅰ	村橋 和子
54	音楽療法演習Ⅶ	村橋 和子
55	音楽療法演習(各論)	村橋 和子
56	弾き歌Ⅰ(こども学科)	村橋 和子
57	弾き歌Ⅲ	大石 陽子
58	発達心理学(音楽学科)	竹下 健太
59	発達心理学(こども学科)	竹下 健太
60	教育相談の研究	竹下 健太
61	保育の心理学Ⅰ	竹下 健太
62	音楽理論ⅠB	柏尾 剛徳
63	教育学Ⅰ	藤田 泉
64	教育学Ⅱ	藤田 泉
65	教育原理	藤田 泉
66	保育原理Ⅰ	藤田 泉
67	保育実践演習	藤田 泉
68	合奏Ⅰ	安部 和歌葉
69	合奏Ⅲ	安部 和歌葉
70	生活科論	安部 和歌葉
71	教育方法論	安部 和歌葉
72	保育課程論	安部 和歌葉

講 義 系 科 目

ページ	授業科目	担当教員
73	ミュージカル研究	小林 貴美子
74	創作応用演習Ⅶ(パフォーマンス)	小林 貴美子
75	音楽療法総合演習	小林 真寿子
76	音楽療法実習指導	小林 真寿子
77	日本の伝統音楽Ⅰ	二宮 晶代
78	合奏Ⅰ(箏)	二宮 晶代
79	合奏Ⅲ(箏)	二宮 晶代
80	合奏Ⅴ(箏)	二宮 晶代
81	合奏Ⅰ(打楽器)	山ヶ城 陽子
82	合奏Ⅴ(打楽器)	山ヶ城 陽子
83	重奏Ⅰ(管弦打)	山ヶ城 陽子
84	重奏Ⅲ(管弦打)	山ヶ城 陽子
85	ソルフェージュⅠA	西林 博子
86	和声学Ⅰ(キーボード・ハーモニー含む)	西林 博子
87	和声学Ⅲ	西林 博子
88	キーボードハーモニーⅢ	西林 博子
89	アートマネジメントⅠ	小西 たくま
90	西洋音楽史Ⅰ	木村 博子
91	音楽史特殊講義Ⅰ	木村 博子
92	ドイツ語Ⅰ	岩佐 銘江
93	ドイツ語Ⅲ	岩佐 銘江
94	医学概論	西村 栄彦
95	教育制度論	八間川 隆彦
96	乳児保育演習	沖田 秀子
97	国語表現法	佐々木 隆一郎
98	児童家庭福祉論	今吉 光弘

教科担当者： 岩山恵美子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 音楽教育演習 I

回答者数： 3 名 / 3 名

単位数： 2 単位
開設年次： 1 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

3人とも個性が豊かであり、活発に自分の考えをのべることができる。また、能力も高い。そのため、毎時間充実した学びができています。その一方で、事前学修が疎かになりがちであった。すぐできるから、分かるからという思いがあるようである。

2 改善課題

意欲を持って事前学修・事後学習に取り組めるように工夫する。

3 改善計画

事前学修・事後学習の内容を学生の能力合ったものであるように、事前に実態把握がある程度できるように、入学前課題の内容を改善する。事前学修や事後学習が授業内でいかせるように授業内容のレベルを再検討する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	3	0	0	0	0	0	3	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	0	0	1	2	0	0	3	7	2.33	2.60
⑤	2	0	1	0	0	0	3	13	4.33	4.14
⑥	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑦	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.31
質問項目 1.									4.52	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑨	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	1	2	10	5.00	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45
TOTAL									4.78	4.27

教科担当者： 岩山恵美子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 音楽教育演習Ⅴ

回答者数： 1 名 / 1 名

単位数： 2 単位
開設年次： 3 年次

授業形態： 講義・演習
学科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

1体1の授業であるため、十分に時間をとって、学生が納得のいくまで研究をすすめることができた。

2 改善課題

多様な考えに触れる機会がないため、発想がなかなか広がらない。また、考えを深めるように問いかけを続けると、逆に寡黙になってしまう。多面的に思考する力を引き出す方を工夫する必要がある。

3 改善計画

多面的な視点で、多様な考えをひきだす課題の内容を工夫する

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31

質問項目 1.

4.71 4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50

質問項目 2.

4.88 4.45

TOTAL

4.80 4.27

教科担当者： 岩山恵美子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 音楽教育演習Ⅶ

回答者数： 3 名 / 3 名

単位数： 2 単位
開設年次： 4 年次

授業形態： 講義・演習
学科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

各自の研究課題に沿って、研究を深めていった。まずは、基礎理論として、「学力」のとらえ方について、現行の学習指導要領の内容と29年に改訂された学習指導要領の内容の比較等を行った。基礎理論は事前に自分なりに調べまとめて、授業に参加していたが、各自の課題への取り組みは、遅々として進まなかった

2 改善課題

各自の研究の見通し、結論をどこに得ようとしているのかをもっと、明確に持つことができるように、研究構想を詳しく立てるようにする。

3 改善計画

研究課題は3年後期に立てているので、3年の内容との関連を見直し、シラバスの内容を再検討する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	1	2	0	0	0	0	3	4.33	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	0	0	2	1	0	0	3	8	2.67	2.60
⑤	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.14
⑥	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑦	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.31
質問項目 1.									4.54	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑨	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.39
⑩	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.78	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 岩山恵美子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 音楽教育学 I

回答者数： 22 名 / 25 名

単位数： 2 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 講義・演習
学科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

我が国の音楽教育の変遷を、その時代の社会状況や子どものおかれた立場を通して理解するようにと考え、事前学修の内容は「その時代・年代の社会の様子を調べる」事が多かった。また、近年の教育改革の流れを、学習指導要領の内容の変化から捉え、理解するために、事後学習は、毎回の講義内容を自分なりにまとめ、整理するようにした。しかし、忙しくて事前・事後学習には時間を取れないという学生が多く、不十分であった。特に事前学修が不十分なため、授業内容や展開を大きく修正することが多々あった。

2 改善課題

事前学修・事後学習の必要性を学生が理解できるように、内容と共に授業での活用を工夫する。

3 改善計画

事前学修・事後学習の内容が、授業内容に効果的に活用でき歌目には、シラバス作成段階で毎時間の授業内容を精査吟味する必要があるので、15コマ分の授業内容細案を作成するようにする。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	7	9	4	2	0	0	22	3.95	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	22	0	0	0	0	0	22	110	5.00	4.55
③	20	0	0	0	2	0	22	102	4.64	4.65
④	2	2	6	3	9	0	22	51	2.32	2.60
⑤	12	6	1	0	3	0	22	90	4.09	4.14
⑥	14	7	1	0	0	0	22	101	4.59	4.41
⑦	13	7	2	0	0	0	22	99	4.50	4.31
質問項目 1.									4.16	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	18	4	0	0	0	0	22	106	4.82	4.41
⑨	16	5	1	0	0	0	22	103	4.68	4.39
⑩	19	3	0	0	0	0	22	107	4.86	4.45
⑪	19	2	1	0	0	0	22	106	4.82	4.62
⑫	19	3	0	0	0	0	22	107	4.86	4.50
⑬	18	4	0	0	0	0	22	106	4.82	4.50
⑭	17	5	0	0	0	0	22	105	4.77	4.45
⑮	18	4	0	0	0	0	22	106	4.82	4.50
質問項目 2.									4.81	4.45

TOTAL									4.50	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：常森 寿子

開講期：H29年度 前期

授業科目：重唱 I

回答者数：3 名 / 3 名

単位数：2 単位
開設年次：2・3 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

2年次から始まるこの授業である。初めての学生にとっては他声部と合わせることに戸惑いがあるようだが次第に重唱の楽しみも増してくるようだ。研究課題にはモーツァルト、シューマン作曲などのドイツ歌曲、ベルリオー二作曲などのイタリア歌曲、そのほか宗教曲などの四重唱を選んで研究している。

2 改善課題と改善計画

出席率もよく研究態度も良いので特に改善課題はないが、多くの研究課題を与えて学生のレベルを上げて行きたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	3	0	0	0	0	3	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	2.60
⑤	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.14
⑥	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.41
⑦	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.31
質問項目 1.									4.67	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑨	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.39
⑩	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
質問項目 2.									4.92	4.45

TOTAL									4.80	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：常森 寿子・桑原 理恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：オペラ研究 I

回答者数：2 名 / 2 名

単位数：2 単位
開設年次：3・4 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
オペラ研究は学部生と専攻科生の合同で行っている。今年は喜劇「奥様女中」(ペルゴレージ作曲)を研究している。男声が二人いるのでI幕と2幕それぞれに受け持ち違った味をかもし出している。演技の面では喜劇となると演技指導がより難しく笑いどころではなく泣きたくない思いで学生と取り組んでいる。

2 改善課題
演出の問題が大きい。専門の演出家の指導が今は後期に一回あるのみなのでせめて二回の指導を望みたい。

3 改善計画
演出に関しては教員の経験に基づいて指導するが、参考資料も学生とともに研究していきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	0	2	0	0	0	0	2	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									4.86	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.93	4.27
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：常森 寿子・桑原 理恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：オペラ研究Ⅲ

回答者数：1 名 / 1 名

単位数：2 単位
開設年次：専 年次

授業形態：講義・演習
学科：専攻科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

オペラ研究は学部生と専攻科生の合同で行っている。今年は喜劇「奥様女中」(ペルゴレージ作曲)を研究している。男声が二人いるのでI幕と2幕それぞれに受け持ち違った味をかもし出している。演技の面では喜劇となると演技指導がより難しく笑いどころではなく泣きたくなる思いで学生と取り組んでいる。

2 改善課題

演出の問題が大きい。専門の演出家の指導が今は後期に一回あるのみなのでせめて二回の指導を望みたい。

3 改善計画

演出に関しては教員の経験に基づいて指導するが、参考資料も学生とともに研究していきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

回答 (人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	0	1	0	0	1	2.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	2.60
⑤	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.14
⑥	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									4.00	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.53	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：松崎 伶子

開講期：H29年度 前期

授業科目：室内楽ⅠA

回答者数：4名 / 4名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年は4人の学生だったので2人がペアになり二組を計画したが一人病弱で欠席が多かったので、3人で弾ける1台6手等の曲を沢山取り入れ、又2人一組で連弾と2台4手の曲も取り入れた。

2 改善課題

オープンキャンパスでの演奏では3人出場し成果を披露した。

3 改善計画

一組の学生達は問題なかったが、もう一組は一人が欠席するともう一人は何も出来ない事もあった。しかし皆で助け合って授業が出来る環境を示す事が出来ればそれなりの成果は出せると思う。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	3	0	0	0	1	0	4	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	1	0	4	16	4.00	4.55
③	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.65
④	0	2	2	0	0	0	4	14	3.50	2.60
⑤	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.14
⑥	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.41
⑦	3	0	1	0	0	0	4	18	4.50	4.31
質問項目 1.									4.39	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	1	0	0	0	4	18	4.50	4.41
⑨	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.39
⑩	3	0	1	0	0	0	4	18	4.50	4.45
⑪	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.62
⑫	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.50
⑬	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.50
⑭	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.45
⑮	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.50
質問項目 2.									4.88	4.45

TOTAL									4.65	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：松崎 伶子

開講期：H29年度 前期

授業科目：アンサンブル研究Ⅰ

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：専 年次

授業形態：講義・演習
学科：専攻科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
1名の男子学生のクラスとなりアンサンブルが出来なかった。ソロのレッスンをしたり、卒業試験では本人の希望でモーツァルトのピアノ協奏曲をピアノ伴奏で公開演奏に取り組んだ。

2 改善課題
譜読みが苦手な様で中々スムーズにレッスンが捗らず少しづつ譜読みをしている状態が続いている。

3 改善計画
卒業後の就職活動の為東京に何度も行ったりヨーロッパ(ウィーン)に行ってレッスンを受けたりとマイペースな行動があった。本人の意思を尊重しこれから各々の将来を見据えて授業を進めて行く必要があると思う。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	0	0	1	3.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									4.71	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.87	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：松崎 伶子

開講期：H29年度 前期

授業科目：教育課題研究 I

回答者数：3 名 / 3 名

単位数：2 単位
開設年次：専 年次

授業形態：講義・演習
学科：専攻科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
トロンボーン、声楽、ピアノという別々の専攻の男子学生3人のクラスになったが用意した内容に全て興味を示してくれた。いつも皆で会話のやり取りもスムーズで楽しんでくれやりの良かった。

2 改善課題
毎年人数、専攻、男性・女性、と様々な違いがあるが今年は男性3人のクラスになったので少し観点を変えた課題で授業をしてみた。

3 改善計画
楽曲分析等取り入れたのであまり興味を示してくれないかと心配したが、全員が興味を示してくれたので大変嬉しく思った。受講するメンバーに対応する内容を検討して行こうと思う

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	2	0	0	1	0	0	3	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	1	0	3	11	3.67	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	1	0	1	1	0	0	3	10	3.33	2.60
⑤	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.14
⑥	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑦	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.31
質問項目 1.									4.38	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑨	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.39
⑩	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45
TOTAL									4.71	4.27

教科担当者： 亀井 裕子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 教育方法論

回答者数： 22 名 / 23 名

単位数： 2 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学修意欲に個人差が大きく、学修課題への取り組みにも開きがあった。事例を数多く取り入れ、視覚的に分かるような工夫をしてきた。学修内容への興味や関心を高めることで、より主体的な学びができると思われる。学生一人一人の将来像も漠然としており、学ぶ必要性をあまり感じていないことも全体の学修雰囲気をつくっている。

2 改善課題

意欲を高めるための手立てが必要である。課題設定、導入、資料、事前事後指導の充実などそれぞれで学生の取り組みを主体的にしていくための工夫が大事である。アクティブラーニングのための手立ても充分ではないために、意欲が高まらない。教科の目標を踏まえ、学生の実態を把握して内容の改善をしていかなければならない。

3 改善計画

将来像が漠然としているところを補うためにも、知的好奇心を高めるような内容の組み合わせを工夫する。また、課題をもとに協議を深めていくための手立てとして、グループ編成を考慮していく。多様な考えが出せるよう班員の組み合わせを工夫する。そのことによって、より充実したテーマ分析や意見交換ができると思われる。資料作成を学生自身が行うようにすることで、導入時の学びの高まりが期待できる。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	13	6	1	2	0	0	22	4.36	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	21	0	0	0	1	0	22	106	4.82	4.55
③	21	0	0	0	1	0	22	106	4.82	4.65
④	4	0	6	4	7	1	21	53	2.52	2.60
⑤	13	4	4	0	1	0	22	94	4.27	4.14
⑥	14	4	4	0	0	0	22	98	4.45	4.41
⑦	14	4	4	0	0	0	22	98	4.45	4.31
質問項目 1.									4.24	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	16	4	2	0	0	0	22	102	4.64	4.41
⑨	17	2	3	0	0	0	22	102	4.64	4.39
⑩	18	3	1	0	0	0	22	105	4.77	4.45
⑪	17	3	1	1	0	0	22	102	4.64	4.62
⑫	15	3	3	1	0	0	22	98	4.45	4.50
⑬	16	3	1	1	1	0	22	98	4.45	4.50
⑭	16	4	1	1	0	0	22	101	4.59	4.45
⑮	17	5	0	0	0	0	22	105	4.77	4.50
質問項目 2.									4.62	4.45

TOTAL									4.44	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 亀井 裕子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 保育者論

回答者数： 32 名 / 32 名

単位数： 2 単位
開設年次： 1 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

保育者とは何かということから始まって、学生の保育者への憧れや期待感をより高めるよう内容の組み合わせを考慮した。現場の資料を提示し、視覚的に理解を深められるよう心掛けた。一つ一つの授業の課題や目標を提示していったつもりではあったが、学生にうまく伝わらなかったり、漠然としていて主体的な学びに繋がらなかったりした。

2 改善課題

課題設定に学生自身の関わりが必要であると思われる。資料等の提示の仕方も工夫の余地がある。それによって学生の学びの充実感や達成感が違ってくると思われる。学生の知識は漠然としたものでしかないので、順序立てて正しい理解に結びつく配慮が必要である。事後学修の徹底で、学びの定着を図るようにしなければならない。

3 改善計画

事前学修で下調べをし、それを資料として持ち寄り共有化していく中で、課題解決に向かうような授業構成を工夫していく。そのことで、学生がテーマをより身近なものとして受け止めることができると思われる。そして、それが主体的な学修や学びの深まりにつながっていく。事後学修では、学修したことでの更なる課題設定について具体的な支援をしていく。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	20	7	4	1	0	0	32	4.44	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	31	0	0	0	0	1	31	155	5.00	4.55
③	31	0	0	0	0	1	31	155	5.00	4.65
④	1	1	2	12	14	2	30	53	1.77	2.60
⑤	18	6	7	0	0	1	31	135	4.35	4.14
⑥	20	8	3	0	0	1	31	141	4.55	4.41
⑦	18	10	3	0	0	1	31	139	4.48	4.31
質問項目 1.									4.23	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	22	7	3	0	0	0	32	147	4.59	4.41
⑨	24	5	3	0	0	0	32	149	4.66	4.39
⑩	25	3	4	0	0	0	32	149	4.66	4.45
⑪	28	3	1	0	0	0	32	155	4.84	4.62
⑫	27	3	2	0	0	0	32	153	4.78	4.50
⑬	25	5	2	0	0	0	32	151	4.72	4.50
⑭	24	6	1	0	1	0	32	148	4.63	4.45
⑮	27	4	1	0	0	0	32	154	4.81	4.50
質問項目 2.									4.71	4.45

TOTAL									4.49	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 亀井 裕子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 教職概論

回答者数： 35 名 / 36 名

単位数： 2 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

VTRや写真を多く取り入れながら、教職についての理解を援助することができた。保育士と幼稚園教諭の違いや業務についての考え方など大方理解に繋げることができたと思う。しかし、全般的に学生の主体的な学びとはいかなかった。学生は、課題について一生懸命取り組んではいたが、受身的で意見や考え方の多様性は見られなかった

2 改善課題

受身的な学びから、主体的なアクティブラーニングにもっていくための工夫が必要である。初めて学ぶ内容も多いために、受身になってしまう面もあるが、内容の精選を図ることで時間的な余裕も生まれ、主体的な学びにすることができると思われる。また、知識の定着を図るためには事後学修の有効活用も充分検討する必要がある。

3 改善計画

学修内容に対する事前調査などの工夫によって、学修課題がより学生の身近なものとなり、多様な意見が出せるようになると思われる。課題の選択にもより配慮が必要となる。事前・事後学修を課題と関連させ有効活用していきたい。そのことが学修意欲の喚起と授業内容の習得に繋がっていく。学生が充実感を味わい、教職への期待を深めるよう資料や課題の吟味をしていく。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	13	14	6	2	0	0	35	4.09	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	34	0	0	0	1	0	35	171	4.89	4.55
③	28	0	0	0	6	1	34	146	4.29	4.65
④	1	0	2	7	23	2	33	48	1.45	2.60
⑤	6	9	15	0	4	1	34	115	3.38	4.14
⑥	8	18	9	0	0	0	35	139	3.97	4.41
⑦	5	16	14	0	0	0	35	131	3.74	4.31
質問項目 1.									3.69	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	11	14	8	1	1	0	35	138	3.94	4.41
⑨	8	11	13	1	2	0	35	127	3.63	4.39
⑩	14	15	6	0	0	0	35	148	4.23	4.45
⑪	19	14	2	0	0	0	35	157	4.49	4.62
⑫	20	12	3	0	0	0	35	157	4.49	4.50
⑬	17	16	2	0	0	0	35	155	4.43	4.50
⑭	18	12	5	0	0	0	35	153	4.37	4.45
⑮	17	14	4	0	0	0	35	153	4.37	4.50
質問項目 2.									4.24	4.45

TOTAL									3.98	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 亀井 裕子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 教育課程総論

回答者数： 33 名 / 34 名

単位数： 2 単位
開設年次： 3 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

教育課程についての概要を学ぶものであるが、学生にとっては興味や関心が薄いために、理解し やすくするための手立てが必要である。具体的な事例を入れながら授業を進めてきたが、どの程度理解できているか疑問も残る。学びの必要性を感じ取らせることも大事である。主体的な学びへの手立てや工夫が今後の課題である。

2 改善課題

学習内容への興味や意識が薄いので、学生にとってより必要性を感じさせるよう導入に事例等を取り入れて関心を高めながら、学修課題をしっかりと把握させていく必要がある。主体的な学びのために課題設定の場面とそのテーマの選択を工夫するとより意欲的な学びに繋がると思われる。そのためには事前学修を効果的に取り入れていくことが大事である。

3 改善計画

事前学修で次時の学修課題を知らせておき、個々の学生が資料等の収集を事前に行っておくようにすることで、学習意欲の喚起と共に、理解を深める手だてとなる。授業においては、調べ学習をもとに協議の時間を十分確保することで、個々の学生の学びの共有と考えの練り上げができると思う。学生の実態把握(既習経験や知識、事後評価)を的確に行うことで、充実した内容構成ができる。そのことによって協議課題も学生に有効なものを取り上げることに繋がっていく。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	14	12	5	1	0	1	32	4.22	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	28	0	0	0	5	0	33	145	4.39	4.55
③	30	0	0	0	2	1	32	152	4.75	4.65
④	0	4	2	8	18	1	32	56	1.75	2.60
⑤	11	11	10	0	1	0	33	130	3.94	4.14
⑥	16	11	6	0	0	0	33	142	4.30	4.41
⑦	13	14	6	0	0	0	33	139	4.21	4.31
質問項目 1.									3.94	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	25	6	2	0	0	0	33	155	4.70	4.41
⑨	25	5	3	0	0	0	33	154	4.67	4.39
⑩	26	4	3	0	0	0	33	155	4.70	4.45
⑪	29	3	1	0	0	0	33	160	4.85	4.62
⑫	28	4	1	0	0	0	33	159	4.82	4.50
⑬	28	4	1	0	0	0	33	159	4.82	4.50
⑭	28	4	1	0	0	0	33	159	4.82	4.45
⑮	28	4	1	0	0	0	33	159	4.82	4.50
質問項目 2.									4.78	4.45

TOTAL									4.38	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 亀井裕子、石岡ひろみ、
安部和歌葉

開講期： H29年度 前期

授業科目： 保育実習指導 I

回答者数： 33 名 / 34 名

単位数： 2 単位
開設年次： 3 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

実習のねらいをしっかりと掴ませた上で、より実践的な内容を取り入れていくよう心掛けた。実習直前の演習なので学生の意欲は高まったと思われる。学修内容が多いので、細やかな指導ができにくく、内容がなかなか定着しにくかった面も見られる。今後はシラバスの再検討をして、内容の取扱い方を考慮する必要があると思われる。

2 改善課題

事前・事後学修の指導が不十分であり、学生の意識を高めていくことや、学びの習慣づけをする必要がある。学修内容が多いために、徹底した指導が難しく学生の実践力となっていない面も見られる。現場の経験のない3年次の学生にとって、実践的な内容ではあっても理解を深めるところまでは至っていないものが多く、実習に繋がらないものもある。学生の実態を的確に把握した指導が必要である。

3 改善計画

事前学修として課題を提示し、個々の学生の関心を高めて授業に向かうことが大切である。また、学修内容の定着を図るためには、事後学修を指導し実践化に繋がられるよう心掛ける実態把握を的確に行い、学生の疑問や課題に対応した学修内容の設定も考慮する必要がある。そのことが学修への意欲や定着に繋がっていくと思われる。現場の声やこれまでの実習での課題などを投げかけ、話し合いをしながら学生自身のものとしていく手立てを講じていく。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	16	13	2	1	0	1	32	4.38	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	32	0	0	0	1	0	33	161	4.88	4.55
③	30	0	0	0	3	0	33	153	4.64	4.65
④	1	4	3	12	10	3	30	64	2.13	2.60
⑤	15	11	5	1	1	0	33	137	4.15	4.14
⑥	17	12	3	1	0	0	33	144	4.36	4.41
⑦	16	11	5	1	0	0	33	141	4.27	4.31
質問項目 1.									4.12	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	20	8	5	0	0	0	33	147	4.45	4.41
⑨	19	9	5	0	0	0	33	146	4.42	4.39
⑩	19	7	7	0	0	0	33	144	4.36	4.45
⑪	20	9	4	0	0	0	33	148	4.48	4.62
⑫	22	6	5	0	0	0	33	149	4.52	4.50
⑬	20	9	4	0	0	0	33	148	4.48	4.50
⑭	21	6	6	0	0	0	33	147	4.45	4.45
⑮	22	6	5	0	0	0	33	149	4.52	4.50
質問項目 2.									4.46	4.45

TOTAL									4.30	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：馬込 勇・柏尾 剛徳

開講期：H29年度 前期

授業科目：重奏Ⅰ（管弦打）

回答者数：10 名 / 10 名

単位数：2 単位

開設年次：3・4 年次

授業形態：講義・演習

学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

3年生を中心にドボルザークの第8交響曲全楽章のオーケストラスタディを行った。ロマン派特有の慣例事項を中心に、アナリーゼも含め、前年よりスムーズに授業が進められた。

2 改善課題

弦の先生方とのアンサンブルという点では、まだまだ弦の動きを理解することが少なく、自分のパートで精一杯の学生がいたことに対して改善が必要と思った。

3 改善計画

後期からは弦との合わせの前に、木管と金管と分けてオーケストラスタディをし、さらなる改善に取り組みたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	9	0	1	0	0	0	10	4.80	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	9	0	0	0	1	0	10	46	4.60	4.55
③	9	0	0	0	1	0	10	46	4.60	4.65
④	2	4	3	0	0	1	9	35	3.89	2.60
⑤	7	2	1	0	0	0	10	46	4.60	4.14
⑥	8	2	0	0	0	0	10	48	4.80	4.41
⑦	5	5	0	0	0	0	10	45	4.50	4.31
質問項目 1.									4.54	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	8	1	1	0	0	0	10	47	4.70	4.41
⑨	8	2	0	0	0	0	10	48	4.80	4.39
⑩	8	2	0	0	0	0	10	48	4.80	4.45
⑪	8	2	0	0	0	0	10	48	4.80	4.62
⑫	8	2	0	0	0	0	10	48	4.80	4.50
⑬	8	2	0	0	0	0	10	48	4.80	4.50
⑭	8	1	1	0	0	0	10	47	4.70	4.45
⑮	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.50
質問項目 2.									4.79	4.45

TOTAL									4.67	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：馬込 勇・柏尾 剛徳

開講期：H29年度 前期

授業科目：重奏Ⅲ(管弦打)

回答者数：10 名 / 10 名

単位数：2 単位
開設年次：3・4 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ベートーヴェン第9交響曲を4年生中心にオーケストラスタディを行ったが、演奏分数の長さもあつてか・時間が足りず、第3第4楽章を後期に持ち込まなければならず、その点が残念に思う。

2 改善課題

この曲のアナリーゼ、歴史的背景を、より充実させた内容で学ばせられるよう改善していくことを課題とした。

3 改善計画

オーケストラスタディでの弦楽器との合わせの時間を増やしながら、響きや色彩に至るまでしっかりと取り組めるように改善したい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数
①	10	0	0	0	0	0	10

教科平均	全体平均
5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.55
③	8	0	0	0	2	0	10	42	4.20	4.65
④	6	2	2	0	0	0	10	44	4.40	2.60
⑤	9	0	1	0	0	0	10	48	4.80	4.14
⑥	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.41
⑦	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.31
質問項目 1.									4.76	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.41
⑨	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.39
⑩	9	0	1	0	0	0	10	48	4.80	4.45
⑪	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.62
⑫	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.50
⑬	9	0	1	0	0	0	10	48	4.80	4.50
⑭	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.45
⑮	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.50
質問項目 2.									4.91	4.45

TOTAL									4.84	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：桑原 理恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：ソルフェージュⅠB

回答者数：16名 / 16名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

指導者への評価は全体平均より高い評価であるが、学生の達成感は全体平均とあまり変わらない。特に1年生は授業集中して取り組んでいるのかかわらず、できないことに悩む学生がいることが記述からわかる。単元の再検討と事前事後学習の提示の改善につとめたい。

2 改善課題

授業内容の進め方と事前・事後学習

3 改善計画

まずは学生の能力をきちんと把握する。基礎的な内容に重点を置き、時間をかけて課題に取り組み、その上で主科や他科目と結びつく内容も多く取り入れたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	7	2	3	3	1	0	16		3.69	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	14	0	0	0	2	0	16	72	4.50	4.55
③	13	0	0	0	2	1	15	67	4.47	4.65
④	1	1	7	6	1	0	16	43	2.69	2.60
⑤	11	3	2	0	0	0	16	73	4.56	4.14
⑥	13	3	0	0	0	0	16	77	4.81	4.41
⑦	10	4	1	1	0	0	16	71	4.44	4.31
質問項目 1.									4.17	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	14	1	1	0	0	0	16	77	4.81	4.41
⑨	13	2	1	0	0	0	16	76	4.75	4.39
⑩	12	1	3	0	0	0	16	73	4.56	4.45
⑪	15	1	0	0	0	0	16	79	4.94	4.62
⑫	15	1	0	0	0	0	16	79	4.94	4.50
⑬	14	2	0	0	0	0	16	78	4.88	4.50
⑭	13	3	0	0	0	0	16	77	4.81	4.45
⑮	14	2	0	0	0	0	16	78	4.88	4.50
質問項目 2.									4.82	4.45

TOTAL									4.52	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：桑原 理恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：ソルフェージュⅢB

回答者数：20 名 / 23 名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
指導者への評価は全体平均より高い評価であるが、学生の達成感は全体平均とあまり変わらない。特に1年生は授業集中して取り組んでいるのかかわらず、できないことに悩む学生がいることが記述からわかる。単元の再検討と事前事後学習の提示の改善につとめたい。

2 改善課題
授業内容の進め方と事前・事後学習

3 改善計画
まずは学生の能力をきちんと把握する。基礎的な内容に重点を置き、時間をかけて課題に取り組み、その上で主科や他科目と結びつく内容も多く取り入れたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	5	9	2	4	0	0	20		3.75	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	18	0	0	0	2	0	20	92	4.60	4.55
③	18	0	0	0	2	0	20	92	4.60	4.65
④	1	2	6	2	8	1	19	43	2.26	2.60
⑤	11	7	2	0	0	0	20	89	4.45	4.14
⑥	13	6	1	0	0	0	20	92	4.60	4.41
⑦	10	7	3	0	0	0	20	87	4.35	4.31
質問項目 1.									4.09	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	13	6	1	0	0	0	20	92	4.60	4.41
⑨	14	6	0	0	0	0	20	94	4.70	4.39
⑩	16	4	0	0	0	0	20	96	4.80	4.45
⑪	18	2	0	0	0	0	20	98	4.90	4.62
⑫	17	2	1	0	0	0	20	96	4.80	4.50
⑬	18	1	1	0	0	0	20	97	4.85	4.50
⑭	18	1	1	0	0	0	20	97	4.85	4.45
⑮	16	3	0	1	0	0	20	94	4.70	4.50
質問項目 2.									4.78	4.45
TOTAL									4.45	4.27

教科担当者：桑原 理恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：ソルフェージュⅤ

回答者数：11名 / 15名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

指導者への評価は全体平均より高い評価であるが、学生の達成感は全体平均とあまり変わらない。特に1年生は授業集中して取り組んでいるのかかわらず、できないことに悩む学生がいることが記述からわかる。単元の再検討と事前事後学習の提示の改善につとめたい。

2 改善課題

授業内容の進め方と事前・事後学習

3 改善計画

まずは学生の能力をきちんと把握する。基礎的な内容に重点を置き、時間をかけて課題に取り組み、その上で主科や他科目と結びつく内容も多く取り入れたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	4	4	0	2	1	0	11	3.73	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	8	0	0	0	3	0	11	43	3.91	4.55
③	9	0	0	0	2	0	11	47	4.27	4.65
④	2	1	1	4	2	1	10	27	2.70	2.60
⑤	6	1	2	0	1	1	10	41	4.10	4.14
⑥	6	3	2	0	0	0	11	48	4.36	4.41
⑦	6	2	3	0	0	0	11	47	4.27	4.31
質問項目 1.									3.91	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	10	0	1	0	0	0	11	53	4.82	4.41
⑨	9	1	1	0	0	0	11	52	4.73	4.39
⑩	8	2	1	0	0	0	11	51	4.64	4.45
⑪	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.62
⑫	10	1	0	0	0	0	11	54	4.91	4.50
⑬	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.50
⑭	10	1	0	0	0	0	11	54	4.91	4.45
⑮	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.50
質問項目 2.									4.88	4.45

TOTAL									4.42	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 桑原 理恵

開講期： H29年度 前期

授業科目： 歌曲研究 I

回答者数： 3 名 / 3 名

単位数： 2 単位
開設年次： 3・4 年次

授業形態： 講義・演習
学科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

この授業は個人レッスンでドイツ歌曲を既習している学生とドイツ歌曲が全くはじめてという学生が混在している。今回は課題曲数を減らしドイツ語の発音・リズム、詩の内容と音楽をじっくりと深く学んだ。学生たちの集中力もあり、その結果一人一人のドイツ歌曲への意識が変わった。そのことが到達目標が達成できたという学生の評価につながったと推測する

2 改善課題

事前・事後学習の具体的な提示

3 改善計画

授業内容予告とともに、準備しておく必要がある事柄を毎回提示する。また、その内容を発表し、学生相互で学習するスタイルを取り入れる。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	1	1	0	1	0	0	3	3.67	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	2.60
⑤	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.14
⑥	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.41
⑦	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.31
質問項目 1.									4.62	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.41
⑨	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.39
⑩	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.50
⑭	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.45
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
質問項目 2.									4.84	4.45

TOTAL									4.74	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：桑原 理恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：歌曲研究Ⅲ

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：専 年次

授業形態：講義・演習
学科：専攻科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

この授業は個人レッスンでドイツ歌曲を既習している学生とドイツ歌曲が全くはじめてという学生が混在している。今回は課題曲数を減らしドイツ語の発音・リズム、詩の内容と音楽をじっくりと深く学んだ。学生たちの集中力もあり、その結果一人一人のドイツ歌曲への意識が変わった。そのことが到達目標が達成できたという学生の評価につながったと推測する

2 改善課題

事前・事後学習の具体的な提示

3 改善計画

授業内容予告とともに、準備しておく必要がある事柄を毎回提示する。また、その内容を発表し、学生相互で学習するスタイルを取り入れる。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	0	1	0	0	1	2.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.55
③	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.65
④	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	2.60
⑤	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.31
質問項目 1.									2.86	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.00	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：音楽理論ⅠA

回答者数：10名 / 10名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

音楽理論が実践的に役立つよう、基礎知識を盛り込みながらシラバスに沿って授業をすすめた。出席状況は良好で、学生たちの雰囲気がとても良い。自主的な予習復習を行う学生も多く、力が付いていると考える。学生たちの反応が良く、お互いに発言しあうことで学習効果が上がっていると思う。

2 改善課題

個々の能力に合わせた進度で授業を行うことも、学生のスキルアップのために必要であるが、グループで課題を持たせ、お互いが1つの目標に向かう中でそれぞれの力を高める授業も展開したいと思う

3 改善計画

受け身のまま問題を解くだけでなく、自ら考え、調べ、説明できる音楽理論をめざす。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	7	2	1	0	0	0	10	4.60	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.55
③	9	0	0	0	0	1	9	45	5.00	4.65
④	0	3	7	0	0	0	10	33	3.30	2.60
⑤	6	4	0	0	0	0	10	46	4.60	4.14
⑥	8	2	0	0	0	0	10	48	4.80	4.41
⑦	7	2	1	0	0	0	10	46	4.60	4.31
質問項目 1.									4.56	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.41
⑨	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.39
⑩	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.45
⑪	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.62
⑫	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.50
⑬	8	1	0	0	0	1	9	44	4.89	4.50
⑭	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.45
⑮	8	2	0	0	0	0	10	48	4.80	4.50
質問項目 2.									4.89	4.45

TOTAL									4.73	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：室内楽ⅠB

回答者数：4名 / 4名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）	
1 自己評価	室内楽ⅠBは授業の進度が予定通り、まともによく進むことができた。1人の学生が休んだり練習をしなかったりすると、ほかの学生にも迷惑がかかり授業の進度も遅くなる。興味を持続させるための試みとして、曲の時代背景や曲の特色など調べることで持続性が向上した。
2 改善課題	アンサンブルを通して、具体的にどのように音を合わせていくのか、2人で演奏する時の技術向上のための指導を徹底する。十分予習して授業に臨むよう促す。
3 改善計画	個人の能力に合わせたきめ細やかな指導をすることで、学生の満足度を高める授業を目指す。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	1	2	0	1	0	0	4		3.75	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.55
③	3	0	0	0	1	0	4	16	4.00	4.65
④	0	1	2	0	0	1	3	10	3.33	2.60
⑤	2	1	1	0	0	0	4	17	4.25	4.14
⑥	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.41
⑦	2	1	1	0	0	0	4	17	4.25	4.31
質問項目 1.									4.15	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.41
⑨	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.39
⑩	2	1	1	0	0	0	4	17	4.25	4.45
⑪	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.62
⑫	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.50
⑬	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.50
⑭	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.45
⑮	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.50
質問項目 2.									4.50	4.45

TOTAL									4.34	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：室内楽Ⅲ

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：4 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

室内楽Ⅲは楽譜の準備や練習方法など、力のある学生に頼る傾向にあった。1人の学生が休んだり練習をしなかったりすると、ほかの学生にも迷惑がかかり授業の進度も遅くなる。興味を持続させるための試みとして、曲の時代背景や曲の特色など調べることで持続性が向上した。

2 改善課題

アンサンブルを通して、具体的にどのように音を合わせていくのか、2人で演奏する時の技術向上のための指導を徹底する。十分予習して授業に臨むよう促す。

3 改善計画

個人の能力に合わせたきめ細やかな指導をすることで、学生の満足度を高める授業を目指す。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数			
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均	
①	1	0	0	1	0	0	2	3.50	4.09	

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	0	0	0	0	2	0	2	2	1.00	4.65
④	0	1	0	1	0	0	2	6	3.00	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.31
質問項目 1.									3.86	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.47	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：伴奏法研究 I

回答者数：1 名 / 1 名

単位数：2 単位
開設年次：専 年次

授業形態：講義・演習
学 科：専攻科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
本年度から伴奏法研究 I を担当し、1対1の授業であるため学びが集中している利点があると感じた。その一方で、学生は曲を多く抱えることになる。課題が十分に消化出来なかった反省点がある。

2 改善課題
伴奏法は器楽曲から声楽曲と幅も広く、学生の力量と音色に合った楽曲選びを行うべきだと感じた。今後、内容と進捗を検討したいと思う。

3 改善計画
事前学修が十分可能な楽曲にする。器楽曲の伴奏法に重点を置いた指導をする。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	0	0	1	3.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									4.71	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.87	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 隈部文

開講期： H29年度 前期

授業科目： リトミック I

回答者数： 34 名 / 36 名

単位数： 1 単位
開設年次： 1 年次

授業形態： 講義・演習
学科： 音楽・こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

前期はリミック体験を目的としている。音楽に反応しながら身体を動かすことに抵抗のある学生もいたようであるが、回を重ねるたびにそのような思いも次第に払拭され笑顔で授業を受け、積極的な取り組みが見られた。個人の課題だけでなく、グループやクラス全体での課題を行うことにより、お互いのコミュニケーションが取れ、普段あまり話さないクラスメートとも授業を通して仲良くなれたようである。

2 改善課題

「授業は楽しい！」だけで終わっている学生がおり、リミックの重要性を理解していない。

3 改善計画

今行っていることが自分自身の何に繋がるのか、また、保育現場でどのように行っていくかを一つひとつ伝えていき、授業の理解を深めていく。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	18	8	5	1	1	1	33	4.24	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	32	0	0	0	1	1	33	161	4.88	4.55
③	29	0	0	0	3	2	32	148	4.63	4.65
④	1	0	3	11	16	3	31	52	1.68	2.60
⑤	12	11	7	2	2	0	34	131	3.85	4.14
⑥	19	12	2	1	0	0	34	151	4.44	4.41
⑦	17	12	4	1	0	0	34	147	4.32	4.31
質問項目 1.									4.01	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすく工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	15	11	7	1	0	0	34	142	4.18	4.41
⑨	15	9	8	1	1	0	34	138	4.06	4.39
⑩	18	10	6	0	0	0	34	148	4.35	4.45
⑪	24	8	2	0	0	0	34	158	4.65	4.62
⑫	24	8	2	0	0	0	34	158	4.65	4.50
⑬	24	6	4	0	0	0	34	156	4.59	4.50
⑭	21	9	4	0	0	0	34	153	4.50	4.45
⑮	23	9	2	0	0	0	34	157	4.62	4.50
質問項目 2.									4.45	4.45

TOTAL									4.24	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 隈部文

開講期： H29年度 前期

授業科目： 幼児音楽教育 I

回答者数： 31 名 / 32 名

単位数： 2 単位
開設年次： 1 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

現場で使う手遊びうた、あそびうた、それらに必要な保育製作を行った。前期は多くの曲を知ることを重視し、事前学習として課題を与え、毎回いくつかのグループが全員の前で手遊び歌を披露し、一緒に行った。何度も発表することで、徐々に人前で発表することに慣れていったようである。3回目からは発表のたびに動作や声の大きさ、音程や顔の表情など細かく注意し、表情豊かにできるよう指導した

2 改善課題

- ① 保育現場の経験がないため、こどもを意識した取り組みが不十分である。
- ② 手遊びうたやあそびうたをあまり覚えておらず、すぐに出来ない学生が多い。

3 改善計画

- ① 現場でのこどもたちの映像を見せ、意識を高めさせる。また、長期休暇を利用して、学んだ手遊びなどを実際にこどもたちと取り組むような課題を設ける。
- ② 小テストを頻繁に行い、繰り返し復習する時間を設定する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	17	11	2	0	1	0	31		4.39	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	30	0	0	0	1	0	31	151	4.87	4.55
③	31	0	0	0	0	0	31	155	5.00	4.65
④	2	3	6	11	7	2	29	69	2.38	2.60
⑤	17	9	3	1	1	0	31	133	4.29	4.14
⑥	19	9	2	0	1	0	31	138	4.45	4.41
⑦	19	8	3	1	0	0	31	138	4.45	4.31
質問項目 1.									4.26	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	18	9	4	0	0	0	31	138	4.45	4.41
⑨	18	9	4	0	0	0	31	138	4.45	4.39
⑩	20	8	3	0	0	0	31	141	4.55	4.45
⑪	25	5	1	0	0	0	31	148	4.77	4.62
⑫	24	6	1	0	0	0	31	147	4.74	4.50
⑬	26	3	2	0	0	0	31	148	4.77	4.50
⑭	22	8	1	0	0	0	31	145	4.68	4.45
⑮	27	3	1	0	0	0	31	150	4.84	4.50
質問項目 2.									4.66	4.45

教科担当者： 隈部文 開講期： H29年度 前期

授業科目： ハーモニーⅡ 回答者数： 10 名 / 11 名

単位数： 2 単位 授業形態： 講義・演習
開設年次： 3 年次 学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

履修者が10名で少人数だったのクラスだったので、こどものうたの伴奏付けや移調、伴奏アレンジを一人ひとりのペースに合わせて進め、学生一人ずつじっくりと向き合えて個人指導も十分にできた。毎回自分の課題を発表することで自信が付き、聴く側もさまざまな演奏法を学び、それをすぐに取り入れることでアレンジ力も少しずつついてきたように思う。また、ML教室の環境を活かし、様々な音色で演奏したり、一つの曲をリレー形式で演奏したりと音楽を幅広く経験させることもできた。とてもアットホームなクラスでお互いを認め合い励ます姿も見られ、毎回授業中の空気が活気に満ちていた。

2 改善課題

こどもの歌唱曲だけの取り組みとなった。

3 改善計画

こどもの様々なジャンルの曲を合奏曲に編曲し、電子オルガンでアンサンブルを行う。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	5	5	0	0	0	0	10	4.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.55
③	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.65
④	2	1	3	3	1	0	10	30	3.00	2.60
⑤	8	1	1	0	0	0	10	47	4.70	4.14
⑥	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.41
⑦	9	0	1	0	0	0	10	48	4.80	4.31
質問項目 1.									4.56	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	8	1	1	0	0	0	10	47	4.70	4.41
⑨	8	1	1	0	0	0	10	47	4.70	4.39
⑩	9	0	1	0	0	0	10	48	4.80	4.45
⑪	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.62
⑫	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.50
⑬	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.50
⑭	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.45
⑮	8	1	1	0	0	0	10	47	4.70	4.50
質問項目 2.									4.81	4.45
TOTAL									4.69	4.27

教科担当者： 隈部文

開講期： H29年度 前期

授業科目： 音楽理論B

回答者数： 10 名 / 10 名

単位数： 2 単位
開設年次： 1 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

Bクラスは音楽未経験者クラスだが10名の小人数だったので、一人ひとりに目が行き届き、学生からの質問にもしっかり答えることができた。しかし理解度にも個人差があり、毎回の授業で繰り返し前の単元を復習するので、なかなか次の内容に進めず、少し単元が残った結果となった。「音楽理論は難しい」というイメージを少しでも払拭したく、身体活動を伴った授業の展開も行い、楽しい雰囲気心を掛けた。

2 改善課題

個別指導が十分にできたはずなのだが、毎回チェックテストを行ってもなかなか結果となって表れない学生が多かった。

3 改善計画

意欲を持って授業に取り組もうとする学生が少ないので、毎回宿題として課題プリントを配布し、事前学習や事後学習の時間を増やし理解が深まるようにしていきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席		
①	3	2	5	0	0	0	10

教科平均	全体平均
3.80	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	8	0	0	0	2	0	10	42	4.20	4.55
③	9	0	0	0	1	0	10	46	4.60	4.65
④	1	0	6	2	1	0	10	28	2.80	2.60
⑤	4	4	2	0	0	0	10	42	4.20	4.14
⑥	6	4	0	0	0	0	10	46	4.60	4.41
⑦	6	4	0	0	0	0	10	46	4.60	4.31
質問項目 1.									4.11	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	8	2	0	0	0	0	10	48	4.80	4.41
⑨	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.39
⑩	8	1	1	0	0	0	10	47	4.70	4.45
⑪	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.62
⑫	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.50
⑬	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.50
⑭	8	2	0	0	0	0	10	48	4.80	4.45
⑮	6	4	0	0	0	0	10	46	4.60	4.50
質問項目 2.									4.83	4.45

TOTAL									4.49	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：石岡ひろみ

開講期：H29年度 前期

授業科目：こどもの体育 I

回答者数：34 名 / 36 名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
乳幼児期の運動あそびの意義や重要性を学び合うために理論と実践を交えて進めようとしたが、1時間目から3時間空いての5限目の授業であり、学生たちが集中して参加できるような授業展開の工夫、仕掛けが足りなかった。一部の学生の集中力、意欲をうまく引き出すことができなかった。

2 改善課題
状況を踏まえた授業の在り方を考える。夏期の体育館の環境。個々人の参加態度、意欲に差がある。

3 改善計画
学生一人ひとりにこどもの体育の必要性を理解して貰い、高い意識をもって授業に臨めるよう、毎時、やりがいのある内容にする。精神的な課題を克服すると共に、体育館の環境整備に着手する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	9	14	9	2	0	0	34		3.88	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	29	0	0	0	5	0	34	150	4.41	4.55
③	30	0	0	0	3	1	33	153	4.64	4.65
④	1	0	2	3	26	2	32	43	1.34	2.60
⑤	3	10	12	2	7	0	34	102	3.00	4.14
⑥	8	17	8	1	0	0	34	134	3.94	4.41
⑦	8	15	11	0	0	0	34	133	3.91	4.31
質問項目 1.									3.59	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	7	10	14	1	2	0	34	121	3.56	4.41
⑨	6	8	16	1	2	1	33	114	3.45	4.39
⑩	9	12	11	0	0	2	32	126	3.94	4.45
⑪	21	10	3	0	0	0	34	154	4.53	4.62
⑫	15	13	4	0	2	0	34	141	4.15	4.50
⑬	17	10	5	1	1	0	34	143	4.21	4.50
⑭	13	11	9	1	0	0	34	138	4.06	4.45
⑮	14	13	5	2	0	0	34	141	4.15	4.50
質問項目 2.									4.01	4.45

TOTAL									3.81	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：石岡ひろみ

開講期：H29年度 前期

授業科目：基礎美術

回答者数：31名 / 31名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

造形に際して、導入や表現の経過を大切にすることにより、楽しく造形能力や感性を高めることが出来た。自らが楽しさを知り取り組んできたことは、子どもたちと共に造形表現の扉を開ききっかけに繋がると思われる。

2 改善課題

毎回シラバスに沿って準備、振り返りを伝え、ほぼ実践できていたが、授業1回あたりの事前事後学修の値が低い。

3 改善計画

時間には拘らないが、更に深く掘り下げた事前事後指導が出来るよう、授業の中で細かな指導を行う。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数			
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	12	11	6	2	0	0	31		4.06	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	30	0	0	0	1	0	31	151	4.87	4.55
③	31	0	0	0	0	0	31	155	5.00	4.65
④	3	0	3	10	15	0	31	59	1.90	2.60
⑤	20	7	4	0	0	0	31	140	4.52	4.14
⑥	24	4	3	0	0	0	31	145	4.68	4.41
⑦	23	5	2	1	0	0	31	143	4.61	4.31
質問項目 1.									4.23	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	25	5	1	0	0	0	31	148	4.77	4.41
⑨	23	5	3	0	0	0	31	144	4.65	4.39
⑩	26	3	1	0	1	0	31	146	4.71	4.45
⑪	25	4	1	0	1	0	31	145	4.68	4.62
⑫	22	7	2	0	0	0	31	144	4.65	4.50
⑬	25	3	3	0	0	0	31	146	4.71	4.50
⑭	26	3	1	0	1	0	31	146	4.71	4.45
⑮	26	2	2	0	1	0	31	145	4.68	4.50
質問項目 2.									4.70	4.45
TOTAL									4.48	4.27

教科担当者：石岡ひろみ

開講期：H29年度 前期

授業科目：保育内容研究Ⅴ(感性と表現)

回答者数：35名 / 36名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学科：こども学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

子どもの豊かな表現を引き出すために、有効な手立てを実践や発表の仕方を学び合うことで、理解を深めるようにした。オペレッタへの取り組みは一人ひとりが非常に熱心で、とても充実した発表がなされた。そこから保育に活かす展開について、もう一歩深めるべきであった。

2 改善課題

表現の学びは、子どもたちの豊かな表現を引き出すためのものという根本的なことが十分伝わっていない。

3 改善計画

保育の現場に活かせるものは何か、どこを工夫・改善すると活かせるのか、個々人への丁寧な対応をする。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	19	12	4	0	0	0	35	4.43	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	34	0	0	0	1	0	35	171	4.89	4.55
③	31	0	0	0	3	1	34	158	4.65	4.65
④	20	1	5	7	2	0	35	135	3.86	2.60
⑤	16	12	5	1	0	1	34	145	4.26	4.14
⑥	18	12	4	1	0	0	35	152	4.34	4.41
⑦	20	11	3	1	0	0	35	155	4.43	4.31
質問項目 1.									4.41	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	13	14	7	0	1	0	35	143	4.09	4.41
⑨	15	13	7	0	0	0	35	148	4.23	4.39
⑩	15	10	10	0	0	0	35	145	4.14	4.45
⑪	24	6	5	0	0	0	35	159	4.54	4.62
⑫	20	8	6	1	0	0	35	152	4.34	4.50
⑬	18	14	2	0	1	0	35	153	4.37	4.50
⑭	19	12	4	0	0	0	35	155	4.43	4.45
⑮	17	15	3	0	0	0	35	154	4.40	4.50
質問項目 2.									4.32	4.45

TOTAL									4.36	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：石岡ひろみ

開講期：H29年度 前期

授業科目：保育内容研究Ⅶ(感性と表現)

回答者数：33名 / 34名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
子どもの感性を育むためにミニシアターの表現に関する導入の後、エプロンシアター製作、台本作り、表現の仕方研究後、サテライトステージでの発表を実施することが出来た。実習を前に熱心な取り組みと創意工夫が見られ、子どもを前に見立てての熱の入ったステージ発表はとても有意義であった。

2 改善課題
制作、表現の仕方に個人差がある。

3 改善計画
特に制作は、個人差がみられるため、苦手意識をもっている学生には個別の対応を行うようにする。表現の仕方、子どもへの関わり方に関しても発表の後の個別のフォローを丁寧におこなう。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	17	7	7	1	0	1	32		4.25	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	31	0	0	0	2	0	33	157	4.76	4.55
③	31	0	0	0	1	1	32	156	4.88	4.65
④	11	5	9	4	2	2	31	112	3.61	2.60
⑤	21	8	4	0	0	0	33	149	4.52	4.14
⑥	21	9	3	0	0	0	33	150	4.55	4.41
⑦	21	9	3	0	0	0	33	150	4.55	4.31
質問項目 1.									4.45	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	24	6	3	0	0	0	33	153	4.64	4.41
⑨	25	6	2	0	0	0	33	155	4.70	4.39
⑩	24	6	3	0	0	0	33	153	4.64	4.45
⑪	26	5	2	0	0	0	33	156	4.73	4.62
⑫	25	6	2	0	0	0	33	155	4.70	4.50
⑬	25	5	3	0	0	0	33	154	4.67	4.50
⑭	24	6	3	0	0	0	33	153	4.64	4.45
⑮	26	5	2	0	0	0	33	156	4.73	4.50
質問項目 2.									4.68	4.45

TOTAL									4.57	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：友永 和恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：音楽理論A

回答者数：22名 / 22名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

受講者22名は音楽の基礎がある学生たちである。使用テキストは前任者が使用していたものを引き継いだ。こども学科なので音楽の基礎的な部分で理論とソルフェージュの合体した内容である。15回の授業で確実に音楽の基礎を習得し、4年間の音楽系の授業に興味を持って取り組めるようにと指導した。

2 改善課題

アンケートでは楽しい授業だった、理解するのが難しかった、個別に指導を受けて分かった、オフィスアワーを受けて分かった等、学生によって理解の差があった。集団で歌わせるとかなり良質の声で歌えた。受講態度に関しては、良い姿勢、大きな声で発言、表情等、基本的な所作が難しかった。

3 改善計画

個々の個性を生かしつつ音楽力を修得させ、保育現場で活用できるように、声楽・ピアノ・ハーモニー・指揮作曲等に繋がるような授業内容を考える。教材の選択と指導法の工夫が必須だと考える。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	9	8	4	1	0	0	22		4.14	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	19	0	0	0	3	0	22	98	4.45	4.55
③	22	0	0	0	0	0	22	110	5.00	4.65
④	0	2	4	9	7	0	22	45	2.05	2.60
⑤	10	7	4	0	1	0	22	91	4.14	4.14
⑥	15	5	2	0	0	0	22	101	4.59	4.41
⑦	14	4	4	0	0	0	22	98	4.45	4.31
質問項目 1.									4.12	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	13	6	3	0	0	0	22	98	4.45	4.41
⑨	14	7	1	0	0	0	22	101	4.59	4.39
⑩	15	5	2	0	0	0	22	101	4.59	4.45
⑪	19	2	1	0	0	0	22	106	4.82	4.62
⑫	12	7	2	1	0	0	22	96	4.36	4.50
⑬	14	5	3	0	0	0	22	99	4.50	4.50
⑭	15	5	2	0	0	0	22	101	4.59	4.45
⑮	14	6	2	0	0	0	22	100	4.55	4.50
質問項目 2.									4.56	4.45

TOTAL									4.35	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：真鍋 協子

開講期：H29年度 前期

授業科目：伴奏法ⅠA

回答者数：6名 / 8名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年度はML教室での授業となり、ピアノ専攻以外の学生の、貴重な練習時間を確保するという意味で有効だったと感じる。履修者はほとんどが教職課程の履修者であったため、授業への積極的な参加が見られた。が反面アンケート結果からも分かるように、事前・事後学修に対する指導が甘かったと感じる。

2 改善課題

教職を履修していない受講生を、積極的に授業に参加させること。

3 改善計画

中には基礎力がまだ低い学生もいたが、『教職必修』であることの意義を確認させ、モチベーションを維持させる。演奏力の高い学生を目標とさせることでクラス全体に「努力しなければ」という雰囲気を生み出す。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	2	2	2	0	0	0	6	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.55
③	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.65
④	1	1	2	2	0	0	6	19	3.17	2.60
⑤	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.14
⑥	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.41
⑦	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.31
質問項目 1.									4.52	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.41
⑨	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.39
⑩	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.45
⑪	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.62
⑫	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.50
⑬	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.50
⑭	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.45
⑮	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.50
質問項目 2.									4.85	4.45

TOTAL									4.70	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：眞鍋 協子

開講期：H29年度 前期

授業科目：伴奏法ⅠC

回答者数：7名 / 7名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年度の履修学生は基礎能力が高い学生が多かったため、小グループに分け、各々の能力に合った課題曲を与えた。その結果自分の持つ目標を再認識し、全員が意欲的に取り組むことが出来た。また曲の背景を知るために作曲家の映像を見せ、感想文を課題としたところ、今の音大生としての自分を見直し、改善のきっかけとするような手応えを記した学生が多かった。今後も続けたいと感じた。

2 改善課題

よく練習はするが消極的な学生とコミュニケーションを多くとりたい。基礎力に差があるクラス授業についての効率的な学びの研究。

3 改善計画

やや基礎力が低い学生には、時間外での更なる指導を実施したい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	6	1	0	0	0	0	7	4.86	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	6	0	0	0	1	0	7	31	4.43	4.55
③	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.65
④	3	3	1	0	0	0	7	30	4.29	2.60
⑤	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.14
⑥	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.41
⑦	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.31
質問項目 1.									4.80	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.41
⑨	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.39
⑩	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.45
⑪	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.62
⑫	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.50
⑬	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.50
⑭	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.45
⑮	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.91	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：眞鍋 協子

開講期：H29年度 前期

授業科目：伴奏法ⅢA

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
アンケート結果を見て、授業の組み立てがあまりうまくいかなかったことを反省した。初回授業時に学生たちの到達目標を調査したのだが、より具体的に明示させないと満足度が高くはならないことが分かった。

2 改善課題
あまり発言が多くない学生からいかに言葉を引き出し、コミュニケーションを取るかが課題である。

3 改善計画
「伴奏法Ⅱ」までの各学生の習熟度、基礎能力をより詳細に調査し、能力の異なる学生一人一人にきめ細やかに対応し、指導していくこと

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	0	1	1	0	0	0	2	3.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	1	0	2	6	3.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	0	0	2	0	0	0	2	6	3.00	2.60
⑤	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.14
⑥	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.41
⑦	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.31
質問項目 1.									3.79	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.41
⑨	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.39
⑩	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.45
⑪	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.62
⑫	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.50
⑬	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.50
⑭	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.45
⑮	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.50
質問項目 2.									4.19	4.45

TOTAL									4.00	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 眞鍋 協子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 伴奏法ⅢB

回答者数： 8 名 / 8 名

単位数： 2 単位
開設年次： 3 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年度前期はピアノコース3年生が全員履修した。伴奏の機会も多くなることを鑑みて、初見試奏を課題として取り組んだ。2台のピアノを活かして4人4手で片手ずつのトレーニングから取り組めた。ただ、アンケート結果から、事前・事後学修への取り組みが甘かったことが分かった。

2 改善課題

個々の卒業後への危機意識が浅く、伴奏力・演奏力の向上を目指す、或いは思いを持続させることができる学生が3分の1ほどだと感じる

3 改善計画

事前・事後学修を徹底する。テキストを再選定し、スキルアップにつながる授業を目指したい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	5	0	1	1	0	8	3.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	6	0	0	0	2	0	8	32	4.00	4.55
③	6	0	0	0	2	0	8	32	4.00	4.65
④	0	2	2	3	1	0	8	21	2.63	2.60
⑤	4	2	1	0	1	0	8	32	4.00	4.14
⑥	5	2	1	0	0	0	8	36	4.50	4.41
⑦	5	1	2	0	0	0	8	35	4.38	4.31
質問項目 1.									3.86	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすく工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	6	2	0	0	0	0	8	38	4.75	4.41
⑨	6	2	0	0	0	0	8	38	4.75	4.39
⑩	6	2	0	0	0	0	8	38	4.75	4.45
⑪	6	1	1	0	0	0	8	37	4.63	4.62
⑫	6	2	0	0	0	0	8	38	4.75	4.50
⑬	6	2	0	0	0	0	8	38	4.75	4.50
⑭	6	2	0	0	0	0	8	38	4.75	4.45
⑮	6	2	0	0	0	0	8	38	4.75	4.50
質問項目 2.									4.74	4.45

TOTAL									4.33	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：脇山 純

開講期：H29年度 前期

授業科目：創作応用演習Ⅰ（パフォーマンス）

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

支援を要する学生への対応をしているが、時間と労力の割には目立った効果はない。気長に取り組んでいるし、ほかの音楽の教科の内容も復習させている。理論では理解できなくても、音や体で覚えてほしいので毎日の練習に取り入れている。健康に問題がある学生は指に力が入らないなどの症状もあり、欠席も多い。学生の力に応じた指導も必要だが、大学での教育なのである程度のレベルも必要でジレンマを感じる。パフォーマンスは授業内容に自由度が高いので工夫の余地は大いにある。

2 改善課題

毎回の授業が次につながるようにしたいので、練習方法を具体的に示しているが毎日とはしてないようにも思える。学生が自分の実力を認識していないのが問題（まだまだ力不足だと分かって、自覚してほしい）。それぞれの学生の関心をもっと把握し、授業内容を見直す。

3 改善計画

練習方法を確実に理解させ、毎日の継続が力になることを理解させたい。学生が興味を持つよう、授業内容を検討。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	1	0	0	0	0	2	4.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.41
⑦	0	1	1	0	0	0	2	7	3.50	4.31
質問項目 1.									4.57	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。（資料・AV機器の利用・説明・助言）
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。（説明・アドバイス）
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。（発言や質問がしやすい雰囲気）
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.41
⑨	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑭	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.45
⑮	0	2	0	0	0	0	2	8	4.00	4.50
質問項目 2.									4.63	4.45

TOTAL									4.60	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 脇山 純

開講期： H29年度 前期

授業科目： サウンドデザインⅢ

回答者数： 4 名 / 4 名

単位数： 2 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

事前学修、事後学修に関して学生になじんでいない。学生の期待に沿った授業ができてないようだ。このクラスの評価は厳しく、ショックを受けた（依怙最良などはしていないのに、両極端な評価がついていて、ほかのクラスの評価と違いすぎる）最低の評価をしたと思われる学生とのコミュニケーションが不足しているのかもしれない。

2 改善課題

事前学修、事後学修に関して学生になじんでもらう。それぞれの学生の関心をもっと把握して、授業の内容に柔軟性を持たせる。音楽の関心が狭く、それしかない学生がいるので幅広い関心を持つような指導が必要だ。

3 改善計画

事前学修、事後学修に関して学生にシラバス、および授業中に意識させ課題を出す。それぞれの学生が興味を持つよう、授業内容を検討（シラバスの練り直し）。授業以外でも学生とのコミュニケーションをとる。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数
①	1	1	1	0	1	0	4

教科平均	全体平均
3.25	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.55
③	2	0	0	0	2	0	4	12	3.00	4.65
④	1	1	1	0	1	0	4	13	3.25	2.60
⑤	3	0	1	0	0	0	4	18	4.50	4.14
⑥	2	1	1	0	0	0	4	17	4.25	4.41
⑦	2	1	1	0	0	0	4	17	4.25	4.31
質問項目 1.									3.93	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。（資料・AV機器の利用・説明・助言）
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。（説明・アドバイス）
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。（発言や質問がしやすい雰囲気）
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	1	0	1	0	4	14	3.50	4.41
⑨	2	0	1	1	0	0	4	15	3.75	4.39
⑩	2	0	1	1	0	0	4	15	3.75	4.45
⑪	2	0	1	1	0	0	4	15	3.75	4.62
⑫	2	0	1	0	1	0	4	14	3.50	4.50
⑬	2	0	1	0	1	0	4	14	3.50	4.50
⑭	2	0	2	0	0	0	4	16	4.00	4.45
⑮	2	0	1	0	1	0	4	14	3.50	4.50
質問項目 2.									3.66	4.45

TOTAL									3.78	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 脇山 純

開講期： H29年度 前期

授業科目： アートマネジメントⅢ

回答者数： 1 名 / 5 名

単位数： 2 単位
開設年次： 3 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

授業公開などで見学された先生方からアドバイスをいただいているので、それをもとに少しずつは改善している。それにしても回答者が一人で自身に関しても、私に関しても最低の評価をつけていることにはショックだ。真面目に出席している学生と思われるので、私のコミュニケーション不足なのだろう。授業内容は学生が本学で体験したこと、身近なことなどを選んでいくつもりだ。

2 改善課題

ネットでの調べ学習が主で、そこから調べたことをまとめて発表し、場合によっては自分の意見を発表させているが、学生の発言を最後まで聞いてそれからはかの学生の意見を交え、学生主体の授業にしたい(学生の発言の先回りをするのも多いので反省している)。

3 改善計画

すぐに発表できなくても、気長に様子を見ながら発言へと導いてゆきたい。学生の発言の先回りをして、私のほうがまとめないよう気を付けたい。授業以外でも学生とのコミュニケーションをとってゆきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	0	0	1	3.00	4.09

回 答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.55
③	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.65
④	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	2.60
⑤	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.14
⑥	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.41
⑦	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.31
質問項目 1.									1.29	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

集計結果										
回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.41
⑨	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.39
⑩	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.45
⑪	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.62
⑫	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.50
⑬	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.50
⑭	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.45
⑮	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.50
質問項目 2									1.00	4.45

TOTAL									1.13	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：村橋 和子

開講期：H29年度 前期

授業科目：音楽療法演習Ⅰ

回答者数：3名 / 3名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
主科であるにも関わらず、アンケート結果の前、日頃から意欲低下また勉強不足を痛感している。目標達成ができるはずはない。指導力のなさを深く反省する毎日である。

2 改善課題
① 事前・事後学修の時間増加
② 学習意欲の低下

3 改善計画
①について:課題曲の練習ができていない場合はキーボードを使って個人練習、また理論については授業中に学生に質問をし、理解度を確認する。
②について:現場見学の機会を設定し、音楽力の必要性を痛感させる、また音楽療法の素晴らしさを体験する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	0	1	1	1	0	0	3	3.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	1	0	1	1	0	0	3	10	3.33	2.60
⑤	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.14
⑥	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑦	0	2	1	0	0	0	3	11	3.67	4.31

質問項目 1.

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑨	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.39
⑩	2	0	1	0	0	0	3	13	4.33	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50

質問項目 2.

TOTAL	4.62	4.27
-------	------	------

教科担当者：村橋 和子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ソルフェージュⅢA

回答者数：8 名 / 8 名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

Aクラスの学生の授業で、ソルフェージュ力の高い学生が対象である為か意欲、受講態度などは問題ない。しかし、事前・事後学修は全くやっていたことへの驚きと指導力不足を感じた

2 改善課題

事前・事後学修の時間増加

3 改善計画

1人ずつ課題曲の歌唱を行う。また伴奏づけについても課題を提示し、発表形式をとる。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	2	4	1	0	0	8	3.38	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.55
③	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.65
④	0	2	2	2	2	0	8	20	2.50	2.60
⑤	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.14
⑥	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.41
⑦	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.31
質問項目 1.									4.36	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.41
⑨	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.39
⑩	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.45
⑪	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.62
⑫	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.50
⑬	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.50
⑭	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.45
⑮	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.50
質問項目 2.									4.88	4.45

TOTAL									4.64	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：村橋 和子

開講期：H29年度 前期

授業科目：弾き歌いⅠ

回答者数：11名 / 10名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

演奏力の個人差があるため、集団形式はなかなか進めにくい授業である。しかし、個人練習時間も各自しっかりと練習に取り組んでおり、意欲的であると感じている。実技だが個人を指導できる時間が限られるため、指導法について頭を抱えている状態である。

2 改善課題

事前・事後学修時間の増加

3 改善計画

各時間の目標に達しない場合は、オフィスアワーでの補講を行い、学修時間の不足を認識させる

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数			
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均	
①	6	1	1	3	0	0	11	3.91	4.09	

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.55
③	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.65
④	2	2	5	2	0	0	11	37	3.36	2.60
⑤	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.14
⑥	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.41
⑦	10	0	1	0	0	0	11	53	4.82	4.31
質問項目 1.									4.58	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	9	2	0	0	0	0	11	53	4.82	4.41
⑨	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.39
⑩	8	0	3	0	0	0	11	49	4.45	4.45
⑪	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.62
⑫	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.50
⑬	10	1	0	0	0	0	11	54	4.91	4.50
⑭	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.45
⑮	11	0	0	0	0	0	11	55	5.00	4.50
質問項目 2.									4.90	4.45

TOTAL									4.75	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：村橋 和子

開講期：H29年度 前期

授業科目：音楽療法基礎理論Ⅰ

回答者数：27名 / 30名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽・こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

事前学修はテキストの熟読、事後学修として授業時間内にまとめをしたが、時間が少なかった、また全くやっていなかったことを深く反省した。事前学修の内容を答える形式で、やっていれば自信につながり、やっていなければ恥をかくというような場を作らないとならないのだろうか、本来は自分から学ぶ姿勢ができることが望ましいのだが。

2 改善課題

- ① 学生自身の学ぶ意欲の向上
- ② 事前・事後学修時間の増加

3 改善計画

- ①について：現場見学の推奨
- ②について：事前学修の内容について質問をしながら授業を進める。事前に勉強しておかないと学生本人が困る、勉強していれば理解しやすい形式を設定する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	9	8	6	4	0	0	27	3.81	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	26	0	0	0	1	0	27	131	4.85	4.55
③	27	0	0	0	0	0	27	135	5.00	4.65
④	1	0	4	18	3	1	26	56	2.15	2.60
⑤	14	10	3	0	0	0	27	119	4.41	4.14
⑥	19	7	1	0	0	0	27	126	4.67	4.41
⑦	13	11	3	0	0	0	27	118	4.37	4.31

質問項目 1.

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	22	4	1	0	0	0	27	129	4.78	4.41
⑨	21	4	2	0	0	0	27	127	4.70	4.39
⑩	19	6	2	0	0	0	27	125	4.63	4.45
⑪	24	2	1	0	0	0	27	131	4.85	4.62
⑫	24	3	0	0	0	0	27	132	4.89	4.50
⑬	23	2	2	0	0	0	27	129	4.78	4.50
⑭	22	4	1	0	0	0	27	129	4.78	4.45
⑮	22	5	0	0	0	0	27	130	4.81	4.50

質問項目 2.

TOTAL

4.50 4.27

教科担当者：村橋 和子

開講期：H29年度 前期

授業科目：音楽療法演習Ⅶ

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：4 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

自分の卒業研究テーマに沿って先行研究を読む授業である。専門的な論文でしっかり勉強してもなかなか理解困難であろうと思うが、自分なりによく頑張っていると思う。

2 改善課題

論文理解のための読解力、基礎的知識力の向上

3 改善計画

低学年の時からレジュメ作成に力を入れ、読解力や文章力をつける。またオフィスアワーを使い、補講を行う。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	0	2	0	0	0	0	2	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	2.60
⑤	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.14
⑥	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.41
⑦	0	1	1	0	0	0	2	7	3.50	4.31
質問項目 1.									4.50	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.77	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：村橋 和子

開講期：H29年度 前期

授業科目：音楽療法演習(各論)

回答者数：20 名 / 22 名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽・こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

2年生の授業でもあり、学生は音楽療法を学ぶ意思はしっかりしており、知識もある程度あるが、事前・事後学修が全くできていなかったことを深く反省している。資格を持つ自覚、そのためには勉強せねばならないことを再度認識させ、各自が学修できているかを理解できるよう毎回テストを行わねばならないと思う。また、答えがわからないときがあったとの感想があったので、質問をしにくい雰囲気があったのかもかもしれないと反省した。

2 改善課題

- ① 事前・事後学修の時間の増加
- ② 資格を持つ責任と自覚を再確認
- ③ 質問をしにくい雰囲気があった

3 改善計画

- ① について 事前学修の内容について授業中、学生へ質問を行い、理解度を確認する。
- ②について 毎回、小テストを行い、各自の理解度を数値的に判断できるようにする。
- ③について 教師からの質問に答えを理解できたのか確認を行う。重要項目は全体で朗読する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	11	7	2	0	0	0	20	4.45	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	19	0	0	0	1	0	20	96	4.80	4.55
③	18	0	0	0	1	1	19	91	4.79	4.65
④	1	3	4	10	2	0	20	51	2.55	2.60
⑤	10	5	5	0	0	0	20	85	4.25	4.14
⑥	13	4	3	0	0	0	20	90	4.50	4.41
⑦	10	8	2	0	0	0	20	88	4.40	4.31
質問項目 1.									4.25	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	13	4	2	1	0	0	20	89	4.45	4.41
⑨	13	4	3	0	0	0	20	90	4.50	4.39
⑩	13	4	3	0	0	0	20	90	4.50	4.45
⑪	15	5	0	0	0	0	20	95	4.75	4.62
⑫	15	5	0	0	0	0	20	95	4.75	4.50
⑬	15	5	0	0	0	0	20	95	4.75	4.50
⑭	15	5	0	0	0	0	20	95	4.75	4.45
⑮	16	4	0	0	0	0	20	96	4.80	4.50
質問項目 2.									4.66	4.45

TOTAL									4.47	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：村橋 和子

開講期：H29年度 前期

授業科目：弾き歌い I

回答者数：33 名 / 33 名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学科：こども学科

【改善計画】（400字文字）	
1 自己評価	演奏力の個人差があるため、集団形式はなかなか進めにくい授業である。また、楽器が一人一台使えないため、個人練習の際に集中が困難となる学生もいる。保育現場では必須の活動であることは学生自身も周知しているが、なかなか練習につながらない。
2 改善課題	① 事前・事後学修時間の増加 ② 弾き歌いへの関心を高める
3 改善計画	①について：各自の課題曲について毎週1曲は暗譜のできることを必須とし、できなかった学生については補講を行う。 ②について：曲の背景を調べ、発表する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数			
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均	
①	17	8	6	1	0	1	32	4.28	4.09	

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	32	0	0	0	1	0	33	161	4.88	4.55
③	30	0	0	0	2	1	32	152	4.75	4.65
④	3	5	11	7	6	1	32	88	2.75	2.60
⑤	18	11	3	1	0	0	33	145	4.39	4.14
⑥	17	14	2	0	0	0	33	147	4.45	4.41
⑦	16	15	2	0	0	0	33	146	4.42	4.31
質問項目 1.									4.27	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	21	9	3	0	0	0	33	150	4.55	4.41
⑨	22	7	4	0	0	0	33	150	4.55	4.39
⑩	20	6	7	0	0	0	33	145	4.39	4.45
⑪	21	7	5	0	0	0	33	148	4.48	4.62
⑫	21	7	4	1	0	0	33	147	4.45	4.50
⑬	23	3	6	1	0	0	33	147	4.45	4.50
⑭	22	5	6	0	0	0	33	148	4.48	4.45
⑮	23	5	5	0	0	0	33	150	4.55	4.50
質問項目 2.									4.49	4.45

TOTAL									4.39	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：大石 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：弾き歌いⅢ

回答者数：8 名 / 8 名

単位数：1 単位

開設年次：4 年次

授業形態：講義・演習

学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

こども学科のうち音楽療法課程履修者8名のみのクラスだったので、保育実習・幼稚園実習・音楽療法実習向けに、個人別に苦手克服するべく徹底した対応ができた。暗譜の仕方、効率よい練習法を見直すよい機会であった。入学時に初心者だった学生の今の実力差が激しいという現実にも直面した。

2 改善課題

1限授業で遅刻者が多い。無欠席、1回のみ欠席の学生に遅刻者はいない。学習態度の差は卒業後に対する意識の差でもある。ピアノを弾くことが大変で、歌詞をなかなか覚えられない、読み込もうとしない。歌声が小さい。

3 改善計画

保育の中での音楽の意義を浸透させる。歌詞読みを徹底し、旋律だけを弾きながら歌って、ハッキリした声を出す訓練をすることにより、弾き歌いに自信を持てるようにする。また遅刻を減らし、全員で発声から始め、演習授業として共有する。人の演奏を見聴きして気づき、自分の課題を見つける等自ら学修する力をつけなければ社会へ出られないことを学生に感じとらせる。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数			
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均	
①	2	1	3	2	0	0	8	3.38	4.09	

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	5	0	8	20	2.50	4.55
③	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.65
④	0	3	4	1	0	0	8	26	3.25	2.60
⑤	5	3	0	0	0	0	8	37	4.63	4.14
⑥	6	2	0	0	0	0	8	38	4.75	4.41
⑦	5	3	0	0	0	0	8	37	4.63	4.31
質問項目 1.									4.02	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.41
⑨	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.39
⑩	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.45
⑪	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.62
⑫	7	0	1	0	0	0	8	38	4.75	4.50
⑬	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.50
⑭	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.45
⑮	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.50
質問項目 2.									4.89	4.45

TOTAL									4.49	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：竹下 健太

開講期：H29年度 前期

授業科目：発達心理学

回答者数：19 名 / 23 名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

人の一生を概観する発達心理学の内容は多岐にわたる。そのため要点だけでもかなり幅広い内容の授業となる。そこで内容が多くても身につくように、「発達心理学を使って発達心理学を学ぶ」をモットーに心理学的工夫により学修が進むように配慮した。

2 改善課題

毎授業の終わりに質問や感想を書いてもらい次回の授業の最初に解説する試みが好評であった。また、この試みにより、学生がどのような点で躓くかの把握もしやすかった。しかしながら、ある学生には面白い内容でも、別の学生にはあまり興味関心のない分野であることもあり、全ての学生の満足度を高めるには至っていない。

3 改善計画

学生の興味関心に沿った授業を展開するために、より具体的な、感情移入しやすい心理的エピソードを集めて紹介すれば、より多くの学生の満足度を高めることができると思われる。今後も情報収集に努めたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	9	4	3	3	0	0	19	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	18	0	0	0	1	0	19	91	4.79	4.55
③	19	0	0	0	0	0	19	95	5.00	4.65
④	1	0	2	10	6	0	19	37	1.95	2.60
⑤	11	2	4	1	1	0	19	78	4.11	4.14
⑥	12	5	1	1	0	0	19	85	4.47	4.41
⑦	12	5	2	0	0	0	19	86	4.53	4.31

質問項目 1.

4.12 4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	15	2	1	1	0	0	19	88	4.63	4.41
⑨	13	3	3	0	0	0	19	86	4.53	4.39
⑩	14	3	2	0	0	0	19	88	4.63	4.45
⑪	17	1	1	0	0	0	19	92	4.84	4.62
⑫	14	3	2	0	0	0	19	88	4.63	4.50
⑬	16	2	1	0	0	0	19	91	4.79	4.50
⑭	16	1	2	0	0	0	19	90	4.74	4.45
⑮	16	2	1	0	0	0	19	91	4.79	4.50

質問項目 2.

4.70 4.45

TOTAL

4.43 4.27

教科担当者：竹下 健太

開講期：H29年度 前期

授業科目：発達心理学

回答者数：37 名 / 38 名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

発達心理学において幼稚園教諭を目指す学生が学ぶべき内容を全ておさえるためにかなり幅広い内容の授業となった。また、板書の量も必然的に多くなり、90分の時間内にまとめるために、やや走り書きとなってしまったこともあった。今回、板書についての改善要望が学生から寄せられたことを真摯に受け止めたい。

2 改善課題

大学における授業は、高校までの授業に比べて、板書の量が多くなりがちである。また「1コマで板書1枚分」は高校までの1コマ50分の原則であるので、90分の授業内容を板書1枚にまとめるのは、無理がある。しかしながら、板書の量をコンパクトにまとめ減らし、その分丁寧に書くようにすれば、学生のノートテイキングの負担も減るであろう。いかに授業内容をコンパクトにまとめるかが今後の課題である。

3 改善計画

今後の授業においては前半45分で板書1枚書き、学生の気持ちの緩みやすい中間時点で、学生の興味関心に沿った授業関連の話題を話し、後半の45分で板書をもう一枚書くことにする。こうすることで板書の量を少なくし、その分丁寧に書くことにする。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	8	16	11	2	0	0	37		3.81	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	36	0	0	0	1	0	37	181	4.89	4.55
③	32	0	0	0	4	1	36	164	4.56	4.65
④	2	0	3	7	24	1	36	57	1.58	2.60
⑤	4	5	21	2	5	0	37	112	3.03	4.14
⑥	5	9	20	2	1	0	37	126	3.41	4.41
⑦	4	6	26	1	0	0	37	124	3.35	4.31
質問項目 1.									3.52	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	8	5	22	0	2	0	37	128	3.46	4.41
⑨	6	4	23	1	3	0	37	120	3.24	4.39
⑩	11	11	14	1	0	0	37	143	3.86	4.45
⑪	13	14	10	0	0	0	37	151	4.08	4.62
⑫	10	7	14	6	0	0	37	132	3.57	4.50
⑬	10	11	13	3	0	0	37	139	3.76	4.50
⑭	12	8	14	3	0	0	37	140	3.78	4.45
⑮	9	5	21	2	0	0	37	132	3.57	4.50
質問項目 2.									3.67	4.45

TOTAL									3.60	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：竹下 健太

開講期：H29年度 前期

授業科目：教育相談の研究

回答者数：19 名 / 20 名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

去年の授業の反省から理論的な部分よりもより実践的な技法を身につけることを重視した。具体的にはマイクロカウンセリング技法の基礎練習とシミュレーションに時間を多くとった。これにより学生が教育現場に出たときの予行練習となったと思われる。

2 改善課題

教育相談には絶対的な正解はないが「してはならないこと」は存在する。たとえば過度のパターンリズムや決めつけは厳禁である。しかしながらその一方で、いじめへの対応などの時には毅然とした対応も求められる。このような両価の場面に求められる「演技力」は説明も練習も難しい。このような側面の訓練が今後の課題である。

3 改善計画

上記の改善課題をクリアするには「相手に1人の人間として関わる一方で、自分と相手双方から距離をおいた視点から状況を観察する」という参与観察の練習が有効であろう。今後、参与観察の体得を進めたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	4	6	7	2	0	0	19	3.63	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	16	0	0	0	3	0	19	83	4.37	4.55
③	18	0	0	0	1	0	19	91	4.79	4.65
④	4	3	3	3	6	0	19	53	2.79	2.60
⑤	12	2	2	1	2	0	19	78	4.11	4.14
⑥	12	2	2	2	1	0	19	79	4.16	4.41
⑦	12	2	3	1	1	0	19	80	4.21	4.31
質問項目 1.									4.01	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	12	3	3	1	0	0	19	83	4.37	4.41
⑨	14	1	3	0	1	0	19	84	4.42	4.39
⑩	15	1	3	0	0	0	19	88	4.63	4.45
⑪	15	2	1	1	0	0	19	88	4.63	4.62
⑫	15	1	1	0	2	0	19	84	4.42	4.50
⑬	14	2	1	0	2	0	19	83	4.37	4.50
⑭	15	1	1	0	2	0	19	84	4.42	4.45
⑮	15	1	1	0	2	0	19	84	4.42	4.50
質問項目 2.									4.46	4.45

TOTAL									4.25	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：竹下 健太

開講期：H29年度 前期

授業科目：保育の心理学Ⅰ

回答者数：31名 / 34名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

保育の心理学Ⅰにおいては理論的な側面を主に講義し、保育の心理学Ⅱにおいて、Ⅰで学修した理論の応用を演習する。よって、Ⅱは学生にとって当初、とつぎにくい印象があったようである。そこで前年度履修した発達心理学との関連を意識させることで、ある程度はこの印象を緩和できたと思う。

2 改善課題

学生の興味関心を引出し、事前事後の自主学修を充分に行わせることが出来なかった。理論中心の授業において、いかに学生の興味関心を引き出すかが今後の課題である。

3 改善計画

学生の興味関心を促し、自主的に事前事後学修をさせるためには、学生達が「この知識を理解することは自分に必要である」と思う必要がある。理論的な内容中心ではあるが、実際の場面と関連付けることでこれは可能であろう。今後も事例の収集に努め、授業に活かしていきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	5	12	10	3	0	1	30	3.63	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	29	0	0	0	1	1	30	146	4.87	4.55
③	26	0	0	0	4	1	30	134	4.47	4.65
④	3	2	2	7	15	2	29	58	2.00	2.60
⑤	12	10	7	1	1	0	31	124	4.00	4.14
⑥	11	10	8	2	0	0	31	123	3.97	4.41
⑦	12	10	9	0	0	0	31	127	4.10	4.31
質問項目 1.									3.86	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	19	4	8	0	0	0	31	135	4.35	4.41
⑨	18	6	7	0	0	0	31	135	4.35	4.39
⑩	17	7	7	0	0	0	31	134	4.32	4.45
⑪	18	8	5	0	0	0	31	137	4.42	4.62
⑫	17	7	7	0	0	0	31	134	4.32	4.50
⑬	18	6	7	0	0	0	31	135	4.35	4.50
⑭	16	6	7	1	1	0	31	128	4.13	4.45
⑮	16	8	6	1	0	0	31	132	4.26	4.50
質問項目 2.									4.31	4.45

TOTAL									4.10	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 柏尾 剛徳

開講期： H29年度 前期

授業科目： 音楽理論ⅠB

回答者数： 12 名 / 12 名

単位数： 2 単位

開設年次： 1 年次

授業形態： 講義・演習

学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今回のこのクラスには学習面で難しい学生がおり、その学生への対応ができていないわけではないが、満足するほどの対応が取れていないのが現状である。初歩からなお内容につき小テストも取り入れる等、工夫はしているが、100%全員が完全に理解しているとは言えない部分があり、正直難しい問題に直面している。

2 改善課題

授業の工夫はできる限りやろうとしているが、個々への対応という意味ではまだまだ足りないなので、日々課題研究をし、全員が理解するような教授法に努め、理解しやすい環境作りに徹する必要がある。

3 改善計画

「誰が聞いてもわかる」という内容になるよう研究を続け、より多くの問題を解かせ、実践に活かせるようにする。学生が納得した上で理解ができるよう、教材研究等を重ねる。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	5	1	4	2	0	0	12	3.75	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	11	0	0	0	1	0	12	56	4.67	4.55
③	11	0	0	0	1	0	12	56	4.67	4.65
④	1	0	5	4	1	1	11	29	2.64	2.60
⑤	6	4	2	0	0	0	12	52	4.33	4.14
⑥	9	2	1	0	0	0	12	56	4.67	4.41
⑦	7	3	2	0	0	0	12	53	4.42	4.31
質問項目 1.									4.16	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	11	0	1	0	0	0	12	58	4.83	4.41
⑨	10	0	2	0	0	0	12	56	4.67	4.39
⑩	7	3	2	0	0	0	12	53	4.42	4.45
⑪	12	0	0	0	0	0	12	60	5.00	4.62
⑫	9	2	1	0	0	0	12	56	4.67	4.50
⑬	11	1	0	0	0	0	12	59	4.92	4.50
⑭	10	1	0	1	0	0	12	56	4.67	4.45
⑮	11	0	0	1	0	0	12	57	4.75	4.50
質問項目 2.									4.74	4.45

TOTAL									4.47	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 藤田 泉

開講期： H29年度 前期

授業科目： 教育学 I

回答者数： 6 名 / 7 名

単位数： 2 単位
開設年次： 1 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生の自己評価のうち出席・事前・事後学修の時間、授業への集中度は全体平均を下回ったが、その他の項目は全体平均を上回った。教員への評価のうち事前事後学修についての説明の充分さ、シラバスに沿った授業展開、教員の熱意や意欲、集中できる雰囲気は全体平均を下回ったが、トータルは4.31と本学平均を少し上回った。

2 改善課題

毎回宿題を出したが学生の事前・事後学修の自己評価は残念な結果であったので、その点真摯に受け止め改善を図る必要がある。真面目だが受け身な印象を受けたので、授業への集中と主体的な参加を促す授業展開の工夫が必要である。指名した学生の発言をゆっくり待てないことが多いという指摘があったので、学生の様子をよく見るよう気をつけたい。

3 改善計画

「教育と教育学に関するテーマ」への興味関心が授業の中で深まり授業後の主体的な情報収集に発展するよう、学生の主体的な学びを促すような課題の出し方を工夫したい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	2	1	1	2	0	0	6	3.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.55
③	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.65
④	0	0	1	5	0	0	6	13	2.17	2.60
⑤	3	3	0	0	0	0	6	27	4.50	4.14
⑥	2	4	0	0	0	0	6	26	4.33	4.41
⑦	2	4	0	0	0	0	6	26	4.33	4.31
質問項目 1.									4.12	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	2	1	0	0	0	6	26	4.33	4.41
⑨	4	2	0	0	0	0	6	28	4.67	4.39
⑩	2	3	1	0	0	0	6	25	4.17	4.45
⑪	3	3	0	0	0	0	6	27	4.50	4.62
⑫	4	2	0	0	0	0	6	28	4.67	4.50
⑬	4	2	0	0	0	0	6	28	4.67	4.50
⑭	3	2	1	0	0	0	6	26	4.33	4.45
⑮	3	3	0	0	0	0	6	27	4.50	4.50
質問項目 2.									4.48	4.45

TOTAL									4.31	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：藤田 泉

開講期：H29年度 前期

授業科目：教育学Ⅱ

回答者数：3 名 / 3 名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生自身への自己評価は、出席状況、遅刻や途中退席のなさ、事前事後学習時間は3ポイント代だったが、その他の項目はすべて4ポイント以上、ほとんどの綱目で全体平均を上回り、シラバス理解度と集中度は5ポイントあった。教員への評価は、質問への適切な説明やアドバイスが全体平均を下回り4.00ポイントだったものの、ほかのすべての項目で全体平均を上回り、シラバスに沿った授業、教員の熱意や意欲、発言や質問がしやすい雰囲気、理解度・知識の深化については5.00ポイントあり概ね良好であった。

2 改善課題

学生の欠席と遅刻・途中退席がなくなるよう、また教員の説明やアドバイスを適切と感じてもらえるようにする必要がある。

3 改善計画

事前事後学習についてははじめに取り組んでいたが、調べたことが授業の中で深まるような指導の工夫を行い、「教育と教育学に関するテーマ」への興味関心が喚起され日常の情報収集(読書や映画鑑賞など)につながるように努めたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	0	2	0	1	0	0	3	3.33	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	1	0	3	11	3.67	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	0	0	3	0	0	0	3	9	3.00	2.60
⑤	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.14
⑥	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑦	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.31
質問項目 1.									4.19	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.41
⑨	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.39
⑩	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	1	1	1	0	0	0	3	12	4.00	4.50
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
質問項目 2.									4.79	4.45

TOTAL									4.51	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：藤田 泉

開講期：H29年度 前期

授業科目：教育原理

回答者数：33 名 / 37 名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生の遅刻・途中退席を除き、学生自身への自己評価と教員への評価のすべての項目で本学平均を下回った。学生自身への評価では、出席状況、シラバス理解度と目標達成度は3ポイント代で、事前事後学修に至っては1.93ポイントと極めて低かった。教員への評価はすべてが3ポイント代で平均して3.60、本学平均4.27との差は真摯に受けとめ改善する必要がある。

2 改善課題

自由記述欄の指摘[①()埋めがしにくい、②聞き取りづらい、③プリントを閉じやすいよう右寄せにしてほしい等]には対応したい。ただし④教科書を忘れた際隣人に見せてもらうことを許可してほしいという要望に関しては、教科書を人に見せてもらうのは相手の作業の妨げになるため、忘れ物をしない習慣をつける努力をしてほしい。

3 改善計画

学生自身が教科書を自分で読みこなせるようワークシートを改善し、学生がそれに取り組む時間を確保できるよう事前課題を増やしたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	12	16	4	1	0	0	33		4.18	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	33	0	0	0	0	0	33	165	5.00	4.55
③	29	0	0	0	4	0	33	149	4.52	4.65
④	1	1	2	17	9	3	30	58	1.93	2.60
⑤	2	11	16	3	1	0	33	109	3.30	4.14
⑥	3	17	12	1	0	0	33	121	3.67	4.41
⑦	3	9	20	1	0	0	33	113	3.42	4.31
質問項目 1.									3.72	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	11	14	1	2	0	33	115	3.48	4.41
⑨	3	11	15	2	2	0	33	110	3.33	4.39
⑩	4	14	13	1	1	0	33	118	3.58	4.45
⑪	4	18	10	0	1	0	33	123	3.73	4.62
⑫	5	13	12	2	1	0	33	118	3.58	4.50
⑬	4	9	16	3	1	0	33	111	3.36	4.50
⑭	3	13	12	4	1	0	33	112	3.39	4.45
⑮	5	10	16	1	1	0	33	116	3.52	4.50
質問項目 2.									3.50	4.45

TOTAL

3.60 4.27

教科担当者：藤田 泉

開講期：H29年度 前期

授業科目：保育原理 I

回答者数：36 名 / 37 名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生の遅刻・途中退出不しとシラバスの理解度を除き、学生自身への自己評価と教員への評価のすべての項目で本学平均を下回った。学生自身への評価では、出席状況は4ポイントあったが、事前事後学修による理解の深化、授業への集中、到達目標の達成度は4ポイントに達せず、事前事後学修の時間に至っては1.91ポイントと極めて低かった。教員への評価は事前事後学修の説明の充分さ、シラバスに沿った授業、教員の熱意・意欲は4ポイント以上あったが、その他は3ポイント代後半で、教員への評価トータルは3.92ポイントである。本学平均4.27との差を真摯に受けとめ改善したい。

2 改善課題

自由記述欄の指摘[①聞き取りにくい、②ビデオ視聴中に話さないで欲しい、③DVD等視聴覚機器の扱いに習熟してほしい等]には応えたい。

3 改善計画

学生自身が教科書を読みこなせるようワークシートの一層の改善につとめ、課題の出し方を工夫する等学生の主体的な学習を助けるような授業展開に努めたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	13	15	5	3	0	0	36	4.06	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	34	0	0	0	2	0	36	172	4.78	4.55
③	35	0	0	0	1	0	36	176	4.89	4.65
④	2	0	2	20	11	1	35	67	1.91	2.60
⑤	10	8	11	4	3	0	36	126	3.50	4.14
⑥	10	18	4	4	0	0	36	142	3.94	4.41
⑦	10	17	6	1	2	0	36	140	3.89	4.31
質問項目 1.									3.85	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	13	12	9	2	0	0	36	144	4.00	4.41
⑨	10	15	8	2	1	0	36	139	3.86	4.39
⑩	15	15	4	1	1	0	36	150	4.17	4.45
⑪	17	12	5	1	1	0	36	151	4.19	4.62
⑫	16	10	5	3	2	0	36	143	3.97	4.50
⑬	11	16	5	3	1	0	36	141	3.92	4.50
⑭	13	10	7	3	3	0	36	135	3.75	4.45
⑮	14	11	8	0	3	0	36	141	3.92	4.50
質問項目 2.									3.97	4.45

TOTAL									3.92	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 藤田 泉

開講期： H29年度 前期

授業科目： 保育実践演習

回答者数： 33 名 / 35 名

単位数： 2 単位
開設年次： 3 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）	
1 自己評価	学生の自己評価のうち出席と遅刻・途中退席なしについては本学平均を上回ったが、その他の項目は4ポイントを下回り本学平均以下だった。 教員への評価も全項目で全体平均を下回り、事前・事後学修の課題の有効度、シラバスとの合致度、教員の熱意・意欲は4ポイント以上あるものの、その他の項目は4ポイント未満だった。
2 改善課題	希望者には各自選択のテーマでレポート作成・発表、それ以外は優れた絵本・紙芝居・素話の練習と発表という内容だったが、授業時間内はレポート選択者の指導に時間をとられがちで実技選択者の時間内・外練習の綿密な指導はできなかった点が改善課題である。レポートも締切間際の相談に対し十分な指導ができたとは言えない。
3 改善計画	次年度は実技に絞り授業時間内及び事前・事後学修の充実を図る。紙芝居と素話の魅力を伝え学生の主体的な学びを引き出す授業展開を工夫したい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	13	11	7	1	0	1	32	4.13	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	30	0	0	0	3	0	33	153	4.64	4.55
③	27	0	0	0	5	1	32	140	4.38	4.65
④	1	3	5	16	7	1	32	71	2.22	2.60
⑤	6	16	9	1	1	0	33	124	3.76	4.14
⑥	7	16	10	0	0	0	33	129	3.91	4.41
⑦	7	15	11	0	0	0	33	128	3.88	4.31
質問項目 1.									3.85	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	9	13	10	0	1	0	33	128	3.88	4.41
⑨	9	15	9	0	0	0	33	132	4.00	4.39
⑩	12	11	10	0	0	0	33	134	4.06	4.45
⑪	10	14	9	0	0	0	33	133	4.03	4.62
⑫	11	10	11	0	1	0	33	129	3.91	4.50
⑬	10	8	14	0	1	0	33	125	3.79	4.50
⑭	10	8	13	1	1	0	33	124	3.76	4.45
⑮	9	15	8	1	0	0	33	131	3.97	4.50
質問項目 2.									3.93	4.45

TOTAL									3.89	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：安部 和歌葉

開講期：H29年度 前期

授業科目：合奏 I

回答者数：31 名 / 31 名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

主に鍵盤ハーモニカを使っの授業であるが、楽器演奏経験がほとんどない学生も数名いるため、マナーを含めた演奏の基本姿勢や楽器の取扱いから始めた。一斉授業で慣れた後、後半は合奏の基本となるグループアンサンブルに変えた。紹介した17曲から選曲した曲を中心に集まったメンバーで、ミニ発表等により授業外での個人練習やグループ練習の意欲が高まったようである。演奏技術や音楽的な経験・知識・理解に関してグループ内で助言し合う姿も見られた

2 改善課題

個性豊かでエネルギーな学年で各活動に対しても意欲的に取組むが、数名、羽目を外し授業の流れが中断してしまうことがあり、集中がとぎれてしまうことがある。

3 改善計画

積極性をほめ、モチベーションを落とすことなく音楽における「静」の重要性を伝え、より学修効果を高めるべく、授業の組み立てを工夫していきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	21	6	3	1	0	0	31	4.52	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	28	0	0	0	2	1	30	142	4.73	4.55
③	29	0	0	0	1	1	30	146	4.87	4.65
④	3	4	10	10	3	1	30	84	2.80	2.60
⑤	20	8	3	0	0	0	31	141	4.55	4.14
⑥	25	4	2	0	0	0	31	147	4.74	4.41
⑦	26	3	2	0	0	0	31	148	4.77	4.31
質問項目 1.									4.43	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	23	7	1	0	0	0	31	146	4.71	4.41
⑨	23	6	2	0	0	0	31	145	4.68	4.39
⑩	24	3	4	0	0	0	31	144	4.65	4.45
⑪	25	4	1	1	0	0	31	146	4.71	4.62
⑫	26	3	2	0	0	0	31	148	4.77	4.50
⑬	25	5	1	0	0	0	31	148	4.77	4.50
⑭	25	4	2	0	0	0	31	147	4.74	4.45
⑮	27	2	1	1	0	0	31	148	4.77	4.50
質問項目 2.									4.73	4.45

TOTAL									4.59	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：安部 和歌葉

開講期：H29年度 前期

授業科目：合奏Ⅲ

回答者数：4名 / 5名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）	
1 自己評価	今期は履修者が5名（うち、1名は再履修）と少なかったため、当初計画していたシラバス計画とは異なるが、個人の演奏技術力向上のための個人演奏曲と別に最小アンサンブル構成として、連弾曲を課題とした。毎回、個人目標をもとに授業の最後に成果発表を行い、評価と振り返りをもとに、個人の演奏技術の向上のみならず、履修者全員と共有することを心掛けた
2 改善課題	遅刻や欠席なども見られたが、活動に対しては皆真面目に取り組んでいた。ただ、中には楽譜を正確に読まず、耳で聞いた雰囲気頼りに流して弾く癖のある学生がおり、細やかに助言するものなかなか改善されず、苦慮している。
3 改善計画	楽譜を正確に読むことは音楽の基礎として大事なことであり、こども学科のピアノ・ソルフェージュ指導担当者と課題を共有し、具体的な指導を通して、学修効果を高めていきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	2	0	1	1	0	0	4	3.75	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	2	0	4	12	3.00	4.55
③	2	0	0	0	2	0	4	12	3.00	4.65
④	2	1	1	0	0	0	4	17	4.25	2.60
⑤	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.14
⑥	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.41
⑦	1	3	0	0	0	0	4	17	4.25	4.31
質問項目 1.									3.96	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。（資料・AV機器の利用・説明・助言）
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。（説明・アドバイス）
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。（発言や質問がしやすい雰囲気）
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.41
⑨	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.39
⑩	2	1	1	0	0	0	4	17	4.25	4.45
⑪	3	0	1	0	0	0	4	18	4.50	4.62
⑫	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.50
⑬	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.50
⑭	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.45
⑮	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.50
質問項目 2.									4.63	4.45
TOTAL									4.32	4.27

教科担当者：安部 和歌葉

開講期：H29年度 前期

授業科目：生活科論

回答者数：33 名 / 34 名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

授業への集中継続が困難な学生も見られる中、保育現場の実践を取り上げた資料や写真等を活用し、パワーポイント等の視覚化を図った。ワークシートの他、全国各地の新聞資料からの切り抜きなどをもとにグループでの話し合いや、分担してのレジュメ作成発表等の活動を通して、学習指導要領の具体化を工夫した。理論と具体的実践事例とを結び付けられる発言も出るようになってきた。

2 改善課題

実践の支えとなる理論（座学）への取組みを苦手とし、振り返った自身の生活経験を理論的に裏付けする考え方がわからない学生にどうアプローチしていくのかが課題である。

3 改善計画

保育現場でのエピソード事例をもとにしたグループ活動には意欲的であるため、今後も適宜取入れ、学生個人の内面化と理論定着を図る記録や振り返りの充実を心掛ける。理論と実践を結びつけて考えられる授業内容を模索し組み立てていく。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数			
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	16	9	6	1	0	1	32	教科平均	全体平均	
								4.25	4.09	

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	31	0	0	0	2	0	33	157	4.76	4.55
③	29	0	0	0	4	0	33	149	4.52	4.65
④	2	2	4	12	10	3	30	64	2.13	2.60
⑤	11	14	7	0	1	0	33	133	4.03	4.14
⑥	12	14	7	0	0	0	33	137	4.15	4.41
⑦	12	14	7	0	0	0	33	137	4.15	4.31
質問項目 1.									4.00	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	18	8	7	0	0	0	33	143	4.33	4.41
⑨	16	9	8	0	0	0	33	140	4.24	4.39
⑩	17	8	8	0	0	0	33	141	4.27	4.45
⑪	17	10	6	0	0	0	33	143	4.33	4.62
⑫	18	8	7	0	0	0	33	143	4.33	4.50
⑬	18	6	8	1	0	0	33	140	4.24	4.50
⑭	18	7	7	1	0	0	33	141	4.27	4.45
⑮	17	10	6	0	0	0	33	143	4.33	4.50
質問項目 2.									4.29	4.45

TOTAL									4.16	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：安部 和歌葉

開講期：H29年度 前期

授業科目：教育方法論

回答者数：33 名 / 33 名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

授業時の集中力を継続させるため、個人作業、グループ活動などの授業形態を工夫し、保育につながる資料の活用やワークシート等を準備し、教え合いや共同作業など、体験活動を取り入れた。毎時、ワークシートの中に書かれた学生の声を拾い上げ、反省とともに授業実践に活かし、学生へのフィードバックを心掛けてきた。徐々にではあるが、授業への参加態度にも組みの成果が表れてきていると感じている。

2 改善課題

実践の支えとなる理論（座学）への取組みを苦手とする学生は少なくない。理論と実践を結びつけて考えられる力量形成が課題と考える。

3 改善計画

保育技術や理論の芽が学生自身の中に蓄積され、学生自身の内面が人的環境として外在化していくものであることを念頭に、実習や保育現場に出た際に気づく「まなざし」を養えるよう、様々な手法や的確な問いかけを準備・計画・実践していきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	16	9	6	1	0	1	32	4.25	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	31	0	0	0	2	0	33	157	4.76	4.55
③	30	0	0	0	3	0	33	153	4.64	4.65
④	2	2	1	20	6	2	31	67	2.16	2.60
⑤	10	13	9	1	0	0	33	131	3.97	4.14
⑥	10	15	8	0	0	0	33	134	4.06	4.41
⑦	10	14	9	0	0	0	33	133	4.03	4.31
質問項目 1.									3.98	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	17	8	8	0	0	0	33	141	4.27	4.41
⑨	17	7	8	1	0	0	33	139	4.21	4.39
⑩	15	9	8	1	0	0	33	137	4.15	4.45
⑪	16	13	3	1	0	0	33	143	4.33	4.62
⑫	16	8	7	2	0	0	33	137	4.15	4.50
⑬	14	10	6	3	0	0	33	134	4.06	4.50
⑭	15	9	5	3	1	0	33	133	4.03	4.45
⑮	15	10	5	3	0	0	33	136	4.12	4.50
質問項目 2.									4.17	4.45

TOTAL									4.08	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：安部 和歌葉

開講期：H29年度 前期

授業科目：保育課程論

回答者数：33 名 / 34 名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

授業への集中継続が困難な学生も見られる中、保育現場への関心を高めるべく、エピソードやニュース、新聞記事などを活用するなどしている。ワークシートの活用やパワーポイントなどの視覚教材等を準備した。実習評価で低評価される「記述力」を高めるために、毎時間の振り返りを丁寧に行っている。実習前ということもあり、生活リズムや自己管理の点でも重要性を語り続け、欠席や遅刻する学生が減ってきていることに意欲の高まりを感じている

2 改善課題

保育所・幼稚園実習前の授業であり、不安を漏らしながらも多くの学生が実習に向けて意欲を高めてきている一方、数名の学生が不規則な生活や体調不良も重なって、授業に集中できていない状況である。

3 改善計画

授業の合間に、実習等で役立つ折り紙活動やグループ活動等を取り入れ、成果を上げつつある。今後も地道な取り組みを続けていきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	13	9	9	1	0	1	32	4.06	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	31	0	0	0	2	0	33	157	4.76	4.55
③	30	0	0	0	3	0	33	153	4.64	4.65
④	1	4	4	13	9	2	31	68	2.19	2.60
⑤	10	15	8	0	0	0	33	134	4.06	4.14
⑥	11	15	7	0	0	0	33	136	4.12	4.41
⑦	10	15	8	0	0	0	33	134	4.06	4.31

質問項目 1.

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	16	9	8	0	0	0	33	140	4.24	4.41
⑨	15	13	5	0	0	0	33	142	4.30	4.39
⑩	15	12	6	0	0	0	33	141	4.27	4.45
⑪	14	13	5	1	0	0	33	139	4.21	4.62
⑫	15	10	7	1	0	0	33	138	4.18	4.50
⑬	15	11	6	1	0	0	33	139	4.21	4.50
⑭	16	9	8	0	0	0	33	140	4.24	4.45
⑮	15	11	6	1	0	0	33	139	4.21	4.50

質問項目 2.

TOTAL	4.12	4.27
-------	------	------

教科担当者：小林貴美子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ミュージカル研究

回答者数：7名 / 7名

単位数：2 単位

開設年次：2・3・4 年次

授業形態：講義・演習

学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

総合的にミュージカルとはなんぞやと言うことを、またミュージカルの基本である歌やダンス、台本を読み込む力、想像し表現する力、などミュージカルの醍醐味のようなものを果たして伝えることができているかどうか。まだまだ不十分であり創意工夫、改善の余地があると感じている。

2 改善課題

学生はみんなミュージカル経験が無く、またそれぞれの力量、個性に大きな違いがあるため、全体授業ではあるが、できるだけ一人一人の資質を見極め、個々に有ったレベルの教材や課題を見つけて指導することが大切だと感じる。創造力、表現力、自主性、協調性など将来に生かせる様々な力を、いかにバランス良く身につけてもらえるかも課題である。

3 改善計画

今一度、授業内容、授業の組み立て方、教材等を見直し、限られた時間内で、どうすれば学生それぞれが力を付け、成長できるかを試行錯誤しながら改善していきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	2	2	2	0	1	0	7		3.57	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.55
③	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.65
④	1	1	3	1	0	1	6	20	3.33	2.60
⑤	5	2	0	0	0	0	7	33	4.71	4.14
⑥	5	2	0	0	0	0	7	33	4.71	4.41
⑦	5	2	0	0	0	0	7	33	4.71	4.31
質問項目 1.									4.43	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.41
⑨	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.39
⑩	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.45
⑪	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.62
⑫	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.50
⑬	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.50
⑭	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.45
⑮	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.50
質問項目 2.									4.90	4.45

TOTAL									4.68	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：小林貴美子

開講期：H29年度 前期

授業科目：創作応用演習Ⅶ(パフォーマンス)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：4 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

自分自身はクラシックとミュージカルを勉強してきたので、その耳で聞いてしまう傾向がある。レッスンではできるだけその概念にとらわれず、柔軟な心でポップスと向き合い、楽しい、生きた音楽を追いかけていたいと思っています。

2 改善課題

Tさんは歌唱癖が強く、発声にも問題が多いので、前期は発声中心にレッスンしたが、後期も引き続き、できるだけ自然で聴きやすい発声を目指す。Sさんは彼女のオリジナル曲なので、彼女の世界観を大切にしながらも、その曲を自由に歌える歌唱力、表現力を上げていくこと、また、苦手な高音を克服すること、身体が弱いので体調を安定させることなどを目標、課題とする。

3 改善計画

T三は、ポップスばかりでなく、発声に適した教材を使って発声から見直し指導していく。S三はとにかく、体調を安定させて、現在作曲中の新曲を完成させ、彼女の藻津独特の世界観を広げ、それを自由に表現できるよう、仕上げていきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	0	1	0	0	0	0	1	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									4.29	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすく工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.67	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：小林真寿子

開講期：H29年度 前期

授業科目：音楽療法総合演習

回答者数：22名 / 22名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽・こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年は昨年の熊本地震の為実習にだせなかった学生も入っていたので授業を受ける学生が多かった。そのため、一人一人の指導に手が回らなかったと自己反省する。

2 改善課題

3年次に初めて出会う学生たちの前期のみの授業で、実習に出すのは、極めて困難である。今年は昨年の震災のため特別、学生たちが多かったと思われるが、1、2年次にもっと、臨床的音楽能力を高めるトレーニングが必須と思われた。

3 改善計画

一人一人の臨床的音楽能力（演歌や歌謡曲の弾き歌いなど）が指導でき教員で行ってもらうか？小林自身が指導できるような授業を組み込むことを大学に申し入れ希望する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	19	1	2	0	0	0	22		4.77	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	17	0	0	0	5	0	22	90	4.09	4.55
③	21	0	0	0	1	0	22	106	4.82	4.65
④	13	4	2	3	0	0	22	93	4.23	2.60
⑤	16	4	2	0	0	0	22	102	4.64	4.14
⑥	18	3	1	0	0	0	22	105	4.77	4.41
⑦	15	4	3	0	0	0	22	100	4.55	4.31
質問項目 1.									4.55	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	17	4	1	0	0	0	22	104	4.73	4.41
⑨	19	1	2	0	0	0	22	105	4.77	4.39
⑩	15	5	2	0	0	0	22	101	4.59	4.45
⑪	21	1	0	0	0	0	22	109	4.95	4.62
⑫	19	3	0	0	0	0	22	107	4.86	4.50
⑬	20	2	0	0	0	0	22	108	4.91	4.50
⑭	20	2	0	0	0	0	22	108	4.91	4.45
⑮	20	2	0	0	0	0	22	108	4.91	4.50
質問項目 2.									4.83	4.45

TOTAL									4.70	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：小林真寿子

開講期：H29年度 前期

授業科目：音楽療法実習指導

回答者数：22名 / 22名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽・こども学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

懇切丁寧に、学生が分かりやすい言葉で指導をした。しかし、実習先の施設の臨床現場では、接遇をまずは重んじられるので、学生のボキャブラリーの理解と臨床社会との差を埋めることに苦慮した

2 改善課題

そのため、机上の空論にならないよう、ロールプレイや、ワークショップ形式の授業を増加させる必要があると考える。実習に行くグループでの課題も出していたが、人数が多かったため、一人一人に指導する時間が少なかった。そのため、時間外でも指導を受け付けると伝えていたが、指導を希望する。学生も少なかった

3 改善計画

大学にも陳情したが、3年生対象の授業となり、学生たちもとても忙しいので、授業中に実習先へのあいさつ回りを指導者とともにいけるような計画を実行できるようお願いしたいと考える。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	20	0	2	0	0	0	22	4.82	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	17	0	0	0	5	0	22	90	4.09	4.55
③	20	0	0	0	2	0	22	102	4.64	4.65
④	13	3	4	2	0	0	22	93	4.23	2.60
⑤	13	7	2	0	0	0	22	99	4.50	4.14
⑥	20	1	1	0	0	0	22	107	4.86	4.41
⑦	13	7	2	0	0	0	22	99	4.50	4.31
質問項目 1.									4.52	4.12

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	17	4	1	0	0	0	22	104	4.73	4.41
⑨	19	1	2	0	0	0	22	105	4.77	4.39
⑩	15	5	2	0	0	0	22	101	4.59	4.45
⑪	21	1	0	0	0	0	22	109	4.95	4.62
⑫	19	3	0	0	0	0	22	107	4.86	4.50
⑬	21	1	0	0	0	0	22	109	4.95	4.50
⑭	20	2	0	0	0	0	22	108	4.91	4.45
⑮	20	2	0	0	0	0	22	108	4.91	4.50
質問項目 2.									4.83	4.45

TOTAL									4.69	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：二宮 晶代

開講期：H29年度 前期

授業科目：日本の伝統音楽Ⅰ

回答者数：22名 / 23名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

基本的な授業形態としては講義であるが、多様な伝統音楽についてDVDなどを使って、洋楽との違いを理解するという授業の目標は概ね達成できた。特に講師の専門である箏曲については実際に生演奏を聴かせることにより、洋楽を専攻する学生が伝統音楽を実感できるなど全体的に評価は高かったが、この結果に甘んじることなくより良い授業を計画し丁寧な指導を行っていく

2 改善課題

大部分の学生は授業に対する興味と熱意があり、理解度も高いが、一部少数の学生のモチベーションをいかに上げるかが課題である。

3 改善計画

講義が一方通行にならないように工夫する。例えば学生の有する断片的な日本の歴史についての知識に対して、出来る限り邦楽に結びつけ、興味を持つような話の展開を工夫し、授業への参加と関心を引くようにする。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	6	9	7	0	0	0	22	3.95	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	20	0	0	0	2	0	22	102	4.64	4.55
③	21	0	0	0	1	0	22	106	4.82	4.65
④	3	4	3	7	4	1	21	58	2.76	2.60
⑤	15	3	2	2	0	0	22	97	4.41	4.14
⑥	16	3	1	2	0	0	22	99	4.50	4.41
⑦	15	4	3	0	0	0	22	100	4.55	4.31
質問項目 1.									4.23	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	17	3	1	0	1	0	22	101	4.59	4.41
⑨	17	2	2	0	1	0	22	100	4.55	4.39
⑩	17	3	2	0	0	0	22	103	4.68	4.45
⑪	19	2	1	0	0	0	22	106	4.82	4.62
⑫	19	2	1	0	0	0	22	106	4.82	4.50
⑬	19	1	2	0	0	0	22	105	4.77	4.50
⑭	18	3	1	0	0	0	22	105	4.77	4.45
⑮	19	2	1	0	0	0	22	106	4.82	4.50
質問項目 2.									4.73	4.45

TOTAL									4.50	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：二宮 晶代

開講期：H29年度 前期

授業科目：合奏Ⅰ(箏)

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：1～4 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

ほとんどの学生が邦楽器に初めて触れるが、多くの学生が興味を持ち熱心に授業を受け、専攻する洋楽とは異なった音楽の多様性と可能性を理解するという授業の目的は概ね達成出来たと考える。

2 改善課題

洋楽とは異なる邦楽の音楽理論・演奏法等をある程度理解させた上で、実際に箏の初歩的な奏法を教授するが、楽器演奏の技量や興味が音楽的レベルまで深まるかどうかについては、個々の学生により差異がある。

3 改善計画

- ・授業開始前、及び授業終了後、楽器の準備と片付け等を学生と一緒にを行い、楽器に対する具体的な興味や感想を学生から引き出し、授業に反映させる工夫をする。
- ・伝統音楽のテレビ番組、例えばNHK Eテレの『にっぽんの芸能』などの視聴を勧め、伝統音楽により理解を深めることにより、モチベーションの向上を図る。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	1	1	0	0	2	2.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	1	0	0	0	1	0	2	6	3.00	4.65
④	0	0	0	0	2	0	2	2	1.00	2.60
⑤	0	0	2	0	0	0	2	6	3.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.31
質問項目 1.									3.36	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.41
⑨	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.39
⑩	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
質問項目 2.									4.56	4.45

TOTAL									4.00	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：二宮 晶代

開講期：H29年度 前期

授業科目：合奏Ⅲ(箏)

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：1～4 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ほとんどの学生が邦楽器に初めて触れるが、多くの学生が興味を持ち熱心に授業を受け、専攻する洋楽とは異なった音楽の多様性と可能性を理解するという授業の目的は概ね達成出来たと考える。

2 改善課題

洋楽とは異なる邦楽の音楽理論・演奏法等をある程度理解させた上で、実際に箏の初歩的な奏法を教授するが、楽器演奏の技量や興味が音楽的レベルまで深まるかどうかについては、個々の学生により差異がある。

3 改善計画

- ・授業開始前、及び授業終了後、楽器の準備と片付け等を学生と一緒にやり、楽器に対する具体的な興味や感想を学生から引き出し、授業に反映させる工夫をする。
- ・伝統音楽のテレビ番組、例えばNHK Eテレの『にっぽんの芸能』などの視聴を勧め、伝統音楽により理解を深めることにより、モチベーションの向上を図る。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	0	1	0	0	0	2	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	1	0	0	0	1	0	2	6	3.00	4.65
④	0	0	1	0	1	0	2	4	2.00	2.60
⑤	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.14
⑥	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.41
⑦	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	4.31
質問項目 1.									3.71	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.40	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：二宮 晶代

開講期：H29年度 前期

授業科目：合奏V(箏)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：1～4 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

ほとんどの学生が邦楽器に初めて触れるが、多くの学生が興味を持ち熱心に授業を受け、専攻する洋楽とは異なった音楽の多様性と可能性を理解するという授業の目的は概ね達成出来たと考える。

2 改善課題

洋楽とは異なる邦楽の音楽理論・演奏法等をある程度理解させた上で、実際に箏の初歩的な奏法を教授するが、楽器演奏の技量や興味が音楽的レベルまで深まるかどうかについては、個々の学生により差異がある。

3 改善計画

- ・授業開始前、及び授業終了後、楽器の準備と片付け等を学生と一緒にを行い、楽器に対する具体的な興味や感想を学生から引き出し、授業に反映させる工夫をする。
- ・伝統音楽のテレビ番組、例えばNHK Eテレの『にっぽんの芸能』などの視聴を勧め、伝統音楽により理解を深めることにより、モチベーションの向上を図る。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	0	0	0	1	0	0	1	2.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	2.60
⑤	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.14
⑥	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.41
⑦	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.31
質問項目 1.									3.14	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.41
⑨	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.39
⑩	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
質問項目 2.									4.25	4.45

TOTAL									3.73	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：山ヶ城 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：合奏Ⅰ(打楽器)

回答者数：10名 / 10名

単位数：2 単位
開設年次：1～4 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
グループでのレッスンで知識のレベルも様々な為、授業の進行速度、難度の設定が難しかった。

2 改善課題
授業のみで楽器を使用する為、楽器がなくても事前、事後の学修に取り組めるように工夫する。様々なレベルでも取り組めるような課題を取り入れる。

3 改善計画
レベルに合わせ取り組めるように、難度を工夫する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	4	2	1	2	1	0	10		3.60	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	7	0	0	0	3	0	10	38	3.80	4.55
③	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.65
④	1	0	0	4	5	0	10	18	1.80	2.60
⑤	7	3	0	0	0	0	10	47	4.70	4.14
⑥	8	1	1	0	0	0	10	47	4.70	4.41
⑦	7	2	1	0	0	0	10	46	4.60	4.31
質問項目 1.									4.03	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.41
⑨	9	0	1	0	0	0	10	48	4.80	4.39
⑩	8	1	1	0	0	0	10	47	4.70	4.45
⑪	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.62
⑫	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.50
⑬	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.50
⑭	10	0	0	0	0	0	10	50	5.00	4.45
⑮	9	1	0	0	0	0	10	49	4.90	4.50
質問項目 2.									4.93	4.45

TOTAL									4.51	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：山ヶ城 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：合奏V(打楽器)

回答者数：1名 / 4名

単位数：2 単位
開設年次：1～4 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

グループでのレッスンで知識のレベルも様々な為、授業の進行速度、難度の設定が難しかった。

2 改善課題

授業のみで楽器を使用する為、楽器がなくても事前、事後の学修に取り組めるように工夫する。様々なレベルでも取り組めるような課題を取り入れる。

3 改善計画

レベルに合わせて取り組めるように、難度を工夫する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	0	0	1	3.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	0	0	1	0	0	1	2	2.00	2.60
⑤	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.14
⑥	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									3.86	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.47	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：山ヶ城 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：重奏Ⅰ(管弦打)

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：3・4 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生達で課題を決め、とても積極的に取り組んでくれた。

2 改善課題

得意な分野の楽器だけではなく、色々な楽器に触れ、スキルアップを目指し、様々な楽曲にチャレンジ出来る様な環境にする。

3 改善計画

色々なジャンルの楽曲を提案して、取り組めるように呼びかける。重奏を通して、思いやりの心を持ち、アンサンプルに取り組めるように指導する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
 ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
 ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
 ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
 ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
 ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
 ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	2	0	0	0	0	0	2	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									5.00	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
 ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
 ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
 ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
 ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
 ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
 ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
 ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									5.00	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：山ヶ城 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：重奏Ⅲ(管弦打)

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：3・4 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
学生達で課題を決め、とても積極的に取り組んでくれた。

2 改善課題
得意な分野の楽器だけではなく、色々な楽器に触れ、スキルアップを目指し、様々な楽曲にチャレンジ出来る様な環境にする。

3 改善計画
色々なジャンルの楽曲を提案して、取り組めるように呼びかける。重奏を通して、思いやりの心を持ち、アンサンブルに取り組めるように指導する。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	2	0	0	0	0	0	2	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	1	0	0	0	1	0	2	6	3.00	4.65
④	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									4.64	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.83	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 西林 博子

開講期： H29年度 前期

授業科目： ソルフエージュⅠA

回答者数： 5 名 / 5 名

単位数： 2 単位
開設年次： 1 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

5名の履修者は、基本的なソルフエージュ力があり、学習態度も非常に良く、集中して取り組むことができるため、授業では習熟と応用、それぞれの項目の体系の理解など、指導法を含めて展開した。和声学、キーボードハーモニーも同時に学習することで、より高い効果が得られたと思える。

2 改善課題

弾き歌い、移調奏、移動ド唱、和音聴音、スコアリーディングなど、一般的受験科目でない内容の習熟。事前・事後学修について。

3 改善計画

事前事後学修の充実のため、授業ごとに確実に次週までの課題を確認していくようにする。和声聴音を理論的に理解して書きとれるよう、更に教科間の融合を図る。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	5	0	0	0	0	0	5	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.55
③	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.65
④	0	0	1	3	1	0	5	10	2.00	2.60
⑤	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.14
⑥	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.41
⑦	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.31
質問項目 1.									4.46	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすく工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.41
⑨	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.39
⑩	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.45
⑪	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.62
⑫	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.50
⑬	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.50
⑭	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.45
⑮	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.50
質問項目 2.									4.95	4.45

TOTAL									4.72	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 西林 博子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 和声学Ⅰ（キーボード・ハーモニー含む）

回答者数： 19 名 / 23 名

単位数： 2 単位
開設年次： 1 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

和声学とキーボードハーモニーの基礎を同時進行する内容に一新し、ワークブック形式のプリントを作成して授業に臨んだ。本学独自の基礎科目の展開例となるべく努めた。

2 改善課題

個別指導の充実と全体の鍵盤力の向上。

3 改善計画

前学修、事後学修を充実させ鍵盤力の向上に努める。的確な課題を提示と確認を繰り返すことで、弾く力、書く力を習得させるよう工夫していく。個別練習（ヘッドホン利用）と個別指導をバランスよく行う。演習発表はグループで行うようにし、各学習者に強いプレッシャーを感じさせないように工夫する。和やかな雰囲気の中で、必要性和技術、知識を身に付けさせたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	11	1	3	4	0	0	19	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	16	0	0	0	3	0	19	83	4.37	4.55
③	17	0	0	0	2	0	19	87	4.58	4.65
④	3	1	7	5	3	0	19	53	2.79	2.60
⑤	8	6	4	1	0	0	19	78	4.11	4.14
⑥	13	4	1	1	0	0	19	86	4.53	4.41
⑦	11	4	3	1	0	0	19	82	4.32	4.31
質問項目 1.									4.10	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。（資料・AV機器の利用・説明・助言）
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。（説明・アドバイス）
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。（発言や質問がしやすい雰囲気）
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	13	3	3	0	0	0	19	86	4.53	4.41
⑨	14	3	2	0	0	0	19	88	4.63	4.39
⑩	12	4	3	0	0	0	19	85	4.47	4.45
⑪	17	1	1	0	0	0	19	92	4.84	4.62
⑫	14	3	2	0	0	0	19	88	4.63	4.50
⑬	14	4	1	0	0	0	19	89	4.68	4.50
⑭	16	1	0	0	2	0	19	86	4.53	4.45
⑮	16	1	1	0	1	0	19	88	4.63	4.50
質問項目 2.									4.62	4.45

TOTAL									4.38	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 西林 博子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 和声学Ⅲ

回答者数： 3 名 / 4 名

単位数： 2 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 講義・演習
学科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

和声学Ⅲの選択履修者は和声・分析への興味があるうえ、少人数のため個別の課題を十分に指導することができ、和声学の授業としては理想的な展開となった。

2 改善課題

専攻コース(楽器)によって、知識が偏り気味。和声課題の実施のみならず、アナリーゼ、形式、終止形の理解が、各自のより良い演奏や指導力の基礎になることと関連付ける。キーボードハーモニーの要素も含め、総合的に音楽を観る力をつけたい

3 改善計画

様々な和音(Ⅱ7、準固有和音、ナポリ、ドリア、副属七等)を実際の楽曲で分析する。ピアノ曲、弦楽四重奏、オーケストラ総譜などの分析に取り組む。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	3	0	0	0	0	0	3		5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	0	1	1	1	0	0	3	9	3.00	2.60
⑤	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.14
⑥	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.41
⑦	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.31
質問項目 1.									4.57	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.41
⑨	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.39
⑩	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.45
⑪	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.62
⑫	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.50
⑬	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.50
⑭	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.45
⑮	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.50
質問項目 2.									4.67	4.45

TOTAL									4.62	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 西林 博子

開講期： H29年度 前期

授業科目： キーボードハーモニーⅢ

回答者数： 5 名 / 8 名

単位数： 2 単位

開設年次： 2 年次

授業形態： 講義・演習

学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

履修者数は5名で少なかったが、学習者自身が受講の目標を持っており、鍵盤力が高いため、理想的な授業が展開できた。演習授業なので一斉練習、弾き合いなのも和やかに進めることができた。

2 改善課題

アンケートの結果で質問項目1の④事前学修、事後学修が12/25と少ない割に、質問項目2の①、②の回答がほぼ100%であることを改善したい。

3 改善計画

効果的な事前学修、事後学修ができるよう、的確な課題(宿題)を提示し、課題(楽譜)の提出と発表(演奏)を行う。ピアノ楽曲のアナリーゼやグレード取得に直結する内容で、興味を持たせ、総合的な音楽力を高めたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	2	1	1	0	0	5	3.60	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	4	0	0	0	1	0	5	21	4.20	4.55
③	4	0	0	0	0	1	4	20	5.00	4.65
④	0	1	2	1	0	1	4	12	3.00	2.60
⑤	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.14
⑥	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.41
⑦	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.31
質問項目 1.									4.23	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.41
⑨	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.39
⑩	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.45
⑪	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.62
⑫	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.50
⑬	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.50
⑭	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.45
⑮	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.50
質問項目 2.									4.90	4.45

TOTAL									4.59	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：小西たくま

開講期：H29年度 前期

授業科目：アートマネージメントⅠ

回答者数：3名 / 9名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

前回の改善計画で立案した内容部分が今回は概ね活かされている。（個別が抱える課題が多岐にわたるので講義内容を工夫し個別に対応できるようにする・・・個々に達成感を感じて下さったようだ）

2 改善課題

事前学修・事後学修について、より深化させたい。

3 改善計画

ここの立場から、教授内容を自分のことと理解して、応用範囲を再検討していただく、課題を投げ掛ける。検証した結果を発表していただく。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	1	1	0	0	0	3	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.55
③	2	0	0	0	1	0	3	11	3.67	4.65
④	0	0	1	1	1	0	3	6	2.00	2.60
⑤	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.14
⑥	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑦	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.31
質問項目 1.									4.14	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすく工夫をしていましたか。（資料・AV機器の利用・説明・助言）
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。（説明・アドバイス）
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。（発言や質問がしやすい雰囲気）
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑨	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.39
⑩	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45

TOTAL									4.60	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：木村 博子

開講期：H29年度 前期

授業科目：西洋音楽史 I

回答者数：16 名 / 20 名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

「授業に対する取り組み」について教科平均が全体平均を下回り、改善の必要がある。出席率がやや低く、また授業中の態度に関しても居眠りや携帯操作について注意が徹底していなかった点を反省する。「授業の内容や進め方」については、事前学修・事後学修についての指示が曖昧だったので、今後はしっかりと伝えて効果的な学習ができるようにしたい。

2 改善課題

- ・授業への出席と適切な受講態度の奨励
- ・事前学修・事後学修の指示

3 改善計画

授業を欠席しがちな学生については、同級生や友人等を通して声かけを行うほか、教務課とも連携してドロップアウトを防ぎたい。授業中の態度については適宜注意喚起を行い、教室の雰囲気作りに努力する。事前・事後の学習については、シラバス記載分の他に聴くべき曲目や調べる事項などを紹介して、学習意欲が高まるようにしていきたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	4	4	4	4	0	0	16		3.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	11	0	0	0	5	0	16	60	3.75	4.55
③	15	0	0	0	0	1	15	75	5.00	4.65
④	2	0	3	6	4	1	15	35	2.33	2.60
⑤	7	2	4	0	2	1	15	57	3.80	4.14
⑥	11	5	0	0	0	0	16	75	4.69	4.41
⑦	11	5	0	0	0	0	16	75	4.69	4.31
質問項目 1.									3.97	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	12	2	2	0	0	0	16	74	4.63	4.41
⑨	12	2	2	0	0	0	16	74	4.63	4.39
⑩	13	2	1	0	0	0	16	76	4.75	4.45
⑪	16	0	0	0	0	0	16	80	5.00	4.62
⑫	16	0	0	0	0	0	16	80	5.00	4.50
⑬	15	0	1	0	0	0	16	78	4.88	4.50
⑭	15	1	0	0	0	0	16	79	4.94	4.45
⑮	15	1	0	0	0	0	16	79	4.94	4.50
質問項目 2.									4.85	4.45
TOTAL									4.44	4.27

教科担当者：木村 博子

開講期：H29年度 前期

授業科目：音楽史特殊講義Ⅰ

回答者数：3名 / 3名

単位数：2 単位
開設年次：専 年次

授業形態：講義・演習
学 科：専攻科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

出席率が低い点が問題だが、前期は実習や就活などもあり、やむを得ない状況とも思える。ただその場合事後の効果的なフォローをしていなかったことが反省点として挙げられる。受講者が3人と少なくかつたにも拘わらず、学習についてバラつきがみられた点も指導不足として改善の必要がある。内容に関しては、それぞれが専門に関して相当の見識を有しており、専門を越えて様々な議論ができたことは有益だったと思う。

2 改善課題

- ・出席率の改善
- ・学生のニーズに応じた柔軟な指導

3 改善計画

出席に関しては、学生の専門の勉強（レッスン、演奏会など）に支障をきたさないよう配慮しつつ、やむを得ない欠席の場合は内容をしっかり事前・事後の学習で補完できるよう教材を工夫する。また、専攻科の授業で専門性も高くなることから、学生一人一人のニーズを踏まえて柔軟な指導を心がけ、今後の演奏活動の一助となるようにしたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	1	2	0	0	0	3	3.33	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	1	0	3	11	3.67	4.55
③	2	0	0	0	1	0	3	11	3.67	4.65
④	1	0	0	2	0	0	3	9	3.00	2.60
⑤	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.14
⑥	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.41
⑦	1	2	0	0	0	0	3	13	4.33	4.31
質問項目 1.									3.95	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑨	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.39
⑩	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
質問項目 2.									5.00	4.45
TOTAL									4.51	4.27

教科担当者：岩佐 銘江

開講期：H29年度 前期

授業科目：ドイツ語 I

回答者数：14 名 / 14 名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽・子ども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ドイツ語は学生にとって初めて習得するであろう外国語のため、難しさや苦手さを感じさせないようにすることを念頭におきながら、個々人の理解度に沿うよう細やかに指導することを心掛けた。

2 改善課題

個々人の理解度を鑑みながら授業を進行したが、学生がより積極的に授業に参加できるような雰囲気作りが必要だったと思われる。今後は、学生が学習意欲をより高められるような工夫を考えたい。

3 改善計画

学生が積極的にドイツ語学習に取り組めるよう、身近な事柄を取り入れたり資料を工夫するなど、授業内容を充実していきたい。また、学生間・学生と教員との双方向的な授業展開を心掛けたい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	4	5	1	1	2	1	13		3.62	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	10	0	0	0	4	0	14	54	3.86	4.55
③	12	0	0	0	1	1	13	61	4.69	4.65
④	0	0	7	3	0	4	10	27	2.70	2.60
⑤	4	6	3	1	0	0	14	55	3.93	4.14
⑥	5	5	3	1	0	0	14	56	4.00	4.41
⑦	4	6	3	1	0	0	14	55	3.93	4.31
質問項目 1.									3.82	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	10	2	2	0	0	0	14	64	4.57	4.41
⑨	9	2	3	0	0	0	14	62	4.43	4.39
⑩	10	2	2	0	0	0	14	64	4.57	4.45
⑪	9	1	4	0	0	0	14	61	4.36	4.62
⑫	8	4	2	0	0	0	14	62	4.43	4.50
⑬	9	3	2	0	0	0	14	63	4.50	4.50
⑭	8	2	3	1	0	0	14	59	4.21	4.45
⑮	6	5	1	2	0	0	14	57	4.07	4.50
質問項目 2.									4.39	4.45

TOTAL									4.12	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：岩佐 銘江

開講期：H29年度 前期

授業科目：ドイツ語Ⅲ

回答者数：3 名 / 4 名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽・こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
引き続きドイツ語を履修する学生にとって、ドイツ語学習が積み重ねとなるよう心掛けた。また、学生の積極的な授業参加、学生間・教員との双方向的な授業展開に努めた。

2 改善課題
個々人の理解度を鑑みながら、より学習意欲を高められるよう工夫をしていきたい。ドイツ語学習の積み重ねに加え、さらに理解度を深められるよう、進度や内容を考えていきたい。

3 改善計画
個々人の理解度に考慮しながら、学習の積み重ねとなるような細やかな指導を心掛けたい。身近な事柄やドイツ語圏の芸術・文化にも触れながら、外国語学習への意欲が持続できるよう、内容の充実を図って行く。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	0	1	1	0	0	3	3.33	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	0	2	0	1	0	0	3	10	3.33	2.60
⑤	1	1	1	0	0	0	3	12	4.00	4.14
⑥	1	2	0	0	0	0	3	13	4.33	4.41
⑦	1	2	0	0	0	0	3	13	4.33	4.31
質問項目 1.									4.19	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	2	0	0	0	0	3	13	4.33	4.41
⑨	1	1	1	0	0	0	3	12	4.00	4.39
⑩	1	2	0	0	0	0	3	13	4.33	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑮	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.50
質問項目 2.									4.67	4.45

TOTAL									4.44	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：西村 栄彦

開講期：H29年度 前期

授業科目：医学概論

回答者数：15 名 / 18 名

単位数：2 単位
開設年次：1.2/2.3 年次

授業形態：講義・演習
学科：音楽・子ども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

特になし

2 改善課題

年々、学生の理解力低下がみられる。

3 改善計画

できるだけ、分かりやすい言葉で話す。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	4	4	3	3	1	0	15	3.47	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	8	0	0	0	7	0	15	47	3.13	4.55
③	13	0	0	0	0	2	13	65	5.00	4.65
④	2	0	2	6	5	0	15	33	2.20	2.60
⑤	10	1	3	0	0	1	14	63	4.50	4.14
⑥	11	1	2	1	0	0	15	67	4.47	4.41
⑦	11	1	3	0	0	0	15	68	4.53	4.31

質問項目 1.

3.90 4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	12	0	1	2	0	0	15	67	4.47	4.41
⑨	11	1	2	1	0	0	15	67	4.47	4.39
⑩	11	1	2	1	0	0	15	67	4.47	4.45
⑪	13	0	1	1	0	0	15	70	4.67	4.62
⑫	11	1	1	2	0	0	15	66	4.40	4.50
⑬	13	0	1	1	0	0	15	70	4.67	4.50
⑭	12	1	1	1	0	0	15	69	4.60	4.45
⑮	13	0	1	1	0	0	15	70	4.67	4.50

質問項目 2.

4.55 4.45

TOTAL

4.25 4.27

教科担当者：八間川 隆彦

開講期：H29年度 前期

授業科目：教育制度論

回答者数：16 名 / 17 名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：講義・演習
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

質問項目1の内容である学生の授業への取り組みにおいては、学生が講義テーマを主体的に探求するようにはしなければならない。授業内容や指導法を検討し、学生が課題意識を持ち能動的に学修する授業を追求したい。

2 改善課題

教育制度は社会の変化に対応して、中等教育は多様化と弾力化を図りながら改善されている。改善には教師の資質能力が必要である。教師を目指す意志を高め、主体的な学修となるよう授業を改善する。

3 改善計画

講義テーマに応じて、学生が討論や協議を行いながら主体的に学修するような授業を工夫する。学修内容の基礎的・基本的なことは教授を重視するが、課題の検討や現状の諸問題については協議を取り入れる。また、授業のまとめでは、次時の講義テーマや内容について概説し、次時への興味関心や課題意識を持たせる。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	4	4	6	2	0	0	16	3.63	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	13	0	0	0	3	0	16	68	4.25	4.55
③	13	0	0	0	2	1	15	67	4.47	4.65
④	4	2	5	1	3	1	15	48	3.20	2.60
⑤	9	3	4	0	0	0	16	69	4.31	4.14
⑥	13	1	1	0	1	0	16	73	4.56	4.41
⑦	11	3	2	0	0	0	16	73	4.56	4.31
質問項目 1.									4.14	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすく工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	14	1	1	0	0	0	16	77	4.81	4.41
⑨	14	1	1	0	0	0	16	77	4.81	4.39
⑩	14	0	2	0	0	0	16	76	4.75	4.45
⑪	14	2	0	0	0	0	16	78	4.88	4.62
⑫	14	1	1	0	0	0	16	77	4.81	4.50
⑬	14	1	1	0	0	0	16	77	4.81	4.50
⑭	14	0	1	1	0	0	16	75	4.69	4.45
⑮	14	1	0	1	0	0	16	76	4.75	4.50
質問項目 2.									4.79	4.45

TOTAL									4.49	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 沖田 秀子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 乳児保育演習

回答者数： 36 名 / 38 名

単位数： 2 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

例年と変わらない授業内容だったと思いますが、学生からの評価にはとても驚きました。今年はレポートなどで色々なハブニングがあり、単位が取れない学生も数人いたので、その学生達に頑張ってもらおうとアドバイスしたのが、逆に反発になったように感じます。この結果を受けて私も反省し、学生から信頼されるよう努力していきたいと思います。

2 改善課題

今回授業がわかりにくかったという学生が多かったので、どの点が難しかったのか分析したいと思う。授業態度は良い方だったが、レポートを通してみると理解しているかと言えば、そうではなかったという点で、今後内容を見直す必要があると思います

3 改善計画

学生の理解度に合わせて授業をもっとゆっくり、確実に進める必要があると思う。試験のあり方を見直し、すこし学生に無理のない内容に変えていく必要があると感じました。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	14	10	8	3	0	1	35		4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	30	0	0	0	6	0	36	156	4.33	4.55
③	29	0	0	0	6	1	35	151	4.31	4.65
④	3	1	7	6	17	2	34	69	2.03	2.60
⑤	5	7	12	6	5	1	35	106	3.03	4.14
⑥	9	10	8	5	4	0	36	123	3.42	4.41
⑦	9	9	9	4	5	0	36	121	3.36	4.31
質問項目 1.									3.50	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	5	13	5	8	0	36	102	2.83	4.41
⑨	4	5	11	5	10	1	35	93	2.66	4.39
⑩	8	6	11	3	8	0	36	111	3.08	4.45
⑪	9	6	9	6	5	1	35	113	3.23	4.62
⑫	7	6	7	9	7	0	36	105	2.92	4.50
⑬	10	2	9	7	8	0	36	107	2.97	4.50
⑭	7	5	9	9	6	0	36	106	2.94	4.45
⑮	10	8	7	4	7	0	36	118	3.28	4.50
質問項目 2.									2.99	4.45

TOTAL									3.23	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：佐々木隆一郎

開講期：H29年度前期

授業科目：国語表現法

回答者数：31名 / 31名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：講義・演習
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

本講座に関する学生諸君の取り組み状況については、全出席が約4割、ほぼ9割が欠席2回までという様子であり、出席状況は良好と言える。毎時間演習プリントを配付して実施するという方法で、事前学修はあまり期待していないが、演習内容や進度に関する学生諸君の調査結果は平均4.6と好評である。「表現法」や「言葉遣い」に対する再発見の驚きや新鮮な感動を後々まで心に留めて欲しいというねらいは達成されていると考える。

近年若い人たちの言葉遣いが乱れていると言われる。学生諸君は、将来保育の現場に立ち、保護者と協力しながら、子供たちの正しく豊かな「言葉の育ち」を支えていかねばならない。諸君が今一度、自己の言葉遣いにも厳しい目を向け、より正しく豊かな表現を求めることがいかに大切なことであるかを、毎回の講義で再確認したい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	13	13	3	2	0	0	31	4.19	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	29	0	0	0	1	1	30	146	4.87	4.55
③	30	0	0	0	0	1	30	150	5.00	4.65
④	4	0	2	11	14	0	31	62	2.00	2.60
⑤	19	6	6	0	0	0	31	137	4.42	4.14
⑥	22	6	3	0	0	0	31	143	4.61	4.41
⑦	20	8	3	0	0	0	31	141	4.55	4.31
質問項目 1.									4.23	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすく工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	23	5	3	0	0	0	31	144	4.65	4.41
⑨	23	4	3	1	0	0	31	142	4.58	4.39
⑩	23	4	4	0	0	0	31	143	4.61	4.45
⑪	25	3	1	2	0	0	31	144	4.65	4.62
⑫	23	3	3	1	1	0	31	139	4.48	4.50
⑬	24	3	3	1	0	0	31	143	4.61	4.50
⑭	22	7	1	1	0	0	31	143	4.61	4.45
⑮	25	4	1	1	0	0	31	146	4.71	4.50
質問項目 2.									4.61	4.45

TOTAL									4.44	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 今吉 光弘

開講期： H29年度 前期

授業科目： 児童家庭福祉論

回答者数： 46 名 / 50 名

単位数： 2 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 講義・演習
学 科： 音楽・こども学科

- 【改善計画】（400字文字）
- 1 自己評価
特にありません。
 - 2 改善課題
学生に配布する資料の見易さ。
 - 3 改善計画
わかりやすい講義を実施したい。

質問項目 1. この授業に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業にどの程度出席しましたか。
- ② この授業で、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ 授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ この授業に集中して取り組むことができましたか。
- ⑦ 授業の到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	12	24	7	3	0	0	46	3.98	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	45	0	0	0	1	0	46	226	4.91	4.55
③	36	0	0	0	9	1	45	189	4.20	4.65
④	2	0	5	13	24	2	44	75	1.70	2.60
⑤	11	9	21	1	3	1	45	159	3.53	4.14
⑥	15	15	13	1	1	1	45	177	3.93	4.41
⑦	15	14	15	1	0	1	45	178	3.96	4.31
質問項目 1.									3.74	4.12

質問項目 2. この授業の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ 授業はシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ 授業に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 先生は授業を分かりやすくする工夫をしていましたか。(資料・AV機器の利用・説明・助言)
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・アドバイス)
- ⑭ 授業中に集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑮ この授業を受けて、あなたの理解度や知識は深まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	16	9	18	2	1	0	46	175	3.80	4.41
⑨	15	10	18	1	2	0	46	173	3.76	4.39
⑩	18	17	11	0	0	0	46	191	4.15	4.45
⑪	22	18	6	0	0	0	46	200	4.35	4.62
⑫	22	15	9	0	0	0	46	197	4.28	4.50
⑬	20	15	11	0	0	0	46	193	4.20	4.50
⑭	21	14	10	1	0	0	46	193	4.20	4.45
⑮	20	16	10	0	0	0	46	194	4.22	4.50
質問項目 2.									4.12	4.45

TOTAL									3.94	4.27
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

実 技 系 科 目

ページ	授業科目	専任教員
101	声楽実技研究Ⅲ	常森 寿子
102	声楽実技研究Ⅴ	常森 寿子
103	声楽Ⅲ	常森 寿子
104	声楽Ⅴ	常森 寿子
105	声楽実技Ⅰ	常森 寿子
106	器楽実技研究Ⅲ(ピアノ)	松崎 伶子
107	器楽実技研究Ⅴ(ピアノ)	松崎 伶子
108	器楽実技研究Ⅶ(ピアノ)	松崎 伶子
109	器楽実技研究Ⅰ(管弦打)	馬込 勇
110	器楽実技研究Ⅲ(管弦打)	馬込 勇
111	器楽実技研究Ⅴ(管弦打)	馬込 勇
112	器楽実技研究Ⅶ(管弦打)	馬込 勇
113	声楽実技研究Ⅰ	桑原 理恵
114	声楽実技研究Ⅲ	桑原 理恵
115	声楽実技研究Ⅴ	桑原 理恵
116	声楽Ⅰ	桑原 理恵
117	声楽Ⅲ	桑原 理恵
118	声楽Ⅴ	桑原 理恵
119	器楽実技研究Ⅰ(ピアノ)	川口 みさき
120	器楽実技研究Ⅲ(ピアノ)	川口 みさき
121	器楽実技研究Ⅴ(ピアノ)	川口 みさき
122	器楽実技研究Ⅶ(ピアノ)	川口 みさき
123	ピアノⅠ	川口 みさき
124	ピアノⅢ	川口 みさき
125	ピアノⅤ	川口 みさき
126	ピアノ実技Ⅰ	川口 みさき
127	ピアノⅠA	隈部 文
128	ピアノⅠB	隈部 文
129	ピアノⅢA	隈部 文
130	ピアノⅢB	隈部 文
131	ピアノⅤA	隈部 文
132	ピアノⅤB	隈部 文
133	ピアノⅦA	隈部 文
134	ピアノⅦB	隈部 文
135	体育実技ⅠA	石岡 ひろみ
136	体育実技ⅠB	石岡 ひろみ
137	ピアノⅠA	友永 和恵
138	ピアノⅠB	友永 和恵
139	ピアノⅢA	友永 和恵
140	ピアノⅢB	友永 和恵
141	器楽実技研究Ⅰ(ピアノ)	眞鍋 協子
142	器楽実技研究Ⅲ(ピアノ)	眞鍋 協子
143	器楽実技研究Ⅴ(ピアノ)	眞鍋 協子
144	ピアノⅠ	眞鍋 協子
145	ピアノⅢ	眞鍋 協子
146	ピアノⅤ	眞鍋 協子
147	ピアノⅦ	眞鍋 協子
148	声楽Ⅰ	村橋 和子
149	ピアノⅠA	大石 陽子
150	ピアノⅠB	大石 陽子
151	ピアノⅢA	大石 陽子
152	ピアノⅢB	大石 陽子
153	ピアノⅤA	大石 陽子
154	ピアノⅤB	大石 陽子
155	ピアノⅦA	大石 陽子
156	ピアノⅦB	大石 陽子
157	器楽実技研究Ⅲ(管弦打)	柏尾 剛徳
158	器楽実技研究Ⅴ(管弦打)	柏尾 剛徳
159	器楽実技研究Ⅶ(管弦打)	柏尾 剛徳
160	演奏実技Ⅴ	柏尾 剛徳
161	音楽実技研究Ⅰ	柏尾 剛徳
162	声楽Ⅲ	岩本 貴文

実 技 系 科 目

ページ	授業科目	専任教員
163	声楽Ⅰ	春日 信子
164	声楽Ⅲ	春日 信子
165	声楽Ⅴ	春日 信子
166	ピアノⅤ	吉良 千波
167	ピアノⅦ	吉良 千波
168	ピアノⅦB	吉良 千波
169	器楽実技研究Ⅶ(ピアノ)	合志 知子
170	ピアノⅢ	合志 知子
171	ピアノⅦ	合志 知子
172	ピアノⅢ	住江 智子
173	ピアノⅦ	住江 智子
174	器楽実技研究Ⅲ(ピアノ)	竹下 千晴
175	ピアノⅢ	竹下 千晴
176	ピアノⅢ	光永 育
177	ピアノⅦ	光永 育
178	ピアノⅤA	光永 育
179	ピアノⅠ	山内 紀子
180	ピアノⅤ	山内 紀子
181	器楽実技研究Ⅲ(管弦打)	山崎 明・川口 力
182	演奏実技Ⅰ	山崎 明・川口 力
183	器楽実技研究Ⅰ(管弦打)	森口 洋輔
184	器楽実技研究Ⅲ(管弦打)	森口 洋輔
185	器楽実技研究Ⅰ(管弦打)	柴田 裕二
186	器楽実技研究Ⅴ(管弦打)	柴田 裕二
187	器楽実技研究Ⅰ(管弦打)	山ヶ城 陽子
188	器楽実技研究Ⅴ(管弦打)	山ヶ城 陽子
189	器楽実技研究Ⅶ(管弦打)	山ヶ城 陽子

教科担当者：常森 寿子

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽実技研究Ⅲ

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

声楽の基本になる呼吸法、発声の技術を年間を通して繰り返し身に付けさせたその上でそれぞれの能力に合った曲を課題として研究を指導している。ドイツリートを研究している学生がコンクールで金賞を得た。また大学でのオーディションにも3人の学生が合格した。

2 改善課題

特になし

3 改善計画

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1		5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									4.86	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.93	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：常森 寿子

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽実技研究Ⅴ

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：個人指導
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

声楽の基本になる呼吸法、発声の技術を年間を通して繰り返し身に付けさせたその上でそれぞれの能力に合った曲を課題として研究を指導している。ドイツリートを研究している学生がコンクールで金賞を得た。また大学でのオーディションにも3人の学生が合格した。

2 改善課題

特になし

3 改善計画

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	1	1	0	0	0	2	3.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									4.79	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.90	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：常森 寿子

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽Ⅲ

回答者数：5名 / 5名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

副科の学生のレッスン時間は短い個人レッスンを学生は好む。発声の基本からはじめ2年目3年目になると美しい声が出てくるのを学生は喜んでいる。オペラのアリアにも挑戦している。

2 改善課題

学生とのコミュニケーションが上手く取れるよう努力したい。

3 改善計画

学生に課題を与えるときは基本を踏まえた上で学生の興味に沿った曲を選び指導する。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	2	0	2	0	1	0	5	3.40	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	4	0	0	0	1	0	5	21	4.20	4.55
③	4	0	0	0	1	0	5	21	4.20	4.65
④	1	0	2	1	1	0	5	14	2.80	2.60
⑤	3	1	0	0	1	0	5	20	4.00	4.14
⑥	3	1	1	0	0	0	5	22	4.40	4.41
⑦	3	1	1	0	0	0	5	22	4.40	4.31
質問項目 1.									3.91	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.41
⑨	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.39
⑩	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.45
⑪	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.62
⑫	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.50
⑬	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.80
⑭	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.75
⑮	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.74
質問項目 2.									4.60	4.74

TOTAL									4.28	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：常森 寿子

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽Ⅴ

回答者数：4名 / 4名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

副科の学生のレッスン時間は短い個人レッスンを学生は好む。発声の基本からはじめ2年目3年目になると美しい声が出てくるのを学生は喜んでいる。オペラのアリアにも挑戦している。

2 改善課題

学生とのコミュニケーションが上手く取れるよう努力したい。

3 改善計画

学生に課題を与えるときは基本を踏まえた上で学生の興味に沿った曲を選び指導する。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	2	0	0	1	0	4	3.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.55
③	3	0	0	0	1	0	4	16	4.00	4.65
④	0	1	3	0	0	0	4	13	3.25	2.60
⑤	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.14
⑥	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.41
⑦	2	0	2	0	0	0	4	16	4.00	4.31
質問項目 1.									4.18	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	1	0	0	0	4	18	4.50	4.41
⑨	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.39
⑩	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.45
⑪	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.62
⑫	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.50
⑬	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.80
⑭	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.75
⑮	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.74
質問項目 2.									4.72	4.74

TOTAL									4.47	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：常森 寿子

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽実技Ⅰ

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：専 年次

授業形態：実技
学 科：専攻科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
専攻科のレッスン時間は30分あるので嬉しい。オペラのアリアにも挑戦している

2 改善課題
学生とのコミュニケーションが上手く取れるよう努力したい。

3 改善計画
学生に課題を与えるときは基本を踏まえた上で学生の興味に沿った曲を選び指導する。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

（人）	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	1	1	0	0	2	2.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	0	0	1	0	0	1	1	3	3.00	2.60
⑤	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.14
⑥	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.41
⑦	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.31
質問項目 1.									4.14	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。（説明・助言が適切で分かりやすい）
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。（発言や質問がしやすい雰囲気）
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.41
⑨	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									4.88	4.74

TOTAL									4.53	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：松崎 伶子

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅲ(ピアノ)

回答者数：2 名 / 2 名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
比較的優秀な2年生は段々大学での生活にも慣れてきて伴奏に、コンサートに、コンクールにと活躍の場を増やしており少しづつ大人になっていると実感出来る。

2 改善課題
まだまだ内容的、技術的には問題点が多い。

3 改善計画
さらにきめ細やかな指導をしていく必要がある。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	2	0	0	0	0	0	2	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31

質問項目 1.

5.00 4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74

質問項目 2.

5.00 4.74

TOTAL

5.00 4.56

教科担当者：松崎 伶子

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅴ(ピアノ)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：個人指導
学 科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価
3年次の男子学生は身体が弱く病気を抱えており休みがちで試験曲も負担が無い様に比較的易しい2ページの曲を選んだ。

2 改善課題
無理の利かない中、仕上げる事を目標とした。

3 改善計画
学生の体調に気を配りながら目標をクリア出来る様にサポートして行く。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	0	0	1	0	1	1.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									4.29	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.67	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：松崎 伶子

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅶ(ピアノ)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：4 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

4年生の問題を抱えている女子学生で、遅刻、欠席がちで練習もしている風ではないが卒業はしたいと言って

2 改善課題

入学後3年間の態度とは違いなるべく出席しようとしている。

3 改善計画

音楽に興味がないのが残念としか言いようがない。なるべく多くの話題を通して出席する意欲が持続する様に根気良く付き合う。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	0	0	1	0	1	1.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									3.71	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.40	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：馬込 勇

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅰ（管弦打）

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：個人指導
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

前期はエチュードの習得をテーマにしているが、高校時代の部活やサークルでの合奏が中心の大学一年生が多い中、オーケストラを体験してきた学年だけに音作りや響きについては教えやすかった。

2 改善課題

エチュードの中でリズム中心のエチュード曲が苦手な様で、後期にはリズムに的を絞って教えることが改善課題である

3 改善計画

後期は親しみやすい楽曲の中で正確にリズムの勉強をさせてみたい。特に付点や3連符など、やはりバロック作品を使用して改善したい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									5.00	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									5.00	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：馬込 勇

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅲ(管弦打)

回答者数：3名 / 3名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
前期のテーマであるエチュードでは、この学年は特筆して、競い合うようにしてコーブラッシュやノイキリヒナーのエチュードを仕上げていて指導しやすかった。

2 改善課題
2年次の副題として、リード制作があるが、なかなか安定した音が出るリードが作りにくいことが改善課題である。

3 改善計画
後期はリード制作講座を別途用意して改善したい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
①	1	1	1	0	0	0	3		4.00	4.09
②	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	2.60
⑤	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.14
⑥	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑦	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.31
質問項目 1.									4.86	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑨	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.39
⑩	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.80
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74
TOTAL									4.93	4.56

教科担当者：馬込 勇

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅴ(管弦打)

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

この学年は非常に力があり、音楽表現能力が高いので楽しみに指導している。

2 改善課題

なぜか暗譜力が弱い

3 改善計画

後期はアナリーゼをより深くしながら、暗譜しやすいように楽曲を教えること。場合によって邦楽的に演奏し合いながらの授業もして改善したい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	1	0	0	0	0	2	4.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	1	0	2	6	3.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	1	0	1	0	0	0	2	8	4.00	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									4.50	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.77	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：馬込 勇

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅶ(管弦打)

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：4 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
4年次なのでどうしても楽曲が中心になりがちだが、意欲的な学年なので一曲一曲を丁寧に学修していて成果が上がっている。

2 改善課題
オーケストラスタディのレッスン時間がどうしても少なくなってしまう、課題である。

3 改善計画
後期はオーケストラスタディの授業を別途用意することにより改善したい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
①	2	0	0	0	0	0	2		5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	1	0	0	1	0	0	2	7	3.50	2.60
⑤	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									4.71	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74
TOTAL									4.87	4.56

教科担当者：桑原 理恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽実技研究 I

回答者数：1 名 / 1 名

単位数：2 単位

開設年次：1 年次

授業形態：個人指導

学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生自身は意欲をもってレッスンに臨んでおり、指導者のレッスン方法への評価も高い。しかし中には、それが技能の高まりや音楽的な興味や関心、視野の広がりに結びついてい るかどうかがわからない学生もいた。技術の習得には時間が掛かる。その中でも達成感のあるレッスンを組み立てていくことが必要である

2 改善課題

4年間の学びの流れと半期毎の課題を明確にする。

3 改善計画

楽曲ノートは各自作成しているが、それに加えてレッスンノートを作成する。書くことをとおして課題意識と、できるようになったことの実感と確認をしていきたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									4.71	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74
TOTAL									4.87	4.56

教科担当者： 桑原 理恵

開講期： H29年度 前期

授業科目： 声楽実技研究Ⅲ

回答者数： 1 名 / 2 名

単位数： 2 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 個人指導
学科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生自身は意欲をもってレッスンに臨んでおり、指導者のレッスン方法への評価も高い。しかし中には、それが技能の高まりや音楽的な興味や関心、視野の広がりに結びついてい るかどうか分からない学生もいた。技術の習得には時間が掛かる。その中でも達成感のあるレッスンを組み立てていくことが必要である

2 改善課題

4年間の学びの流れと半期毎の課題を明確にする。

3 改善計画

楽曲ノートは各自作成しているが、それに加えてレッスンノートを作成する。書くことをとおして課題意識と、できるようになったことの実感と確認をしていきたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	2.60
⑤	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									4.43	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.41
⑨	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.39
⑩	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.75
⑮	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.74
質問項目 2.									4.38	4.74

TOTAL									4.40	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：桑原 理恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽実技研究Ⅴ

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
学生自身は意欲をもってレッスンに臨んでおり、指導者のレッスン方法への評価も高い。しかし中には、それが技能の高まりや音楽的な興味や関心、視野の広がりに結びついてい るかどうか分からない学生もいた。技術の習得には時間が掛かる。その中でも達成感のあるレッスンを組み立てていくことが必要である

2 改善課題
4年間の学びの流れと半期毎の課題を明確にする。

3 改善計画
楽曲ノートは各自作成しているが、それに加えてレッスンノートを作成する。書くことをとおして課題意識と、できるようになったことの実感と確認をしていきたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	1	0	0	0	0	0	1		5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									4.86	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.93	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：桑原 理恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽Ⅰ

回答者数：2名 / 2名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生一人一人の課題を捉えてレッスンを行うことができたと思う。レッスンでは信頼関係も非常に大切である。意欲をもって学生はレッスンに臨んでおり目標の達成感も実感してはいるが、半期を通しての目標・内容について学生にもう少し意識を持たせながら毎回のレッスンを行う必要があった。

2 改善課題

課題練習方法を的確に示す。

3 改善計画

楽曲を仕上げるまでに必要なプロセスと毎回のレッスン内容との説明を行いながら各々の課題に応じた指導を行う。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	2	0	0	0	0	0	2		5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	1	0	0	0	1	0	2	6	3.00	4.65
④	0	0	1	1	0	0	2	5	2.50	2.60
⑤	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									4.29	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									4.94	4.74

TOTAL									4.63	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：桑原 理恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽Ⅲ

回答者数：2 名 / 2 名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生一人一人の課題を捉えてレッスンを行うことができたと思う。レッスンでは信頼関係も非常に大切である。意欲をもって学生はレッスンに臨んでおり目標の達成感も実感してはいるが、半期を通しての目標・内容について学生にもう少し意識を持たせながら毎回のレッスンを行う必要があった。

2 改善課題

課題練習方法を的確に示す。

3 改善計画

楽曲を仕上げるまでに必要なプロセスと毎回のレッスン内容との説明を行いながら各々の課題に応じた指導を行う。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしましたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数
①	0	1	0	1	0	0	2

教科平均	全体平均
3.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	1	0	2	6	3.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	0	0	1	0	0	1	1	3	3.00	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									4.14	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.60	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：桑原 理恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽Ⅴ

回答者数：4 名 / 4 名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生一人一人の課題を捉えてレッスンを行うことができたと思う。レッスンでは信頼関係も非常に大切である。意欲をもって学生はレッスンに臨んでおり目標の達成感も実感しているが、半期を通しての目標・内容について学生にもう少し意識を持たせながら毎回のレッスンを行う必要があった。

2 改善課題

課題練習方法を的確に示す。

3 改善計画

楽曲を仕上げるまでに必要なプロセスと毎回のレッスン内容との説明を行いながら各々の課題に応じた指導を行う。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
①	2	1	1	0	0	0	4		4.25	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	1	0	4	16	4.00	4.55
③	3	0	0	0	1	0	4	16	4.00	4.65
④	0	0	2	2	0	0	4	10	2.50	2.60
⑤	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.14
⑥	2	2	0	0	0	0	4	18	4.50	4.41
⑦	2	1	1	0	0	0	4	17	4.25	4.31
質問項目 1.									4.07	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	1	0	0	0	4	18	4.50	4.41
⑨	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.39
⑩	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.45
⑪	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.62
⑫	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.50
⑬	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.80
⑭	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.75
⑮	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.74
質問項目 2.									4.94	4.74

TOTAL									4.53	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅰ(ピアノ)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

個々の能力に応じ、適切な選曲、適切な進度で授業が展開できたと思う。能力の差はあっても、すべての学生が授業に対する取り組みや態度は良かったと考える。自分自身で視野を広げ、受け身でなく自ら開拓する向上心がほしい。

2 改善課題

授業の内容や進め方に問題はないと判断できた。基礎力を高める指導を継続させる。

3 改善計画

学生が、自信を持って授業や練習に励む環境を作る。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取り組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									5.00	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									5.00	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅲ(ピアノ)

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

個々の能力に応じ、適切な選曲、適切な進度で授業が展開できたと思う。能力の差はあっても、すべての学生が授業に対する取り組みや態度は良かったと考える。自分自身で視野を広げ、受け身でなく自ら開拓する向上心がほしい。

2 改善課題

授業の内容や進め方に問題はないと判断できた。基礎力を高める指導を継続させる。

3 改善計画

学生が、自信を持って授業や練習に励む環境を作る。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取り組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしましたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	2	0	0	0	0	0	2	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.31
質問項目 1.									4.93	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.97	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅴ(ピアノ)

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

個々の能力に応じ、適切な選曲、適切な進度で授業が展開できたと思う。能力の差はあっても、すべての学生が授業に対する取り組みや態度は良かったと考える。自分自身で視野を広げ、受け身でなく自ら開拓する向上心がほしい。

2 改善課題

授業の内容や進め方に問題はないと判断できた。基礎力を高める指導を継続させる。

3 改善計画

学生が、自信を持って授業や練習に励む環境を作る。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取り組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	2	0	0	0	0	0	2	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.31
質問項目 1.									4.93	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.45
⑪	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									4.81	4.74

TOTAL									4.87	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅴ(ピアノ)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：4 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

個々の能力に応じ、適切な選曲、適切な進度で授業が展開できたと思う。能力の差はあっても、すべての学生が授業に対する取り組みや態度は良かったと考える。自分自身で視野を広げ、受け身でなく自ら開拓する向上心がほしい。

2 改善課題

授業の内容や進め方に問題はないと判断できた。基礎力を高める指導を継続させる。

3 改善計画

学生が、自信を持って授業や練習に励む環境を作る。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取り組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1~2回欠席	3~4回欠席	5~6回欠席	7回以上欠席				
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									4.86	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.93	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノI

回答者数：4名 / 4名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
授業の内容や進め方において問題ないこと考えるが、ピアノVの学生に一部に欠席が多く、その分指導に手間取る結果となった。学生がこの授業に対する取り組みや態度を再認識するよう指導したい。

2 改善課題
予習復習、事前事後学修の認識は浸透してきていると思うが、授業への取り組み方や時間を守ることに关しての認識がやや薄いようである。積極的に何ごとにも取り組む姿勢を身に着けるよう指導する。

3 改善計画
1週間の課題を具体的に指示し、計画性をもたせる。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	3	0	1	0	0	0	4	4.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.55
③	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.65
④	1	1	2	0	0	0	4	15	3.75	2.60
⑤	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.14
⑥	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.41
⑦	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.31
質問項目 1.									4.64	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.41
⑨	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.39
⑩	3	0	1	0	0	0	4	18	4.50	4.45
⑪	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.62
⑫	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.50
⑬	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.80
⑭	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.75
⑮	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.74
質問項目 2.									4.88	4.74

TOTAL									4.77	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅢ

回答者数：3名 / 4名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

授業の内容や進め方において問題ないこと考えるが、ピアノⅤの学生に一部に欠席が多く、その分指導に手間取る結果となった。学生がこの授業に対する取り組みや態度を再認識するよう指導したい。

2 改善課題

予習復習、事前事後学修の認識は浸透してきていると思うが、授業への取り組み方や時間を守ることに关しての認識がやや薄いようである。積極的に何ごとにも取り組む姿勢を身に着けるよう指導する。

3 改善計画

1週間の課題を具体的に指示し、計画性をもたせる。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取り組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	3	0	0	0	0	3	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	1	0	2	0	0	0	3	11	3.67	2.60
⑤	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.14
⑥	1	2	0	0	0	0	3	13	4.33	4.41
⑦	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.31
質問項目 1.									4.48	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.41
⑨	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.39
⑩	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.45
⑪	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.62
⑫	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.80
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑮	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.74
質問項目 2.									4.75	4.74

TOTAL									4.62	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノV

回答者数：4名 / 5名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

授業の内容や進め方において問題ないこと考えるが、ピアノVの学生に一部に欠席が多く、その分指導に手間取る結果となった。学生がこの授業に対する取り組みや態度を再認識するよう指導したい。

2 改善課題

予習復習、事前事後学修の認識は浸透してきていると思うが、授業への取り組み方や時間を守ることに关しての認識がやや薄いようである。積極的に何ごとにも取り組む姿勢を身に着けるよう指導する。

3 改善計画

1週間の課題を具体的に指示し、計画性をもたせる。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取り組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	0	0	3	0	0	4	2.75	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	2	0	4	12	3.00	4.55
③	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.65
④	2	1	1	0	0	0	4	17	4.25	2.60
⑤	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.14
⑥	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.41
⑦	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.31
質問項目 1.									4.18	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.41
⑨	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.39
⑩	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.45
⑪	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.62
⑫	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.50
⑬	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.80
⑭	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.75
⑮	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.74
質問項目 2.									4.75	4.74

TOTAL									4.48	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：川口みさき

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノ実技 I

回答者数：1 名 / 1 名

単位数：2 単位
開設年次：専 年次

授業形態：実技
学 科：専攻科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
 学生が意欲的に授業に取り組むよう1週間の練習方法を細かく指示している。曲目が実力に合っていたため、良く練習したと考える。後期もこのペースを持続させたい。学生自身にピアノを学ぶ重要性を更に認識させたいと思った。

2 改善課題
 ピアノに良く取り組んだとは言え、曲が仕上がるまでに時間がかかり、多くの曲目に 当たれない。進む速度を向上させることが課題である。

3 改善計画
 個人の能力が向上し、作曲家の意図が理解できるよう指導する。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしましたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	0	0	1		3.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.55
③	0	0	0	0	0	1	0	0	0.00	4.65
④	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									3.29	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74
TOTAL									4.20	4.56

教科担当者： 隈部文 開講期： H29年度 前期

授業科目： ピアノⅠA 回答者数： 6 名 / 6 名

単位数： 1 単位 授業形態： 実技
開設年次： 1 年次 学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年度はピアノのグループをレベル別で分けた。また、学年を2つに分けたので、1グループの人数が前年度よりかなり少なくなり、少人数のアットホームな雰囲気の中で学生との対話も大事にしながらレッスンすることができた。ピアノ経験者グループの担当だったので、課題曲、振り向きながらの演奏、弾き歌い、移調や伴奏アレンジ、歌詞の先読み、演奏しながらの歌詞の先読み、立った姿勢での演奏、演奏中のこどもへの声掛けなど、現場で必要なことを毎回行い、より充実した内容のレッスンが実施できたと思う。

2 改善課題

ピアノ経験者グループではあるが、その中でもさまざまなレベルの学生がおり、ピアノ演奏以外の課題で「自分には難し過ぎた」との声があった

3 改善計画

学生の力を考えながら課題を提示しているが、課題を欲張らず一つのことがきちんとできるようになったら次の課題へ進むようにしたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	4	1	1	0	0	0	6	4.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.55
③	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.65
④	1	2	3	0	0	0	6	22	3.67	2.60
⑤	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.14
⑥	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.41
⑦	2	4	0	0	0	0	6	26	4.33	4.31
質問項目 1.									4.64	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.41
⑨	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.39
⑩	4	1	1	0	0	0	6	27	4.50	4.45
⑪	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.62
⑫	5	0	1	0	0	0	6	28	4.67	4.50
⑬	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.80
⑭	4	2	0	0	0	0	6	28	4.67	4.75
⑮	3	2	1	0	0	0	6	26	4.33	4.74
質問項目 2.									4.69	4.74

TOTAL									4.67	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 隈部 文

開講期： H29年度 前期

授業科目： ピアノIB

回答者数： 5 名 / 5 名

単位数： 1 単位
開設年次： 1 年次

授業形態： 実技
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年度はピアノのグループをレベル別で分けた。また、学年を2つに分けたので、1グループの人数が前年度よりかなり少なくなり、少人数のアットホームな雰囲気の中で学生との対話も大事にしながらレッスンすることができた。ピアノ経験者グループの担当だったので、課題曲、振り向きながらの演奏、弾き歌い、移調や伴奏アレンジ、歌詞の先読み、演奏しながらの歌詞の先読み、立った姿勢での演奏、演奏中のこどもへの声掛けなど、現場に必要なことを毎回行い、より充実した内容のレッスンが実施できたと思う。

2 改善課題

ピアノ経験者グループではあるが、その中でもさまざまなレベルの学生がおり、ピアノ演奏以外の課題で「自分には難し過ぎた」との声があった

3 改善計画

学生の力を考えながら課題を提示しているが、課題を欲張らず一つのことがきちんとできるようになったら次の課題へ進むようにしたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	2	3	0	0	0	0	5	4.40	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	4	0	0	0	1	0	5	21	4.20	4.55
③	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.65
④	2	1	2	0	0	0	5	20	4.00	2.60
⑤	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.14
⑥	3	1	1	0	0	0	5	22	4.40	4.41
⑦	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.31
質問項目 1.									4.46	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.41
⑨	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.39
⑩	3	1	1	0	0	0	5	22	4.40	4.45
⑪	2	3	0	0	0	0	5	22	4.40	4.62
⑫	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.50
⑬	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.80
⑭	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.75
⑮	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.74
質問項目 2.									4.58	4.74

TOTAL									4.52	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 隈部 文

開講期： H29年度 前期

授業科目： ピアノⅢA

回答者数： 7 名 / 7 名

単位数： 1 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 実技
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年度はピアノのグループをレベル別で分けた。また、学年を2つに分けたので、1グループの人数が前年度よりかなり少なくなり、少人数のアットホームな雰囲気の中で学生との対話も大事にしながらレッスンすることができた。ピアノ経験者グループの担当だったので、課題曲、振り向きながらの演奏、弾き歌い、移調や伴奏アレンジ、歌詞の先読み、演奏しながらの歌詞の先読み、立った姿勢での演奏、演奏中のこどもへの声掛けなど、現場で必要なことを毎回行い、より充実した内容のレッスンが実施できたと思う。

2 改善課題

ピアノ経験者グループではあるが、その中でもさまざまなレベルの学生がおり、ピアノ演奏以外の課題で「自分には難し過ぎた」との声があった

3 改善計画

学生の力を考えながら課題を提示しているが、課題を欲張らず一つのがきちんとできるようになったら次の課題へ進むようにしたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	3	1	2	1	0	0	7	3.86	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.55
③	6	0	0	0	1	0	7	31	4.43	4.65
④	2	3	2	0	0	0	7	28	4.00	2.60
⑤	3	3	1	0	0	0	7	30	4.29	4.14
⑥	3	3	1	0	0	0	7	30	4.29	4.41
⑦	3	2	1	1	0	0	7	28	4.00	4.31
質問項目 1.									4.27	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	5	0	0	0	0	7	30	4.29	4.41
⑨	2	5	0	0	0	0	7	30	4.29	4.39
⑩	2	3	1	0	0	1	6	25	4.17	4.45
⑪	3	4	0	0	0	0	7	31	4.43	4.62
⑫	4	2	1	0	0	0	7	31	4.43	4.50
⑬	4	3	0	0	0	0	7	32	4.57	4.80
⑭	4	3	0	0	0	0	7	32	4.57	4.75
⑮	4	3	0	0	0	0	7	32	4.57	4.74
質問項目 2.									4.42	4.74

TOTAL									4.35	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 隈部 文

開講期： H29年度 前期

授業科目： ピアノⅢB

回答者数： 5 名 / 6 名

単位数： 1 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 実技
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年度はピアノのグループをレベル別に分けた。また、学年を2つに分けたので、1グループの人数が前年度よりかなり少なくなり、少人数のアットホームな雰囲気の中で学生との対話も大事にしながらレッスンすることができた。ピアノ経験者グループの担当だったので、課題曲、振り向きながらの演奏、弾き歌い、移調や伴奏アレンジ、歌詞の先読み、演奏しながらの歌詞の先読み、立った姿勢での演奏、演奏中のこどもへの声掛けなど、現場で必要なことを毎回行い、より充実した内容のレッスンが実施できたと思う。

2 改善課題

ピアノ経験者グループではあるが、その中でもさまざまなレベルの学生がおり、ピアノ演奏以外の課題で「自分には難し過ぎた」との声があった

3 改善計画

学生の力を考えながら課題を提示しているが、課題を欲張らず一つのことがきちんとできるようになったら次の課題へ進むようにしたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	3	1	1	0	0	0	5	4.40	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.55
③	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.65
④	2	2	1	0	0	0	5	21	4.20	2.60
⑤	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.14
⑥	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.41
⑦	1	2	1	1	0	0	5	18	3.60	4.31
質問項目 1.									4.54	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.41
⑨	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.39
⑩	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.45
⑪	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.62
⑫	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.50
⑬	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.80
⑭	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.75
⑮	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.74
質問項目 2.									4.85	4.74

TOTAL									4.71	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 隈部 文

開講期： H29年度 前期

授業科目： ピアノVA

回答者数： 7 名 / 7 名

単位数： 1 単位
開設年次： 3 年次

授業形態： 実技
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年度はピアノのグループをレベル別で分けた。また、学年を2つに分けたので、1グループの人数が前年度よりかなり少なくなり、少人数のアットホームな雰囲気の中で学生との対話も大事にしながらレッスンすることができた。ピアノ経験者グループの担当だったので、課題曲、振り向きながらの演奏、弾き歌い、移調や伴奏アレンジ、歌詞の先読み、演奏しながらの歌詞の先読み、立った姿勢での演奏、演奏中のこどもへの声掛けなど、現場で必要なことを毎回行い、より充実した内容のレッスンが実施できたと思う。

2 改善課題

ピアノ経験者グループではあるが、その中でもさまざまなレベルの学生がおり、ピアノ演奏以外の課題で「自分には難し過ぎた」との声があった

3 改善計画

学生の力を考えながら課題を提示しているが、課題を欲張らず一つのことがきちんとできるようになったら次の課題へ進むようにしたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	3	3	0	1	0	0	7	4.14	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	2	0	7	27	3.86	4.55
③	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.65
④	1	1	3	1	1	0	7	21	3.00	2.60
⑤	4	0	3	0	0	0	7	29	4.14	4.14
⑥	4	1	2	0	0	0	7	30	4.29	4.41
⑦	2	3	2	0	0	0	7	28	4.00	4.31
質問項目 1.									4.06	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	0	3	0	0	0	7	29	4.14	4.41
⑨	2	2	3	0	0	0	7	27	3.86	4.39
⑩	3	2	2	0	0	0	7	29	4.14	4.45
⑪	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.62
⑫	5	0	1	1	0	0	7	30	4.29	4.50
⑬	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.80
⑭	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.75
⑮	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.74
質問項目 2.									4.27	4.74

TOTAL									4.17	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 隈部 文

開講期： H29年度 前期

授業科目： ピアノVB

回答者数： 7 名 / 7 名

単位数： 1 単位
開設年次： 3 年次

授業形態： 実技
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年度はピアノのグループをレベル別で分けた。また、学年を2つに分けたので、1グループの人数が前年度よりかなり少なくなり、少人数のアットホームな雰囲気の中で学生との対話も大事にしながらレッスンすることができた。ピアノ経験者グループの担当だったので、課題曲、振り向きながらの演奏、弾き歌い、移調や伴奏アレンジ、歌詞の先読み、演奏しながらの歌詞の先読み、立った姿勢での演奏、演奏中のこどもへの声掛けなど、現場で必要なことを毎回行い、より充実した内容のレッスンが実施できたと思う。

2 改善課題

ピアノ経験者グループではあるが、その中でもさまざまなレベルの学生がおり、ピアノ演奏以外の課題で「自分には難し過ぎた」との声があった

3 改善計画

学生の力を考えながら課題を提示しているが、課題を欲張らず一つのことがきちんとできるようになったら次の課題へ進むようにしたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	4	2	0	1	0	0	7	4.29	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.55
③	6	0	0	0	1	0	7	31	4.43	4.65
④	3	1	2	0	1	0	7	26	3.71	2.60
⑤	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.14
⑥	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.41
⑦	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.31
質問項目 1.									4.57	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.41
⑨	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.39
⑩	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.45
⑪	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.62
⑫	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.50
⑬	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.80
⑭	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.75
⑮	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.74
質問項目 2.									4.86	4.74

TOTAL									4.73	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 隈部 文

開講期： H29年度 前期

授業科目： ピアノⅦA

回答者数： 8 名 / 8 名

単位数： 1 単位
開設年次： 4 年次

授業形態： 実技
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年度はピアノのグループをレベル別で分けた。また、学年を2つに分けたので、1グループの人数が前年度よりかなり少なくなり、少人数のアットホームな雰囲気の中で学生との対話も大事にしながらレッスンすることができた。ピアノ経験者グループの担当だったので、課題曲、振り向きながらの演奏、弾き歌い、移調や伴奏アレンジ、歌詞の先読み、演奏しながらの歌詞の先読み、立った姿勢での演奏、演奏中のこどもへの声掛けなど、現場で必要なことを毎回行い、より充実した内容のレッスンが実施できたと思う。

2 改善課題

ピアノ経験者グループではあるが、その中でもさまざまなレベルの学生がおり、ピアノ演奏以外の課題で「自分には難し過ぎた」との声があった

3 改善計画

学生の力を考えながら課題を提示しているが、課題を欲張らず一つのことがきちんとできるようになったら次の課題へ進むようにしたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取り組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	3	5	0	0	0	0	8	4.38	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	3	0	8	28	3.50	4.55
③	6	0	0	0	1	1	7	31	4.43	4.65
④	1	0	4	2	1	0	8	22	2.75	2.60
⑤	4	3	0	0	1	0	8	33	4.13	4.14
⑥	6	2	0	0	0	0	8	38	4.75	4.41
⑦	2	5	1	0	0	0	8	33	4.13	4.31
質問項目 1.									4.01	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	3	1	0	0	0	8	35	4.38	4.41
⑨	5	2	1	0	0	0	8	36	4.50	4.39
⑩	6	2	0	0	0	0	8	38	4.75	4.45
⑪	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.62
⑫	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.50
⑬	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.80
⑭	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.75
⑮	6	2	0	0	0	0	8	38	4.75	4.74
質問項目 2.									4.78	4.74

TOTAL									4.42	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 隈部 文

開講期： H29年度 前期

授業科目： ピアノⅦB

回答者数： 7 名 / 8 名

単位数： 1 単位
開設年次： 4 年次

授業形態： 実技
学 科： こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

今年度はピアノのグループをレベル別で分けた。また、学年を2つに分けたので、1グループの人数が前年度よりかなり少なくなり、少人数のアットホームな雰囲気の中で学生との対話も大事にしながらレッスンすることができた。ピアノ経験者グループの担当だったので、課題曲、振り向きながらの演奏、弾き歌い、移調や伴奏アレンジ、歌詞の先読み、演奏しながらの歌詞の先読み、立った姿勢での演奏、演奏中のこどもへの声掛けなど、現場で必要なことを毎回行い、より充実した内容のレッスンが実施できたと思う。

2 改善課題

ピアノ経験者グループではあるが、その中でもさまざまなレベルの学生がおり、ピアノ演奏以外の課題で「自分には難し過ぎた」との声があった

3 改善計画

学生の力を考えながら課題を提示しているが、課題を欲張らず一つのことがきちんとできるようになったら次の課題へ進むようにしたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	0	1	5	1	0	0	7		3.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.55
③	6	0	0	0	1	0	7	31	4.43	4.65
④	2	0	5	0	0	0	7	25	3.57	2.60
⑤	3	1	3	0	0	0	7	28	4.00	4.14
⑥	4	2	1	0	0	0	7	31	4.43	4.41
⑦	4	2	1	0	0	0	7	31	4.43	4.31
質問項目 1.									4.12	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	6	0	1	0	0	0	7	33	4.71	4.41
⑨	6	0	1	0	0	0	7	33	4.71	4.39
⑩	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.45
⑪	6	0	1	0	0	0	7	33	4.71	4.62
⑫	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.50
⑬	6	0	1	0	0	0	7	33	4.71	4.80
⑭	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.75
⑮	5	1	1	0	0	0	7	32	4.57	4.74
質問項目 2.									4.75	4.74

TOTAL									4.46	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：石岡ひろみ

開講期：H29年度 前期

授業科目：体育実技ⅠA

回答者数：19名 / 23名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

担当して初めて、音楽学科のみの体育実技として実施。取り組みが大変真面目で前向きであった。音楽学科の体育として、体全体ほぐしと体力の維持に力を入れることができた。

2 改善課題

今回より、レッスン扱いとなったため、体育実技にも音楽的興味や関心、視野の広がりを入れるべき。体育実技の事前事後学修のあり様を如何に伝えるか。

3 改善計画

体育実技をレッスンとして行うにあたり、音楽的な要素をどのように入れていくべきか、音楽専門教員に学びつつ改善していく。体育実技の事前事後学修は自己の健康管理と身体活動を伴う前向きな学生生活であることを明確に伝える。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	10	4	3	1	1	0	19	4.11	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	18	0	0	0	1	0	19	91	4.79	4.55
③	19	0	0	0	0	0	19	95	5.00	4.65
④	4	0	0	3	12	0	19	38	2.00	2.60
⑤	10	1	2	0	6	0	19	66	3.47	4.14
⑥	13	5	1	0	0	0	19	88	4.63	4.41
⑦	14	3	2	0	0	0	19	88	4.63	4.31
質問項目 1.									4.09	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	12	2	5	0	0	0	19	83	4.37	4.41
⑨	11	2	6	0	0	0	19	81	4.26	4.39
⑩	13	4	2	0	0	0	19	87	4.58	4.45
⑪	16	3	0	0	0	0	19	92	4.84	4.62
⑫	14	3	2	0	0	0	19	88	4.63	4.50
⑬	13	4	2	0	0	0	19	87	4.58	4.80
⑭	9	8	1	0	1	0	19	81	4.26	4.75
⑮	11	8	0	0	0	0	19	87	4.58	4.74
質問項目 2.									4.51	4.74

TOTAL									4.32	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：石岡ひろみ

開講期：H29年度 前期

授業科目：体育実技ⅠB

回答者数：31名 / 32名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

こども学科の体育実技。音楽学科と違い、騒々しく高校までの体育の授業(バスケットボール、サッカー等)を切望する学生もあり、思いの差を埋めつつ行う実技は困難を極めることもあった。今回、学科毎に実施することが分かっていなかったため大きくシラバスを変えることはしなかったが、今後も学科毎に実施するであれば、こども学科用のレッスン計画が必要であると感じている。

2 改善課題

こども学科としての体育実技、レッスンは如何なるものか。それを如何伝え、実践するか。体育実技の事前事後学修のあり様を如何に伝えるか。

3 改善計画

こども学科としての体育実技内容を考え、音楽的な要素も取り入れながらレッスン計画を立てる。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	12	15	2	2	0	0	31	4.19	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	30	0	0	0	1	0	31	151	4.87	4.55
③	31	0	0	0	0	0	31	155	5.00	4.65
④	0	0	0	3	26	2	29	32	1.10	2.60
⑤	12	4	10	3	2	0	31	114	3.68	4.14
⑥	18	9	3	1	0	0	31	137	4.42	4.41
⑦	17	9	4	0	1	0	31	134	4.32	4.31
質問項目 1.									3.94	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	13	9	7	1	1	0	31	125	4.03	4.41
⑨	13	8	8	1	1	0	31	124	4.00	4.39
⑩	15	9	6	0	1	0	31	130	4.19	4.45
⑪	20	7	3	0	1	0	31	138	4.45	4.62
⑫	18	7	5	0	1	0	31	134	4.32	4.50
⑬	14	9	6	1	1	0	31	127	4.10	4.80
⑭	19	7	4	0	1	0	31	136	4.39	4.75
⑮	18	8	3	0	2	0	31	133	4.29	4.74
質問項目 2.									4.22	4.74

TOTAL									4.09	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：友永 和恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅠA

回答者数：5名 / 5名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

授業改善でカリキュラムと内容が多少変更された。大筋は同じだが90分に1年生は5人、2年生は5～6人と個人レッスンの時間が増した。特に1年生は質疑応答の時間が取れ、不足分は学生が積極的にオフィスアワーを希望するようになった。2年生は実習に備えて具体的指導を工夫したい。

2 改善課題

ピアノが全くの初心者も入学してくる。苦手意識を払拭すること、個々の学生にとって童謡曲の研究目的・目標を明確にする。学生の中にある可能性を探り、十分にコミュニケーションを取り、学生が自発的・意欲的に取り組んで行けるように関わって行きたい。

3 改善計画

1年生は後期に入り聴く耳が育っている。童謡曲の素晴らしさを感知し、自らが演奏し表現する。そして保育活動に活かす為の習得にも意欲的に取り組んで行けるように、教材・レッスン内容・コミュニケーションなど総合的な環境づくりを更に検討したい。2年生も同じである。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	2	2	1	0	0	0	5	4.20	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.55
③	4	0	0	0	1	0	5	21	4.20	4.65
④	2	2	0	1	0	0	5	20	4.00	2.60
⑤	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.14
⑥	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.41
⑦	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.31
質問項目 1.									4.60	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.41
⑨	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.39
⑩	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.45
⑪	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.62
⑫	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.50
⑬	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.80
⑭	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.75
⑮	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.74
質問項目 2.									4.88	4.74

TOTAL									4.75	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：友永 和恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノIB

回答者数：5名 / 5名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

授業改善でカリキュラムと内容が多少変更された。大筋は同じだが90分に1年生は5人、2年生は5～6人と個人レッスンの時間が増した。特に1年生は質疑応答の時間が取れ、不足分は学生が積極的にオフィスアワーを希望するようになった。2年生は実習に備えて具体的指導を工夫したい。

2 改善課題

ピアノが全くの初心者も入学してくる。苦手意識を払拭すること、個々の学生にとって童謡曲の研究目的・目標を明確にする。学生の中にある可能性を探り、十分にコミュニケーションを取り、学生が自発的・意欲的に取り組んで行けるように関わって行きたい。

3 改善計画

1年生は後期に入り聴く耳が育っている。童謡曲の素晴らしさを感知し、自らが演奏し表現する。そして保育活動に活かす為の習得にも意欲的に取り組んで行けるように、教材・レッスン内容・コミュニケーションなど総合的な環境づくりを更に検討したい。2年生も同じである。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	4	0	0	1	0	0	5	4.40	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.55
③	4	0	0	0	1	0	5	21	4.20	4.65
④	0	2	3	0	0	0	5	17	3.40	2.60
⑤	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.14
⑥	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.41
⑦	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.31
質問項目 1.									4.57	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.41
⑨	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.39
⑩	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.45
⑪	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.62
⑫	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.50
⑬	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.80
⑭	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.75
⑮	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.74
質問項目 2.									4.93	4.74

TOTAL									4.76	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：友永 和恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅢA

回答者数：6名 / 6名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

授業改善でカリキュラムと内容が多少変更された。大筋は同じだが90分に1年生は5人、2年生は5～6人と個人レッスンの時間が増した。特に1年生は質疑応答の時間が取れ、不足分は学生が積極的にオフィスアワーを希望するようになった。2年生は実習に備えて具体的指導を工夫したい。

2 改善課題

ピアノが全くの初心者も入学してくる。苦手意識を払拭すること、個々の学生にとって童謡曲の研究目的・目標を明確にする。学生の中にある可能性を探り、十分にコミュニケーションを取り、学生が自発的・意欲的に取り組んで行けるように関わって行きたい。

3 改善計画

1年生は後期に入り聴く耳が育っている。童謡曲の素晴らしさを感じし、自らが演奏し表現する。そして保育活動に活かす為の習得にも意欲的に取り組んで行けるように、教材・レッスン内容・コミュニケーションなど総合的な環境づくりを更に検討したい。2年生も同じである。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	2	1	2	1	0	0	6		3.67	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	1	0	6	26	4.33	4.55
③	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.65
④	1	2	3	0	0	0	6	22	3.67	2.60
⑤	2	3	1	0	0	0	6	25	4.17	4.14
⑥	2	2	2	0	0	0	6	24	4.00	4.41
⑦	1	4	1	0	0	0	6	24	4.00	4.31
質問項目 1.									4.12	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	3	1	0	0	0	6	25	4.17	4.41
⑨	2	3	1	0	0	0	6	25	4.17	4.39
⑩	2	2	2	0	0	0	6	24	4.00	4.45
⑪	4	1	1	0	0	0	6	27	4.50	4.62
⑫	4	1	1	0	0	0	6	27	4.50	4.50
⑬	4	1	1	0	0	0	6	27	4.50	4.80
⑭	2	2	2	0	0	0	6	24	4.00	4.75
⑮	1	4	1	0	0	0	6	24	4.00	4.74
質問項目 2.									4.23	4.74
TOTAL									4.18	4.56

教科担当者：友永 和恵

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅢB

回答者数：3 名 / 4 名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

授業改善でカリキュラムと内容が多少変更された。大筋は同じだが90分に1年生は5人、2年生は5～6人と個人レッスンの時間が増した。特に1年生は質疑応答の時間が取れ、不足分は学生が積極的にオフィスアワーを希望するようになった。2年生は実習に備えて具体的指導を工夫したい。

2 改善課題

ピアノが全くの初心者も入学してくる。苦手意識を払拭すること、個々の学生にとって童謡曲の研究目的・目標を明確にする。学生の中にある可能性を探り、十分にコミュニケーションを取り、学生が自発的・意欲的に取り組んで行けるように関わって行きたい。

3 改善計画

1年生は後期に入り聴く耳が育っている。童謡曲の素晴らしさを感じし、自らが演奏し表現する。そして保育活動に活かす為の習得にも意欲的に取り組んで行けるように、教材・レッスン内容・コミュニケーションなど総合的な環境づくりを更に検討したい。2年生も同じである。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	3	0	0	0	0	3	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	2	0	3	7	2.33	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	1	1	1	0	0	0	3	12	4.00	2.60
⑤	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.14
⑥	1	2	0	0	0	0	3	13	4.33	4.41
⑦	0	1	2	0	0	0	3	10	3.33	4.31
質問項目 1.									3.95	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.41
⑨	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.39
⑩	1	2	0	0	0	0	3	13	4.33	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.50
⑬	1	2	0	0	0	0	3	13	4.33	4.80
⑭	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.75
⑮	1	2	0	0	0	0	3	13	4.33	4.74
質問項目 2.									4.58	4.74

TOTAL									4.29	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 眞鍋 協子

開講期： H29年度 前期

授業科目： 器楽実技研究Ⅰ(ピアノ)

回答者数： 1 名 / 1 名

単位数： 2 単位

授業形態： 個人指導

開設年次： 1 年次

学科： 音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

今年度の1年生はピアノ実技に対して自分の中で高い目標を持っており、事前・事後学修も自主的にこなしていた。前期実技試験用の課題曲を中心に運んだが、やや技術の追求という面で少し指導が甘かったかもしれないと感じる。将来を見据えて、徹底した技術・表現についての指導を後期からはしたいと思う。

2 改善課題

技術的な偏りを修正していくこと。表現面での成長をいかに支えるか。

3 改善計画

今後古典派のソナタ、バロック・ロマン派・演奏会用練習曲・近現代期の作品、を経て公開演奏へとすすむが、その時々きちんと技術的な欠点の克服、音楽的な思考力をつけていく指導をしていきたいと思う。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									4.86	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.74
質問項目 2.									4.88	4.74

TOTAL									4.87	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：眞鍋 協子

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅲ(ピアノ)

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

主科生の前期課題曲である「平均律ピアノ曲集」は、暗譜があまり得意ではない学生にはハードルが高い。暗譜への対策第一でレッスンを運んだことで試験はクリアしたが、内容的にはやや乏しい面があったかもしれない。また学生によっては、試験曲だけにかかりきりで、基礎を作るための練習曲を並行して勉強させることが困難な状況もあった。

2 改善課題

事前・事後学修の徹底。

3 改善計画

基礎能力を4年間で少しでも付けさせたいが、実技に対する意識がやや薄い学生もいる。学生と向き合い、視点を変えながら学生の自主性を引き出したい。「練習ノート」を徹底させ、事前・事後学修への指導を重視したい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数
①	1	0	0	1	0	0	2

教科平均	全体平均
3.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	1	1	5	5.00	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									4.79	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.90	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：眞鍋 協子

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅴ(ピアノ)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

アンケート結果から、学生の自己評価が低いということを感じた。レッスンごとに指摘する問題点を自分なりに改善してきていたので、もっと高くてもいいのではないかと思う。指示通り学生は試験課題曲以外にも練習曲を毎回準備してきており、意識を3年次まで高く維持させることが出来たことは良かったと感じる。

2 改善課題

演奏のための技術力・表現力の向上。

3 改善計画

練習ノートの提出を徹底させる(練習内容の具体化)、学外の指導法講座や子供のコンクールなどにも興味を持たせるよう、将来的な展望に立った指導・助言を心掛ける。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									4.71	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.87	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：眞鍋 協子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノI

回答者数：8名 / 10名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

一人一人が前期実技試験に向けて熱心に取り組んだ。入学前までの音楽経験には個人差があり、学生の特徴、思考回路を掴むためには時間が必要だと感じた。おそらく学生もこちらに対して同じように考えていたと思う。素直な性格の学生たちはこちらの注意を全面的に受け入れるので、独創性、応用力などはこれからついてくると感じている。

2 改善課題

音楽経験の浅い学生への言葉かけ、彼らの興味・関心を呼び起こすこと。

3 改善計画

学生の音楽基礎力を上げるため、「弾く」だけではなく「歌う・書く」ことを臨機応変に取り入れるなど、総合的な音楽指導を試みたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	3	1	2	1	1	0	8	3.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	7	0	0	0	1	0	8	36	4.50	4.55
③	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.65
④	5	2	1	0	0	0	8	36	4.50	2.60
⑤	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.14
⑥	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.41
⑦	4	3	1	0	0	0	8	35	4.38	4.31
質問項目 1.									4.54	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッスンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッスンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	6	1	1	0	0	0	8	37	4.63	4.41
⑨	6	1	1	0	0	0	8	37	4.63	4.39
⑩	6	1	1	0	0	0	8	37	4.63	4.45
⑪	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.62
⑫	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.50
⑬	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.80
⑭	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.75
⑮	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.74
質問項目 2.									4.85	4.74

TOTAL									4.70	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 眞鍋 協子

開講期： H29年度 前期

授業科目： ピアノⅢ

回答者数： 3 名 / 4 名

単位数： 1 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 実技
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
基礎力のレベルに大きな差が見られるが、いずれもピアノⅢが必修科目であることを意識しているのか試験対策は万全だった。だが欠席が目立つ学生もあり、日々の練習にいかに関動的に取り組ませるかが今後の課題の一つかと思う。

2 改善課題
欠席が多い学生に対するフォロー、励ましが必要である。

3 改善計画
学生の興味・関心を引き出すようなレッスンを行う必要があると強く感じる。分かりやすい言葉かけで、ピアノ演奏の基礎基盤を指導していきたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	0	1	1	0	0	3	3.33	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	1	0	3	11	3.67	4.55
③	2	0	0	0	1	0	3	11	3.67	4.65
④	0	1	0	2	0	0	3	8	2.67	2.60
⑤	1	2	0	0	0	0	3	13	4.33	4.14
⑥	1	1	1	0	0	0	3	12	4.00	4.41
⑦	1	1	1	0	0	0	3	12	4.00	4.31
質問項目 1.									3.67	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.41
⑨	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.39
⑩	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.80
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.74
質問項目 2.									4.88	4.74

TOTAL									4.31	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 眞鍋 協子

開講期： H29年度 前期

授業科目： ピアノV

回答者数： 2 名 / 3 名

単位数： 1 単位
開設年次： 3 年次

授業形態： 実技
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）	
1 自己評価	基礎力のレベルが様々な学生たちだが、それぞれの到達目標を見極め、指導に励んだ。学外のコンクールを目指す者、教職課程の実習に焦点を置いている者など様々である。レッスン内容は臨機応変にし、課題曲の達成度が一定のレベルに達したら教職の課題曲をレッスンする週も作ったり、工夫を重ねた。学生の履修指導も含め、外の教科とも連携を取りながら総合的な力をつけなければならないと感じた。
2 改善課題	学修経験が少ない学生に関しては、基礎力の向上。
3 改善計画	教職課程にピアノ(伴奏)は直接関わってくるので、学生の事前・事後学修を徹底させる。オフィスアワーを利用し、補習を行う。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	1	0	0	0	0	2	4.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	1	0	2	6	3.00	4.55
③	0	0	0	0	2	0	2	2	1.00	4.65
④	0	1	0	1	0	0	2	6	3.00	2.60
⑤	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.31
質問項目 1.									3.64	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.41
⑨	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.39
⑩	0	1	1	0	0	0	2	7	3.50	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									4.69	4.74

TOTAL									4.20	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 眞鍋 協子

開講期： H29年度 前期

授業科目： ピアノⅦ

回答者数： 2 名 / 2 名

単位数： 1 単位
開設年次： 4 年次

授業形態： 実技
学科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
この学生たちを指導し始めて4年目となるが、年を経るごとに音楽的な思考能力が上がってきたように感じる。作曲家の背景、楽曲の成り立ち、構造などを楽譜に記し自己研鑽を怠らない姿勢は立派だと思う。技術のみならず、音楽との関わり方がさすがに4年生だと感じる事が多くあった。ときに要求が厳しすぎたかもしれないと思うが、後期も気を引き締めて臨みたいと思う。

2 改善課題
基礎力の足りない部分を改善させたい。

3 改善計画
後期の公開試験に向けて演奏力を高めるため、毎週の事前・事後学修を徹底させたい。また基礎である音階は全調暗譜で弾けるよう、毎週課題を与える。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	2	0	0	0	0	0	2	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.31
質問項目 1.									4.86	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッスンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッスンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.74
質問項目 2.									4.88	4.74

TOTAL									4.87	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：村橋 和子

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽I

回答者数：31名 / 32名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）	
1 自己評価	必修科目でもあるため、遅刻、欠席については学生自身も注意していると思うが、数を見ると欠席者が多いと感じた。目標達成、理解などはできたが、事前・事後学修が全くとできていなかった。歌はできるだけ日頃歌う事、声を出すことをするように指導したが、ほとんどやっていないことには深く反省している。指導のしかたが悪かったのだと考える。
2 改善課題	①事前・事後学修の時間の増加 ②歌いたくなる環境を作る
3 改善計画	① について：課題曲の暗譜を毎週行い、数人を前に出し暗譜できているか確認する。 ②について：テキストの曲だけでなく、学生のリクエストで好きな曲を歌唱する。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	20	7	3	1	0	0	31	4.48	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	31	0	0	0	0	0	31	155	5.00	4.55
③	31	0	0	0	0	0	31	155	5.00	4.65
④	2	2	3	15	9	0	31	66	2.13	2.60
⑤	24	5	2	0	0	0	31	146	4.71	4.14
⑥	25	5	1	0	0	0	31	148	4.77	4.41
⑦	27	1	3	0	0	0	31	148	4.77	4.31
質問項目 1.									4.41	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	26	5	0	0	0	0	31	150	4.84	4.41
⑨	28	2	1	0	0	0	31	151	4.87	4.39
⑩	26	3	2	0	0	0	31	148	4.77	4.45
⑪	28	2	1	0	0	0	31	151	4.87	4.62
⑫	29	0	2	0	0	0	31	151	4.87	4.50
⑬	29	0	2	0	0	0	31	151	4.87	4.80
⑭	28	2	1	0	0	0	31	151	4.87	4.75
⑮	29	0	2	0	0	0	31	151	4.87	4.74
質問項目 2.									4.85	4.74
TOTAL									4.65	4.56

教科担当者：大石 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅠA

回答者数：5 名 / 5 名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ピアノ経験度によるクラス分けをしても実力差・意識レベルの差が大きい中、個人に合わせた対応を心がけ、かつ学生の公平感を損なわないよう気をつけた。練習内容や方法に個人差が出ることを受け止められるような声かけができたと思う。練習方法については、その課題に対して即技術向上が見込めるやり方を瞬時に見極めアドバイスした。

2 改善課題

事前学修・事後学修が不十分だと答えているにも関わらず、実習判定では徹底的に練習を積んで合格している学生が多いということは、授業の事後学修はできたからだと思う。学生の文章の読み取り力、自己表現力の低さに問題がある。音楽的表現に対する意識にも差がある。

3 改善計画

折に触れ、事前学修・事後学修の大切さと意義、要領を話し、意識づけする。事後学修は次の課題の事前学修にも繋がることに気づかせる。伝達事項は事務的、行事等の内容、音楽的全てにおいて、分かり易い言葉で、短く的確に、伝わるように丁寧に伝える。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	5	0	0	0	0	0	5	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.55
③	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.65
④	2	0	3	0	0	0	5	19	3.80	2.60
⑤	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.14
⑥	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.41
⑦	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.31
質問項目 1.									4.80	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.41
⑨	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.39
⑩	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.45
⑪	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.62
⑫	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.50
⑬	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.80
⑭	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.75
⑮	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.91	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：大石 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノIB

回答者数：5名 / 5名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ピアノ経験度によるクラス分けをしても実力差・意識レベルの差が大きい中、個人に合わせた対応を心がけ、かつ学生の公平感を損なわないよう気をつけた。練習内容や方法に個人差が出ることを受け止められるような声かけができたと思う。練習方法については、その課題に対して即技術向上が見込めるやり方を瞬時に見極めアドバイスした。

2 改善課題

事前学修・事後学修が不十分だと答えているにも関わらず、実習判定では徹底的に練習を積んで合格している学生が多いということは、授業の事後学修はできたからだと思う。学生の文章の読み取り力、自己表現力の低さに問題がある。音楽的表現に対する意識にも差がある。

3 改善計画

折に触れ、事前学修・事後学修の大切さと意義、要領を話し、意識づけする。事後学修は次の課題の事前学修にも繋がることに気づかせる。伝達事項は事務的、行事等の内容、音楽的全てにおいて、分かり易い言葉で、短く的確に、伝わるように丁寧に伝える。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	2	1	1	0	0	5	3.60	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	4	0	0	0	1	0	5	21	4.20	4.55
③	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.65
④	1	0	2	2	0	0	5	15	3.00	2.60
⑤	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.14
⑥	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.41
⑦	3	1	1	0	0	0	5	22	4.40	4.31
質問項目 1.									4.23	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.41
⑨	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.39
⑩	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.45
⑪	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.62
⑫	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.50
⑬	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.80
⑭	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.75
⑮	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.74
質問項目 2.									4.68	4.74

TOTAL									4.47	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：大石 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅢA

回答者数：7名 / 7名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ピアノ経験度によるクラス分けをしても実力差・意識レベルの差が大きい中、個人に合わせた対応を心がけ、かつ学生の公平感を損なわないよう気をつけた。練習内容や方法に個人差が出ることを受け止められるような声かけができたと思う。練習方法については、その課題に対して即技術向上が見込めるやり方を瞬時に見極めアドバイスした。

2 改善課題

事前学修・事後学修が不十分だと答えているにも関わらず、実習判定では徹底的に練習を積んで合格している学生が多いということは、授業の事後学修はできたからだと思う。学生の文章の読み取り力、自己表現力の低さに問題がある。音楽的表現に対する意識にも差がある。

3 改善計画

折に触れ、事前学修・事後学修の大切さと意義、要領を話し、意識づけする。事後学修は次の課題の事前学修にも繋がることに気づかせる。伝達事項は事務的、行事等の内容、音楽的全てにおいて、分かり易い言葉で、短く的確に、伝わるように丁寧に伝える。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取り組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	4	2	0	1	0	0	7	4.29	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	4	0	7	19	2.71	4.55
③	5	0	0	0	1	1	6	26	4.33	4.65
④	2	2	2	0	0	1	6	24	4.00	2.60
⑤	4	1	2	0	0	0	7	30	4.29	4.14
⑥	4	1	2	0	0	0	7	30	4.29	4.41
⑦	1	4	2	0	0	0	7	27	3.86	4.31
質問項目 1.									3.97	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	3	1	0	0	0	7	30	4.29	4.41
⑨	5	1	1	0	0	0	7	32	4.57	4.39
⑩	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.45
⑪	5	1	1	0	0	0	7	32	4.57	4.62
⑫	6	0	1	0	0	0	7	33	4.71	4.50
⑬	4	2	1	0	0	0	7	31	4.43	4.80
⑭	6	0	1	0	0	0	7	33	4.71	4.75
⑮	5	1	1	0	0	0	7	32	4.57	4.74
質問項目 2.									4.54	4.74

TOTAL									4.27	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：大石 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅢB

回答者数：7 名 / 7 名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ピアノ経験度によるクラス分けをしても実力差・意識レベルの差が大きい中、個人に合わせた対応を心がけ、かつ学生の公平感を損なわないよう気をつけた。練習内容や方法に個人差が出ることを受け止められるような声かけができたと思う。練習方法については、その課題に対して即技術向上が見込めるやり方を瞬時に見極めアドバイスした。

2 改善課題

事前学修・事後学修が不十分だと答えているにも関わらず、実習判定では徹底的に練習を積んで合格している学生が多いということは、授業の事後学修はできたからだと思う。学生の文章の読み取り力、自己表現力の低さに問題がある。音楽的表現に対する意識にも差がある。

3 改善計画

折に触れ、事前学修・事後学修の大切さと意義、要領を話し、意識づけする。事後学修は次の課題の事前学修にも繋がることに気づかせる。伝達事項は事務的、行事等の内容、音楽的全てにおいて、分かり易い言葉で、短く的確に、伝わるように丁寧に伝える。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	2	5	0	0	0	0	7		4.29	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	2	0	7	27	3.86	4.55
③	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.65
④	6	0	1	0	0	0	7	33	4.71	2.60
⑤	2	5	0	0	0	0	7	30	4.29	4.14
⑥	4	3	0	0	0	0	7	32	4.57	4.41
⑦	3	4	0	0	0	0	7	31	4.43	4.31
質問項目 1.									4.45	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	2	0	0	0	0	7	33	4.71	4.41
⑨	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.39
⑩	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.45
⑪	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.62
⑫	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.50
⑬	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.80
⑭	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.75
⑮	5	2	0	0	0	0	7	33	4.71	4.74
質問項目 2.									4.82	4.74
TOTAL									4.65	4.56

教科担当者：大石 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノVA

回答者数：7名 / 7名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：実技
学科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ピアノ経験度によるクラス分けをしても実力差・意識レベルの差が大きい中、個人に合わせた対応を心がけ、かつ学生の公平感を損なわないよう気をつけた。練習内容や方法に個人差が出ることを受け止められるような声かけができたと思う。練習方法については、その課題に対して即技術向上が見込めるやり方を瞬時に見極めアドバイスした。

2 改善課題

事前学修・事後学修が不十分だと答えているにも関わらず、実習判定では徹底的に練習を積んで合格している学生が多いということは、授業の事後学修はできたからだと思う。学生の文章の読み取り力、自己表現力の低さに問題がある。音楽的表現に対する意識にも差がある。

3 改善計画

折に触れ、事前学修・事後学修の大切さと意義、要領を話し、意識づけする。事後学修は次の課題の事前学修にも繋がることに気づかせる。伝達事項は事務的、行事等の内容、音楽的全てにおいて、分かり易い言葉で、短く的確に、伝わるように丁寧に伝える。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	4	2	0	0	0	1	6	4.67	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.55
③	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.65
④	3	1	1	0	1	1	6	23	3.83	2.60
⑤	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.14
⑥	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.41
⑦	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.31
質問項目 1.									4.54	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.41
⑨	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.39
⑩	4	1	2	0	0	0	7	30	4.29	4.45
⑪	4	1	2	0	0	0	7	30	4.29	4.62
⑫	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.50
⑬	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.80
⑭	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.75
⑮	5	0	2	0	0	0	7	31	4.43	4.74
質問項目 2.									4.40	4.74

TOTAL									4.46	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：大石 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノVB

回答者数：5名 / 7名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：実技
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ピアノ経験度によるクラス分けをしても実力差・意識レベルの差が大きい中、個人に合わせた対応を心がけ、かつ学生の公平感を損なわないよう気をつけた。練習内容や方法に個人差が出ることを受け止められるような声かけができたと思う。練習方法については、その課題に対して即技術向上が見込めるやり方を瞬時に見極めアドバイスした。

2 改善課題

事前学修・事後学修が不十分だと答えているにも関わらず、実習判定では徹底的に練習を積んで合格している学生が多いということは、授業の事後学修はできたからだと思う。学生の文章の読み取り力、自己表現力の低さに問題がある。音楽的表現に対する意識にも差がある。

3 改善計画

折に触れ、事前学修・事後学修の大切さと意義、要領を話し、意識づけする。事後学修は次の課題の事前学修にも繋がることに気づかせる。伝達事項は事務的、行事等の内容、音楽的全てにおいて、分かり易い言葉で、短く的確に、伝わるように丁寧に伝える。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	2	2	1	0	0	0	5	4.20	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.55
③	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.65
④	0	3	2	0	0	0	5	18	3.60	2.60
⑤	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.14
⑥	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.41
⑦	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.31
質問項目 1.									4.60	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.41
⑨	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.39
⑩	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.45
⑪	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.62
⑫	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.50
⑬	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.80
⑭	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.75
⑮	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.74
質問項目 2.									4.80	4.74

TOTAL									4.71	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：大石 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅦA

回答者数：6 名 / 7 名

単位数：1 単位
開設年次：4 年次

授業形態：実技
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ピアノ経験度によるクラス分けをしても実力差・意識レベルの差が大きい中、個人に合わせた対応を心がけ、かつ学生の公平感を損なわないよう気をつけた。練習内容や方法に個人差が出ることを受け止められるような声かけができたと思う。練習方法については、その課題に対して即技術向上が見込めるやり方を瞬時に見極めアドバイスした。

2 改善課題

事前学修・事後学修が不十分だと答えているにも関わらず、実習判定では徹底的に練習を積んで合格している学生が多いということは、授業の事後学修はできたからだと思う。学生の文章の読み取り力、自己表現力の低さに問題がある。音楽的表現に対する意識にも差がある。

3 改善計画

折に触れ、事前学修・事後学修の大切さと意義、要領を話し、意識づけする。事後学修は次の課題の事前学修にも繋がることに気づかせる。伝達事項は事務的、行事等の内容、音楽的全てにおいて、分かり易い言葉で、短く的確に、伝わるように丁寧に伝える。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	0	5	0	0	0	6	3.33	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	1	0	6	26	4.33	4.55
③	5	0	0	0	1	0	6	26	4.33	4.65
④	2	2	1	1	0	0	6	23	3.83	2.60
⑤	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.14
⑥	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.41
⑦	4	2	0	0	0	0	6	28	4.67	4.31
質問項目 1.									4.31	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.41
⑨	5	0	1	0	0	0	6	28	4.67	4.39
⑩	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.45
⑪	5	0	1	0	0	0	6	28	4.67	4.62
⑫	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.50
⑬	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.80
⑭	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.75
⑮	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.74
質問項目 2.									4.81	4.74

TOTAL									4.58	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：大石 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅦB

回答者数：8名 / 8名

単位数：1 単位
開設年次：4 年次

授業形態：実技
学科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ピアノ経験度によるクラス分けをしても実力差・意識レベルの差が大きい中、個人に合わせた対応を心がけ、かつ学生の公平感を損なわないよう気をつけた。練習内容や方法に個人差が出ることを受け止められるような声かけができたと思う。練習方法については、その課題に対して即技術向上が見込めるやり方を瞬時に見極めアドバイスした。

2 改善課題

事前学修・事後学修が不十分だと答えているにも関わらず、実習判定では徹底的に練習を積んで合格している学生が多いということは、授業の事後学修はできたからだと思う。学生の文章の読み取り力、自己表現力の低さに問題がある。音楽的表現に対する意識にも差がある。

3 改善計画

折に触れ、事前学修・事後学修の大切さと意義、要領を話し、意識づけする。事後学修は次の課題の事前学修にも繋がることに気づかせる。伝達事項は事務的、行事等の内容、音楽的全てにおいて、分かり易い言葉で、短く的確に、伝わるように丁寧に伝える。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	8	0	0	0	8	3.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	5	0	8	20	2.50	4.55
③	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.65
④	1	2	2	1	2	0	8	23	2.88	2.60
⑤	4	3	1	0	0	0	8	35	4.38	4.14
⑥	4	4	0	0	0	0	8	36	4.50	4.41
⑦	3	5	0	0	0	0	8	35	4.38	4.31
質問項目 1.									3.81	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.41
⑨	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.39
⑩	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.45
⑪	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.62
⑫	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.50
⑬	8	0	0	0	0	0	8	40	5.00	4.80
⑭	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.75
⑮	7	1	0	0	0	0	8	39	4.88	4.74
質問項目 2.									4.94	4.74
TOTAL									4.41	4.56

教科担当者： 柏尾 剛徳

開講期： H29年度 前期

授業科目： 器楽実技研究Ⅲ(管弦打)

回答者数： 3 名 / 3 名

単位数： 2 単位
開設年次： 2 年次

授業形態： 個人指導
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

前期に著名な外国人トロンボーン奏者のレッスンを受けさせることができ、大変充実した内容であったため、自分自身も含めかなり刺激となり、その後のレッスンに良い影響を及ぼした。常日頃からマンネリ化しないように努力をしているつもりなので、これからは研究を怠らず、より良い方法を見出していけるように日々精進したい。

2 改善課題

今まで以上にさらに踏み込んだ内容とし、個々に合った指導をすることは当然として、それぞれをどう伸ばすかという点を特に改善していく。

3 改善計画

レッスン内容の充実に伴い、スピード感をもって個々に対応していくこと。教える側もあらゆる面でスピード感を持ち、早く上達していくように綿密な計画を立て、実行していく。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席					
①	3	0	0	0	0	0	3		5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	2.60
⑤	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.14
⑥	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑦	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.31
質問項目 1.									4.95	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑨	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.39
⑩	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.80
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑮	2	1	0	0	0	0	3	14	4.67	4.74
質問項目 2.									4.96	4.74

TOTAL									4.96	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 柏尾 剛徳

開講期： H29年度 前期

授業科目： 器楽実技研究Ⅴ(管弦打)

回答者数： 1 名 / 1 名

単位数： 2 単位

授業形態： 個人指導

開設年次： 3 年次

学科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

前期に著名な外国人トロンボーン奏者のレッスンを受けさせることができ、大変充実した内容であったため、自分自身も含めかなり刺激となり、その後のレッスンに良い影響を及ぼした。常日頃からマンネリ化しないように努力をしているつもりなので、これからも研究を怠らず、より良い方法を見出していけるように日々精進したい。

2 改善課題

今まで以上にさらに踏み込んだ内容とし、個々に合った指導をすることは当然として、それぞれをどう伸ばすかという点を特に改善していく。

3 改善計画

レッスン内容の充実に伴い、スピード感をもって個々に対応していくこと。教える側もあらゆる面でスピード感を持ち、早く上達していくように綿密な計画を立て、実行していく。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									5.00	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									5.00	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 柏尾 剛徳

開講期： H29年度 前期

授業科目： 器楽実技研究Ⅶ(管弦打)

回答者数： 3 名 / 3 名

単位数： 2 単位
開設年次： 4 年次

授業形態： 個人指導
学 科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

前期に著名な外国人トロンボーン奏者のレッスンを受けさせることができ、大変充実した内容であったため、自分自身も含めかなり刺激となり、その後のレッスンに良い影響を及ぼした。常日頃からマンネリ化しないように努力をしているつもりなので、これからも研究を怠らず、より良い方法を見出していけるように日々精進したい。

2 改善課題

今まで以上にさらに踏み込んだ内容とし、個々に合った指導をすることは当然として、それぞれをどう伸ばすかという点を特に改善していく。

3 改善計画

レッスン内容の充実に伴い、スピード感をもって個々に対応していくこと。教える側もあらゆる面でスピード感を持ち、早く上達していくように綿密な計画を立て、実行していく。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取り組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均 全体平均	
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	2	0	0	1	0	0	3	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.55
③	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
④	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	2.60
⑤	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.14
⑥	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑦	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.31
質問項目 1.									4.86	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.41
⑨	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.39
⑩	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.45
⑪	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.62
⑫	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.50
⑬	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.80
⑭	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑮	3	0	0	0	0	0	3	15	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74
TOTAL									4.93	4.56

教科担当者： 柏尾 剛徳

開講期： H29年度 前期

授業科目： 演奏実技Ⅴ

回答者数： 1 名 / 1 名

単位数： 1 単位

授業形態： 実技

開設年次： 3 年次

学科： 音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

前期に著名な外国人トロンボーン奏者のレッスンを受けさせることができ、大変充実した内容であったため、自分自身も含めかなり刺激となり、その後のレッスンに良い影響を及ぼした。常日頃からマンネリ化しないように努力をしているつもりなので、これからも研究を怠らず、より良い方法を見出していけるように日々精進したい。

2 改善課題

今まで以上にさらに踏み込んだ内容とし、個々に合った指導をすることは当然として、それぞれをどう伸ばすかという点を特に改善していく。

3 改善計画

レッスン内容の充実に伴い、スピード感をもって個々に対応していくこと。教える側もあらゆる面でスピード感を持ち、早く上達していくように綿密な計画を立て、実行していく。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席		
①	1	0	0	0	0	0	1

教科平均	全体平均
5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									4.86	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.93	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者： 柏尾 剛徳

開講期： H29年度 前期

授業科目： 音楽実技研究 I

回答者数： 1 名 / 1 名

単位数： 4 単位
開設年次： 専 年次

授業形態： 個人指導
学 科： 専攻科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

前期に著名な外国人トロンボーン奏者のレッスンを受けさせることができ、大変充実した内容であったため、自分自身も含めかなり刺激となり、その後のレッスンに良い影響を及ぼした。常日頃からマンネリ化しないように努力をしているつもりなので、これからも研究を怠らず、より良い方法を見出していけるように日々精進したい。

2 改善課題

今まで以上にさらに踏み込んだ内容とし、個々に合った指導をすることは当然として、それぞれをどう伸ばすかという点を特に改善していく。

3 改善計画

レッスン内容の充実に伴い、スピード感をもって個々に対応していくこと。教える側もあらゆる面でスピード感を持ち、早く上達していくように綿密な計画を立て、実行していく。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									5.00	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									5.00	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：岩本 貴文

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽Ⅲ

回答者数：7名 / 7名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）	
1 自己評価	副科声楽では、声楽における発声の基礎・習得しておくべき楽曲についての指導に重点を置いている。特に吹奏楽器と発声には多くの共通点があり、発声を正しく身に付けることで楽器奏法にも良い影響が現れるということを念
2 改善課題	前回からの改善が見られたものの、事前・事後学修に費やす時間が少ないように思われる。
3 改善計画	今後は、事前・事後学修の実施の仕方などを細かに指導していく。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	3	2	1	1	0	0	7	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	7	0	0	0	0	0	7	35	5.00	4.55
③	4	0	0	1	1	1	6	23	3.83	4.65
④	0	1	3	2	0	1	6	17	2.83	2.60
⑤	4	3	0	0	0	0	7	32	4.57	4.14
⑥	4	2	1	0	0	0	7	31	4.43	4.41
⑦	2	4	1	0	0	0	7	29	4.14	4.31
質問項目 1.									4.11	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	2	1	0	0	0	7	31	4.43	4.41
⑨	4	2	1	0	0	0	7	31	4.43	4.39
⑩	4	2	1	0	0	0	7	31	4.43	4.45
⑪	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.62
⑫	4	3	0	0	0	0	7	32	4.57	4.50
⑬	3	4	0	0	0	0	7	31	4.43	4.80
⑭	5	2	0	0	0	0	7	33	4.71	4.75
⑮	6	1	0	0	0	0	7	34	4.86	4.74
質問項目 2.									4.59	4.74

TOTAL									4.37	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：春日 信子

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽Ⅰ

回答者数：5名 / 6名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

40年間、副科声楽を担当しているため、学生一人一人の特性（声だけでなく性格等も）も見ることができるようになったと思います。試験で少しでも良い点数が取れるように目標を持たせており、色々な専攻の学生がいる中で、各学生に合わせた指導法を心がけています

2 改善課題

1人11分間という短い決まった時間の中ですが、個人レッスンをしないと伸びないと感じている。その為、約3人ずつ同時にレッスン室に入りお互いに聴き合いますが、一人ひとり声が違うのでなかなか難しいと感じています。呼吸を伴った発声、コンコーネやトスティのメソッド、歌曲などをやると、11分ではなかなか納まらず、特に意欲的な学生には時間が足りないと感じる。歌に対して苦手意識を持っている学生の対処が課題である。

3 改善計画

レッスンの内容の精査。①発声、②メソッド、③歌曲の配分を考える。「歌」に対する意欲を高め、歌大好き人間を増やす。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	4	0	0	0	1	0	5	4.20	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.55
③	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.65
④	0	0	4	1	0	0	5	14	2.80	2.60
⑤	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.14
⑥	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.41
⑦	1	3	1	0	0	0	5	20	4.00	4.31
質問項目 1.									4.31	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.41
⑨	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.39
⑩	3	1	1	0	0	0	5	22	4.40	4.45
⑪	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.62
⑫	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.50
⑬	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.80
⑭	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.75
⑮	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.74
質問項目 2.									4.78	4.74

TOTAL									4.56	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：春日 信子

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽Ⅲ

回答者数：2名 / 3名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

40年間、副科声楽を担当しているため、学生一人一人の特性（声だけでなく性格等も）も見ることができるようになったと思います。試験で少しでも良い点数が取れるように目標を持たせており、色々な専攻の学生がいる中で、各学生に合わせた指導法を心がけています

2 改善課題

1人11分間という短い決まった時間の中ですが、個人レッスンをしないと伸びないと感じている。その為、約3人ずつ同時にレッスン室に入りお互いに聴き合いますが、一人ひとり声が違うのでなかなか難しいと感じています。呼吸を伴った発声、コンコーネやトスティのメソッド、歌曲などをやると、11分ではなかなか納まらず、特に意欲的な学生には時間が足りないと感じる。歌に対して苦手意識を持っている学生の対処が課題である。

3 改善計画

レッスンの内容の精査。①発声、②メソッド、③歌曲の配分を考える。「歌」に対する意欲を高め、歌大好き人間を増やす。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取り組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	0	0	1	1	0	0	2	2.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	0	1	0	1	0	0	2	6	3.00	2.60
⑤	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.14
⑥	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.41
⑦	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.31
質問項目 1.									4.14	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.41
⑨	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.39
⑩	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.45
⑪	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.62
⑫	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.50
⑬	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.80
⑭	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.75
⑮	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.74
質問項目 2.									4.50	4.74

TOTAL									4.33	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：春日 信子

開講期：H29年度 前期

授業科目：声楽V

回答者数：4名 / 5名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：実技
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

40年間、副科声楽を担当しているため、学生一人一人の特性（声だけでなく性格等も）も見ることができるようになったと思います。試験で少しでも良い点数が取れるように目標を持たせており、色々な専攻の学生がいる中で、各学生に合わせた指導法を心がけています

2 改善課題

1人11分間という短い決まった時間の中ですが、個人レッスンをしないと伸びないと感じている。その為、約3人ずつ同時にレッスン室に入りお互いに聴き合いますが、一人ひとり声が違うのでなかなか難しいと感じています。呼吸を伴った発声、コンコーネやトスティのメソッド、歌曲などをやると、11分ではなかなか納まらず、特に意欲的な学生には時間が足りないと感じる。歌に対して苦手意識を持っている学生の対処が課題である。

3 改善計画

レッスンの内容の精査。①発声、②メソッド、③歌曲の配分を考える。「歌」に対する意欲を高め、歌大好き人間を増やす。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	1	0	0	0	2	2	4.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	2	0	4	12	3.00	4.55
③	3	0	0	0	1	0	4	16	4.00	4.65
④	2	0	1	1	0	0	4	15	3.75	2.60
⑤	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.14
⑥	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.41
⑦	3	1	0	0	0	0	4	19	4.75	4.31
質問項目 1.									4.29	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	1	0	0	0	4	18	4.50	4.41
⑨	3	0	1	0	0	0	4	18	4.50	4.39
⑩	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.45
⑪	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.62
⑫	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.50
⑬	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.80
⑭	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.75
⑮	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.74
質問項目 2.									4.88	4.74

TOTAL									4.60	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：吉良 千波

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノV

回答者数：1名 / 1名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生の長所・短所を把握し、一人一人にきめ細やかな指導をしていきたい。

2 改善課題

①シラバスに沿って学生が練習に取り組み、授業を計画的に受講できるよう心がける。

②学生に1時間毎の目標を持たせ、どういった方法でアプローチしていくのか明確にしていきたい。

3 改善計画

①「練習計画表」を活用し、到達目標を学生に認識させる。

②個々の学生に応じて、きめ細かい指導が出来るように、教材研究に努める。スケール、練習曲等を取り入れながら、テクニックをつけさせたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取り組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									5.00	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									5.00	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：吉良 千波

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅦ

回答者数：1名 / 1名

単位数：1 単位
開設年次：4 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生の長所・短所を把握し、一人一人にきめ細やかな指導をしていきたい。

2 改善課題

- ①シラバスに沿って学生が練習に取り組み、授業を計画的に受講できるよう心がける。
②学生に1時間毎の目標を持たせ、どういった方法でアプローチしていくのか明確にしていきたい。

3 改善計画

- ①「練習計画表」を活用し、到達目標を学生に認識させる。
②個々の学生に応じて、きめ細かい指導が出来るように、教材研究に努める。スケール、練習曲等を取り入れながら、テクニックをつけさせたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	0	0	1	3.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.14
⑥	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									4.29	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.41
⑨	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.39
⑩	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									4.25	4.74

TOTAL									4.27	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：吉良 千波

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅦB

回答者数：6名 / 7名

単位数：1 単位
開設年次：4 年次

授業形態：実技
学科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
学生 の 長所・短所 を把握し、一人一人にきめ細やかな指導をしていきたい。

2 改善課題
① シラバスに沿って学生が練習に取り組み、授業を計画的に受講できるよう心がける。
② 学生に1時間毎の目標を持たせ、どういった方法でアプローチしていくのか明確にしていきたい。

3 改善計画
① 「練習計画表」を活用し、到達目標を学生に認識させる。
② 個々の学生に応じて、きめ細かい指導が出来るように、教材研究に努める。スケール、練習曲等を取り入れながら、テクニックをつけさせたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	2	2	1	0	0	6	3.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	3	0	6	18	3.00	4.55
③	5	0	0	0	1	0	6	26	4.33	4.65
④	3	1	2	0	0	0	6	25	4.17	2.60
⑤	4	0	2	0	0	0	6	26	4.33	4.14
⑥	4	1	1	0	0	0	6	27	4.50	4.41
⑦	4	1	1	0	0	0	6	27	4.50	4.31
質問項目 1.									4.05	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	2	0	0	0	0	6	28	4.67	4.41
⑨	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.39
⑩	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.45
⑪	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.62
⑫	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.50
⑬	6	0	0	0	0	0	6	30	5.00	4.80
⑭	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.75
⑮	5	1	0	0	0	0	6	29	4.83	4.74
質問項目 2.									4.92	4.74

TOTAL									4.51	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：合志 知子

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅶ(ピアノ)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：4 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

学生と共にあるレッスンが展開できたと感じる。その時々課題を明確にできている学生に対して練習方法の提案、その効果への評価を的確に行えた。

2 改善課題

手も小さく小柄である上に指もまだ弱いので、どうしてもたっぷりとした音、豊かな音、豊かな音量をだす事ができず、表現が限られてくる事が一番の課題である。

3 改善計画

どの様なフォルテ(強い、豊かな、深い等)を求めているのか明確にした上で、打鍵のタイミング、身体の使い方、和音の指のつかみ方、またその和音の構成音それぞれのバランスに注意を向ける事等を、ねばり強く指導していきたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしましたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31

質問項目 1.

5.00 4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74

質問項目 2.

5.00 4.74

TOTAL

5.00 4.56

教科担当者：合志 知子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅢ

回答者数：1 名 / 1 名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
経験も実力も様々な学生に対して、それぞれの目標をはっきりさせ、それぞれに合った指導ができたと感じている。

2 改善課題
副科ピアノであるので個人練習の時間は、限られている。その中でも主科の勉強の際にも役立つピアノの技量を身に付けて欲しい。まずは「自分の音をよく聴ける」事はクリアして欲しい。

3 改善計画
次回レッスンまでの課題をクリアするための効果的な練習方法を示しその評価をレッスン毎に確実にを行いそれぞれの達成感を感じて欲しい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	0	0	1	3.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31

質問項目 1.

4.57 4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.41
⑨	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.39
⑩	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.74

質問項目 2.

4.38 4.74

TOTAL

4.47 4.56

教科担当者：合志 知子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅦ

回答者数：2名 / 2名

単位数：1 単位
開設年次：4 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

経験も実力も様々な学生に対して、それぞれの目標をはっきりさせ、それぞれに応じた指導ができたと感じている。

2 改善課題

副科ピアノであるので個人練習の時間は、限られている。 その中でも主科の勉強の際も役立つピアノの技量を身に着けて欲しい。 まずは「自分の音をよく聴ける」事はクリアして欲しい。

3 改善計画

次回レッスンまでの課題をクリアするための効果的な練習方法を示しその評価をレッスン毎に確実にいきそれぞれの達成感を感じて欲しい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	0	1	0	0	0	2	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	0	0	2	0	0	0	2	6	3.00	2.60
⑤	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.31
質問項目 1.									4.43	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.73	4.56
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：住江 智子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅢ

回答者数：2名 / 2名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生個人とのコミュニケーションを大切にして、教師学生間の距離は短くできたと思う。ピアノ面でも個人毎に一定の成果はできたと思う。

2 改善課題

学生たちは行事アルバイトなどによる練習不足が見受けられる。副科であっても高い意欲を持っている学生とやや低い学生が見られる。

3 改善計画

個人の目標を明確にししながら、時間毎のステップアップを進めていく。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしましたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	0	2	0	0	0	0	2	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	1	0	0	0	1	0	2	6	3.00	4.65
④	0	0	2	0	0	0	2	6	3.00	2.60
⑤	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	0	1	1	0	0	0	2	7	3.50	4.31
質問項目 1.									4.00	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.41
⑨	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.39
⑩	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.74
質問項目 2.									4.75	4.74

TOTAL									4.40	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：住江 智子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅦ

回答者数：4名 / 4名

単位数：1 単位
開設年次：4 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

学生個人とのコミュニケーションを大切にして、教師学生間の距離は短くできたと思う。ピアノ面でも個人毎に一定の成果はできたと思う。

2 改善課題

学生たちは行事アルバイトなどによる練習不足が見受けられる。副科であっても高い意欲を持っている学生とやや低い学生が見られる。

3 改善計画

個人の目標を明確にしながら、時間毎のステップアップを進めていく。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしましたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	3	1	0	0	0	0	4	4.75	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.55
③	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.65
④	2	0	2	0	0	0	4	16	4.00	2.60
⑤	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.14
⑥	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.41
⑦	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.31
質問項目 1.									4.82	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.41
⑨	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.39
⑩	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.45
⑪	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.62
⑫	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.50
⑬	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.80
⑭	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.75
⑮	4	0	0	0	0	0	4	20	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.92	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：竹下 千晴

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅲ(ピアノ)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

能力に合わせて、完成度の高い演奏を目指す為の方向性を示すことができた。半面、基礎練習や新しいテクニックの習得が学生任せになってしまい確認する時間が足りなかった。

2 改善課題

基礎練習の充実

3 改善計画

初回のレッスン時に、具体的な作品を提示し、15回のレッスンを3期に分けて、学習計画を立てさせる。毎回、必ず最初に基礎レッスンを確認してからレッスンを進める。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	1	0	0	0	0	1	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									4.86	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.93	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：竹下 千晴

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅢ

回答者数：1 名 / 2 名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

ピアノレッスンを通して真面目に課題に取り組む姿勢、達成する喜びそして成長を感じることが出来たと思う。

2 改善課題

学習する作品数を増やす。

3 改善計画

初見力をつける為に1週間で学べるような短い作品を提示し、達成しやすくする。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数			
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均	
①	0	1	0	0	0	0	1	4.00	4.09	

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	0	0	0	0	0	1	0	0	0.00	4.65
④	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	2.60
⑤	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.14
⑥	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.41
⑦	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.31
質問項目 1.									3.00	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.07	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：光永 育

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅢ

回答者数：1 名 / 1 名

単位数：1 単位
開設年次：2 年次

授業形態：実技
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

昨年度の実技試験の反省点と成績をふまえ、各自の課題を確認しました。より深く楽曲を分析し、演奏に活かせるよう指導しました。

2 改善課題

楽曲を演奏する時、作曲者が生きた歴史、社会情勢、心情などを説明する際、よりわかりやすくしていきたい。

3 改善計画

演奏法や楽曲分析の説明の際、もっとわかりやすくするために、年表や地図等を使ったり各声部を弾き分けるため、色鉛筆を使って視覚的なアプローチをしていきたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数			
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均	
①	0	1	0	0	0	0	1	4.00	4.09	

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	2.60
⑤	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									4.57	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									4.88	4.74

TOTAL									4.73	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：光永 育

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノⅦ

回答者数：1 名 / 1 名

単位数：1 単位
開設年次：4 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
昨年度の実技試験の反省点と成績をふまえ、各自の課題を確認しました。より深く楽曲を分析し、演奏に活かせるよう指導しました。

2 改善課題
楽曲を演奏する時、作曲者が生きた歴史、社会情勢、心情などを説明する際、よりわかりやすくしていきたい。

3 改善計画
演奏法や楽曲分析の説明の際、もっとわかりやすくするために、年表や地図等を使ったり各声部を弾き分けるため、色鉛筆を使って視覚的なアプローチをしていきたい。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.65
④	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31

質問項目 1.

4.29 4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74

質問項目 2.

5.00 4.74

TOTAL

4.67 4.56

教科担当者：光永 育

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノVA

回答者数：5名 / 6名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：実技
学 科：こども学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
グループレッスンとはいえ個人レッスンなので、各々のレベルにあわせた進路で進め、レッスン時間に不公平がないよう、又、互いに切磋琢磨できるよう心掛けました。

2 改善課題
レッスンを受けても技能が高まらなかった、ということなので、意欲を持ってレッスンに臨むには、どんな心構えが要るのか、どんな練習をしたらいいのか、細やかな言葉がけをしていきたい。

3 改善計画
実習に行って、目的がはっきりしてきたと思うので、将来「先生」になって、子どもたちと一緒に楽しく歌いながらピアノが弾くんだ、というイメージを持って、練習に励めるよう、指導をしていきます。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしましたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	3	1	1	0	0	0	5	4.40	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.55
③	2	0	0	0	3	0	5	13	2.60	4.65
④	1	1	2	1	0	0	5	17	3.40	2.60
⑤	2	1	2	0	0	0	5	20	4.00	4.14
⑥	2	2	1	0	0	0	5	21	4.20	4.41
⑦	2	1	2	0	0	0	5	20	4.00	4.31
質問項目 1.									3.94	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッスンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッスンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	2	0	0	0	0	5	23	4.60	4.41
⑨	4	1	0	0	0	0	5	24	4.80	4.39
⑩	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.45
⑪	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.62
⑫	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.50
⑬	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.80
⑭	5	0	0	0	0	0	5	25	5.00	4.75
⑮	4	0	1	0	0	0	5	23	4.60	4.74
質問項目 2.									4.83	4.74

TOTAL									4.41	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：山内 紀子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノI

回答者数：2名 / 2名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
全体的には満足いく結果が得られたと思う。学生一人一人の性格、進度に応じた指導を心がけた。ただ、特に理想を高くもつ学生に関しては達成感を得られなかった可能性もある。支援を要する学生を担当したことで苦労もあったが、学ぶことも多かった。

2 改善課題
学生とのコミュニケーションの取り方

3 改善計画
これまでの学生との接し方を再考し、更に細やかな指導を行うよう努力する。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	1	0	0	0	0	2	4.50	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									4.86	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.93	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：山内 紀子

開講期：H29年度 前期

授業科目：ピアノV

回答者数：1 名 / 1 名

単位数：1 単位
開設年次：3 年次

授業形態：実技
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

全体的には満足いく結果が得られたと思う。学生一人一人の性格、進度に応じた指導を心がけた。ただ、特に理想を高くもつ学生に関しては達成感を得られなかった可能性もある。支援を要する学生を担当したことで苦労もあったが、学ぶことも多かった。

2 改善課題

学生とのコミュニケーションの取り方

3 改善計画

これまでの学生との接し方を再考し、更に細やかな指導を行うよう努力する。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	0	1	0	0	1	2.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	2.60
⑤	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.14
⑥	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									3.86	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.41
⑨	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.39
⑩	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.45
⑪	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.62
⑫	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.50
⑬	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.80
⑭	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.75
⑮	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.74
質問項目 2.									3.63	4.74

TOTAL									3.73	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：山崎 明・川口 力

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅲ(管弦打)

回答者数：1 名 / 1 名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：個人指導
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

- 1 自己評価
特に問題ない。良かったと思う。
- 2 改善課題
少し昨年よりも学生とゆっくり話をする時間が取れなくなった。
- 3 改善計画
なるべく時間を取って学生と話をしていけるように心がける。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	1	0	0	0	0	1	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									4.71	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.41
⑨	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.39
⑩	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.45
⑪	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.62
⑫	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									4.25	4.74

TOTAL									4.47	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：山崎明・川口力

開講期：H29年度 前期

授業科目：演奏実技 I

回答者数：1 名 / 1 名

単位数：1 単位
開設年次：1 年次

授業形態：実技
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
特に問題ない。良かったと思う。

2 改善課題
少し昨年よりも学生とゆっくり話をする時間が取れなくなった。

3 改善計画
なるべく時間を取って学生と話をしていけるように心がける。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	0	0	1	3.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									4.57	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.80	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：森口 洋輔

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅰ(管弦打)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：個人指導
学 科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

レッスンに対して意欲を持って取り組ませることが出来た。前期試験曲では、ロマン派について適切な奏法を研究しアプローチしたことによって、その他の作品でも応用力が付くように指導が出来た。

2 改善課題

アンケートでは、シラバスについて学生の理解力が欠けていた。シラバスの存在から熟知させる必要があると考える。また事前学修、事後学習についても評価の低い回答であったが、練習している跡が見えていたため、本人が納得いくような練習方法を提案する必要がある。

3 改善計画

シラバスを教員、学生共に理解し、具体的な練習内容を計画する。後期では、「華麗なる音楽の祭典」のような行事もあるが、それとは別にテーマに沿った学習内容を取り組みたいと思う。基礎力を高め2年次でより高い目標を持ってエチュードや楽曲に取り組めるよう準備する。エチュードは「コーブラッシュ」に重点を置く。練習番号は順不同。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数
①	0	1	0	0	0	0	1

教科平均	全体平均
4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.65
④	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	2.60
⑤	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									3.29	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									4.75	4.74

TOTAL									4.07	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：森口 洋輔

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅲ(管弦打)

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：2 年次

授業形態：個人指導
学 科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価

1年次で培った基礎力を基にさらにレベルの高い楽曲に挑戦することが出来た。特に暗譜は非常に難しい楽曲であったが、学生の意欲もあり前向きに練習しているところを見ることが出来た。

2 改善課題

細かく音の配慮を考える必要がある。しかし、残念ながら後期からの出席が悪いため、出校することから始めなければならなかった。

3 改善計画

2.に引き続き、まずは出校することから始めなければならない。何かきっかけを与えて復帰出来るようにする。個別に連絡をする。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしましたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	0	2	0	0	0	0	2	4.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									4.79	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									4.90	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：柴田 裕二

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅰ(管弦打)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：個人指導
学 科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

前期の学生二名は、各々諸事情を抱えており、それぞれの心のケアを考えつつレッスンをしていけないといけなかったもので、非常に気を使う時間でした。その中で、各々のレッスンは滞りなく行えたので良かったと思います。

2 改善課題

メンタル面のケアを重視しながら、効率の良いレッスンをする事で基礎力の向上をさせようと思います。また、日々の練習をどのようにさせるかの課題の出し方を考えていこうと思います。

3 改善計画

後期は、奏法にとらわれず、個人の感性を伸ばすレッスンが望ましいと思うので、本人の個性を尊重しつつ、音楽的な基礎力と演奏力を身に付けさせることに重点を置きたいと思います。また、レッスンノートで毎回のレッスン内容をまとめ、次のレッスンで進捗状況を確認しようと思います。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	2.60
⑤	0	0	1	0	0	0	1	3	3.00	4.14
⑥	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.41
⑦	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.31
質問項目 1.									4.29	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	0	1	0	0	0	0	1	4	4.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									4.88	4.74

TOTAL									4.60	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：柴田 裕二

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅴ(管弦打)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：個人指導
学 科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

前期の学生二名は、各々諸事情を抱えており、それぞれの心のケアを考えつつレッスンをしていけないといけなかったため、非常に気を遣う時間でした。その中で、各々のレッスンは滞りなく行えたので良かったと思います。

2 改善課題

メンタル面のケアを重視しながら、効率の良いレッスンを行うことで基礎力の向上をさせようと思います。また、日々の練習をどのようにさせるかの課題の出し方を考えていこうと思います。

3 改善計画

後期は、奏法にとらわれず、個人の感性を伸ばすレッスンが望ましいと思うので、本人の個性を尊重しつつ、音楽的な基礎力と演奏力を身に付けさせることに重点を置きたいと思います。また、レッスンノートで毎回のレッスン内容をまとめ、次のレッスンで進捗状況を確認しようと思います。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5 全出席	4 1～2回欠席	3 3～4回欠席	2 5～6回欠席	1 7回以上欠席	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									5.00	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74

TOTAL									5.00	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：山ヶ城 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅰ（管弦打）

回答者数：2名 / 2名

単位数：2 単位
開設年次：1 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】（400字文字）

1 自己評価
マンツーマンのレッスンの為、学生達はとても積極的に取り組んでくれた。

2 改善課題
スキルアップを目指し、色々な角度からそれぞれにあったレッスン法でアプローチする。学生の心に寄り添い、悩みを解決出来るようなレッスンをを目指す

3 改善計画
得意分野の楽器を更にスキルアップ出来るよう、そして不得意な楽器にも取り組むように呼びかける。シラバスを確認するように、意識付けをする。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	2	0	0	0	0	0	2	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.55
③	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
④	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	2.60
⑤	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.14
⑥	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑦	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.31
質問項目 1.									5.00	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.41
⑨	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.39
⑩	1	1	0	0	0	0	2	9	4.50	4.45
⑪	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.62
⑫	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.50
⑬	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.80
⑭	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑮	2	0	0	0	0	0	2	10	5.00	4.74
質問項目 2.									4.94	4.74

TOTAL									4.97	4.56
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者：山ヶ城 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅴ(管弦打)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：3 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

1 自己評価

マンツーマンのレッスンの為、学生達はとても積極的に取り組んでくれていた。

2 改善課題

スキルアップを目指し、色々な角度からそれぞれにあったレッスン法でアプローチする。学生の心に寄り添い、悩みを解決出来るようなレッスンをを目指す

3 改善計画

得意分野の楽器を更にスキルアップ出来るよう、そして不得意な楽器にも取り組むように呼びかける。シラバスを確認するように、意識付けをする。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
- ② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
- ④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
- ⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
- ⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
- ⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	教科平均	全体平均
(人)	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席				
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31

質問項目 1.

5.00 4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
- ⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
- ⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
- ⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
- ⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
- ⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
- ⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74

質問項目 2.

5.00 4.74

TOTAL

5.00 4.56

教科担当者：山ヶ城 陽子

開講期：H29年度 前期

授業科目：器楽実技研究Ⅶ(管弦打)

回答者数：1名 / 1名

単位数：2 単位
開設年次：4 年次

授業形態：個人指導
学科：音楽学科

【改善計画】(400字文字)

- 1 自己評価
マンツーマンのレッスンの為、学生達はとても積極的に取り組んでくれた。
- 2 改善課題
スキルアップを目指し、色々な角度からそれぞれにあったレッスン法でアプローチする。学生の心に寄り添い、悩みを解決出来るようなレッスンを目指す
- 3 改善計画
得意分野の楽器を更にスキルアップ出来るよう、そして不得意な楽器にも取り組むように呼びかける。シラバスを確認するように、意識付けをする。

質問項目 1. このレッスンに対するあなた自身の取組みについて

- ① このレッスンにどの程度出席しましたか。
② このレッスンで、遅刻や途中退席はしませんでしたか。
③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか。
④ レッスン1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間を平均するとどのくらいになりますか。
⑤ 事前学修・事後学修によってレッスンの理解は進みましたか。
⑥ レッソンは、意欲をもって臨みましたか。
⑦ レッソンの到達目標は、達成できましたか。

集計結果

(人)	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数		
	全出席	1～2回欠席	3～4回欠席	5～6回欠席	7回以上欠席			教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	0	1	5.00	4.09

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.55
③	0	0	0	0	1	0	1	1	1.00	4.65
④	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	2.60
⑤	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.14
⑥	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑦	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.31
質問項目 1.									4.43	4.12

質問項目 2. このレッスンの内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか。
⑨ 事前学修・事後学修の課題はレッスンに有効でしたか。
⑩ レッソンはシラバスにそって実施されましたか。
⑪ レッソンに対する先生の熱意や意欲は感じられましたか。
⑫ 質問に適切に答えてもらえましたか。(説明・助言が適切で分かりやすい)
⑬ レッソンに集中できる雰囲気でしたか。(発言や質問がしやすい雰囲気)
⑭ このレッスンで、音楽的な興味や関心、視野などが広がりましたか。
⑮ このレッスンを受けて、あなたの技能は高まりましたか。

集計結果

回答	5	4	3	2	1	無回答	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.41
⑨	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.39
⑩	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.45
⑪	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.62
⑫	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.50
⑬	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.80
⑭	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑮	1	0	0	0	0	0	1	5	5.00	4.74
質問項目 2.									5.00	4.74
TOTAL									4.73	4.56